

加東市公共施設適正配置計画（案）に係るパブリックコメントに寄せられた意見

別冊 1

【パブリックコメントの概要】

1 募集期間 平成 27 年 1 月 1 日(木)～平成 27 年 2 月 9 日(月)

2 提出件数 187 件(168 人)

番号	意見等
1	<p>○コスミックホールを取り壊すことに反対する。</p> <p>○音響効果の素晴らしい、誇らしい素晴らしいコスミックホールは修理をしながら長く使用すべきである。壊せば加東市にもう二度とこんなホールは帰ってこない。</p> <p>○コスミックホールの果たしてきた役割は大きい。ホールが人を育ててきたのです。</p> <p>○文化をおろそかにすれば、人々の心の豊かさがなくなり、町は滅びるとといいます。もちろん文化には体育関係も入ります。</p>
2	<p>“コスミックホール、取り壊しに反対します。”</p> <p>加東市では、“文化よし”というスローガンがありながら、コスミックホールをなくすということは、その舞台が一つなくなるということです。</p> <p>近隣でも有名な、音響効果のあるコスミックホールですよ。</p> <p>“簡単に取り壊すということ”それでいいのでしょうか。 未来ある子供たちの心のさえどもなりえるこのホールは、修理をして、長く使用して頂きたいのです。</p>
3	<p>○東条地域で小中一貫校(一体型)を建設することに反対する。</p> <p>○東条地域で小中一貫校で教育しなければならない課題が見つからない。現在のかたちで学年目標をきっちり果たす授業に磨きをかけていかなければなりません。</p> <p>○小中一貫校での教育の利点として、その内容が広報に述べられていますが、現在の教育のかたちでも指導可能なことばかりである。特に、新しく解決しなければならない指導内容はないように思う。</p> <p>○東小、西小の校舎はまだ使用可能であり、立派な学校施設である。それなのに巨額の建設費を投入して、一体型の一貫校を新設しようとする計画が示された。こんなお金の使い方はしてほしくない。これを称して無駄遣いといいう。</p> <p>○どうしても小中一貫教育を推進しなければならないなら、併設型でその教育を開拓したらよい。</p> <p>○東小、西小の廃校計画を発表するにあたり、地域の人たち(親たち)と話し合われた様子はない。100年以上の歴史ある学校を簡単に廃校と発表する神経には驚きである。このような手法の行政を信頼することはできない。</p>
4	<p>私は、加東市に住んで 63 年の市民です。旧東条町から平成 18 年に対等合併して足かけ 8 年目、昨年の 12 月 10 日の新聞記事をみて唖然しました。</p> <p>この様な暴挙が…？なんでやと信じられませんでした。なんとひどい内容か本当に目の前が真っ暗になつた気持ちです。誰がなぜこんなことを考えたのか、もつともつど私たちにも理解できる市政がプロの職員、議員などおられるのに不思議でなりません。このような計画がこれからの方々のためになると失礼ですが考えられて、出来たのならばこの先のこの町の未来はこの町の人達に任せおけないと思います。</p>

	<p>この際いい機会と計画を白紙撤回し、本当の意味あるく文化よし…&gt;キヤッチフレーズが認められるまちづくりの計画をお示しください。</p> <p>私は、公共施設適正配置計画に断固反対し、白紙撤回を求めます。</p>
5	<p>演奏会ができるような立派なホールは、ひとつあれば十分である。しかし、一つの市に図書館と呼べる施設が、4箇所あつて何故いけないのか。むしろ、高齢化が進むことからの日本の社会のあるべき姿を先取りしていると誇るべきではないのか。学園都市を標榜し、市民一人当たりの図書貸出数が国内屈指と自負していた加東市としてはなおさらのことである。</p> <p>高齢者が容易にアプローチできる談話室や静かに過ごせる図書室のような施設が今後数多く求められるようになると思われることから、国際学習塾内の図書室の廃止には反対である。</p> <p>私は東条以外の3つの図書室を利用しているが、国際学習塾の休館日には、中央図書館、滝野図書館ともたいへんな混雑ぶりである。学校が休みの期間など、とてもゆつたりと本を読めたものではない。このような実態をご存知の上で撤廃の提案をされておられるのか。</p> <p>確かに国際学習塾内の図書室の利用者数は他の2館に比べて少ないが、他の2館の閉館日には混雑というほどではないが賑わっている。利用者が少ないから不要ではなく、今後増える高齢者や図書室を使いたいと思っている人々に存在を周知し、利用者の増大を図るべきであると考える。</p>
6	<p>「山よし、技よし、文化よし」の加東市のシンボル、コスミックを壊すこと、絶対反対です。</p> <p>一流の音楽家はもう呼ばれないということなのでしょうか。 音響もよく素人の私たち使つてもよく分かりますし、プロならより満足する演奏が出来ることだと思います。</p> <p>修繕費がかかるとのことですが、最初から壊す意図があるようにしか思えません。行政としての責任だと思います。</p> <p>指揮者、小林研一郎、佐渡裕さん。ピアニスト、中丸三千繪さんなど、歌手、中丸三千繪さんなど、社や滝野のホールへはお迎え出来ないと思います。本当に取り返のつかない気がします。</p> <p>小中一貫校を理由とされていますが、中身のない「みらいの子供達のため」とスローガンを掲げています。</p> <p>川の傍に学校を建て、道を渡り危険な運動場へ子供を移動させようとすること、加東市全域が初めての取り組みだそうですが、どうしてそんなに急ぐのでしょうか。子供達が実験台にされるみたいですね。教育専門家や現場教師の意見も聴きたいと思います。一考の程をお願いします。</p>
7	<p>東条のコスミックホールの取り壊しは反対である。地元の人すら知らないのにいきなり右から左に決まったことをただ明日の説明会で話すのは時期尚早ではないだろうか。もつと市民とよく話し合いをするべきである。市長と市議会議員だけの秘密会のようなやり方では誰も納得出来ない。これは小元団地の建て替え問題も同じことである。私はこのことにも反対するし正直納得などしていない。そして小中一貫教育も別にする必要もないそれは学力の質を上げればいいだけの話なのです。是非良識ある議員の方には再度再検討していただきたいと思う。</p> <p>要点をまとめるとこんなもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東条のコスミックホール建て替え反対</li> <li>2 小元団地の建て替え反対</li> <li>3 小中一貫教育などやるより学力の質をあげるほうがあつぱどまし以上です。</li> </ol>
8	<p>文化会館コスミックホールを壊して、小中一貫校を建設するのがいいとは思いません。</p> <p>東条地域の今まで培ってきた、体育、文化、教育、福祉、をハードの面からすべて取り壊し、立て替え、コストをかけてするのか、東条庁舎を取り壊し過</p>

		<p>疎に加速を付る行政、信頼できません。</p> <p>この公共施設適正配置計画(案)には反対です。</p>
9		<p>私は東条文化会館を取り壊しに反対です。</p> <p>以前より東条文化会館を取り壊すという話があることは聞いていました。その時はそこの土地が借地でこれからもずっと借地代を払い続けなければならず、そのお金負担を減らすためにそういう方向に話が進んないと聞いていました。でも、計画案を見て東条文化会館を壊して、小中一貫校を建設するたとえで、このまま借地代を払い続けることが受け入れられているのであれば、なぜ東条文化会館は取り壊されなくてはならないのでしょうか。</p> <p>東条文化会館コスミックホールは古いかもしませんが、他の加東市のホールと比べてもとても質の高いホールであると思います。音の響きが素晴らしいのです。</p> <p>私の娘は東条東小学校に通っています。東条東小学校では毎年ふれあい音楽会という各学年が合唱や演奏の発表をする会があり、これをコスミックホールで行っています。私が学生の頃は発表会といえども本格的なホールで歌ったり、演奏したり出来るなんて、東条の子はとても恵まれているなと思っています。</p> <p>小学校の音楽会では人数の多い学年もあるのですが、コスミックホールで聴くと人数が少ない学年の歌でも一人一人の声が聞き取れそうなくらいよく響きます。大人数の学年となると歌声の響きの迫力も増します。</p> <p>私の娘の学年は人数が多く、昨年の音楽会では高学年になりいろいろな楽器を使いテンポの速い曲を演奏しました。それでも小学生の演奏という気持ちで聞いていたのですが、速いテンポの演奏にびっくり(人数が多いほど合わせるのが難しそうですが、みんな息がぴったり合っていました)、またティンパニの地面を揺らすかのように響く迫力ある音に圧倒され(本当に地面が揺れるんじゃないかと錯覚するほどのおどろきでした)、小学生でもこんなすごい演奏が出来るのかと不覚にも涙が出てきました。コスミックホールでなかつたら、あの迫力ある音を聴くことは出来なかつたと思います。</p> <p>音楽の勉強は他の科目のように机に向かって鉛筆を走らせれば伸びるものではありません。実際に歌い、様々な楽器に触れ、そしていい音を聴くことで耳が育ちます。</p> <p>学校の音楽会をコスミックホールのような所で発表出来ることはどこ地域で育っても体験出来ることではない、特別な経験をさせてもらえていると思います。この経験は子供たちにとって絶対にプラスになつていいと思うのでこれから先の東条東小学校で学ぶ子供たちにもずっと経験し続けてほしいです。</p> <p>また、娘が入団しているコスマス加東少年少女合唱団は、東条で活動していて毎年コスミックホールで定期演奏会を行っていますが、コスミックホールがなくなつてしまつたら、活動にどんな影響が出るのか不安に感じています。これからも今まで通り、東条で練習して、お声をかけてくださったところに歌いに行つて、3月には愛着あるコスミックホールで定期演奏会が出来るといいのですが…。</p> <p>小中一貫校というのが実際にやってみないこには良いものなのか私には分かりませんが、新しい建物を作るより、今利用している施設を大事に使い続けることが、一番お金がかかるないのでしょうか(設備などを改善するお金はかかるかもしれませんが、新しい建物を作つてもそれは同じですね)。</p> <p>コスミックホールは東条で生活している人たちにとつて大切な財産であると思います。コスミックホールのような古いですが価値ある素晴らしいホールを残して大事に使っていただきたいです。</p> <p>コスミックホールで歌いたい、演奏したい、音楽を聴きたいと思っている人はたくさんいると思います。壊してしまった後でのホールは素晴らしいのに…と嘆いても元に戻すこととはできません。どうぞいろいろな人の意見(大人だけでなく子供たちの意見も)を聞いて慎重に決めていただきたいです。</p> <p>拙い文章で申し訳ありません。</p>

10 私は、この度の東条文化会館取り壊しについては反対します。つきましては、有識者の方々を交えて色々とご検討された中の案ではないかと思いますが、この件に聞しましては、どうしても納得出来ませんので反対です。

理由

①ホールの舞台構造上は三館の中で『一番ホールらしいホール』と誰もが認めている。  
②「日本木管コシクール」という特色ある催しを永きに渡り開催している実績があり、又、全国の音楽を目指す方々の中にも浸透しているコシクールの一つであること。

③交通の便を考えても縦貫バス・東条インターに近く、立地的にも三館の中で一番便利である。  
④音響効果が素晴らしいと誰もが認めている。  
⑤簡易な修繕では対応できない大規模な雨漏り、外壁の剥離等…とあるが、定期的なメンテナンスを今まできちんととしていたのか疑問を感じる。  
⑥「東条地域小中一貫校」を文化会館用地に…とあるが、地すべりの危険のある(東条中裏山)土地と地続きであり南側には東条川も流れているような自然災害に一番影響を受ける場所に学校は適さないのではないか。学校は地盤の固いしっかりとした高台等に建設される方が良いのではないかと思う。(スクールバスが通るのであれば文化会館跡地にしなくとも)

⑦文化会館の土地が借地であると言う問題もこれから先、借地の解消を図る事を優先されるなら文化会館をそのまま残して頂き、買収されるなり借地解消をして頂きたい。  
⑧文化・教育は一日で培われるものではない。先人の方々による根気強い指導と環境が重要であると思う。これを財政云々の為に切り捨てになるのはいかがなものかと思う。今まで、東条文化会館の発展と町、市の文化の向上の為に多大に貢献されて来られた方々のご尽力や築きあげられてきた事が無にならうで大変残念で申し訳ない思いがします。

⑨これだけ立派なホールを市で持ちながら三十年弱で壊してしまうのは税金の無駄使いに他ならないのではないかと思う。解体費用も莫大なものですね。

⑩私自身、二十年前からグルッペオソニーの活動やピアノ発表会等で文化会館(コスマミックホール)をよく使用させて頂いてきました。幼い頃より江川バレエで指導を受けてこられた子供達も同様に、こんなに早くホールが壊されるなんて思いもかけなかつたと思います。

コスマミックホールが壊されるとなると、小野のエクラ、西脇のアピカへ(音楽に関係する私たちは)施設を借りに行かなければいけなくなります。音響の良いあれだけのホールは他のホールでは代用できません。折角身近に良いホールがありながらわざわざ壊すという方向へお話しを勧める事なく、東条の地にならぬるものとして、是非とも存続できます様もう一度ご検討願います。よろしくお願い致します。

いつも市民の事を考えて頂きありがとうございます。さて先日のフォーラムで勉強させてもらいました。公共施設適正化、一貫教育の説明をうけ少し感じるところがあり意見を述べさせてもらいました。私が神戸新聞を読まなかつたからかもと思いましたが、パネリストの■さんも今回初めて知ったと言われ、もつと市民が納得いくようにして欲しいです。パネリストの皆さんとの意見は納得しましたが、■さんの意見はもつと聞きたかったと、思いました。■さんと意見は同じですが、(コスマミックホールについては)学校はまず中学校を南山の小学校(開発はまだ出来る所にある)に、そして将来そこに後からでも小学校(手づくりの状態で一貫教育では心配と若い■さんも言われてました。ひょっとすると時間がかかるかもしれません)を建設していただければ済しく思っています。それに中学校運動場をホールの駐車場(今は狭い)にしてコスマミック周辺(テニスコート等含め)の整理してホールの建物のみ残し、少しでも借地を返還していただきたいどうですか。よろしくお願ひいたします。

12	<p>○コスミックホール廃止について</p> <p>加東市の財産であるコスミックホール。日本国内でも有数の音響の良いホールらしいホールを何故廃止するのでしょうか？修理費用・借地問題等報じられたのですが、これらは解決できる問題ではないでしょうか。私は第1回木管コンクールから今まで微力ながらボランティアとしてかかわってきました。この20数年のコンクールでコスミックホールの存在が確かなものとなりました。加東市、東条を有名にしたのもコスミックホールの木管コンクールです。佐渡裕さんをはじめ、コンクールの審査員である著名な先生方もホールの廃止には心を痛めおられると聞いています。又、コーラスグループの一員としてコスミックホールの舞台に立たせていた大いに、その良さは実感しています。私達コーラスグループの心のよりどころであるコスミックホールの廃止には絶対反対です。これだけの大きな問題であるのに、私達が知ったのは昨年12月10日の新聞発表でした。あまりに突然の発表ではありませんか？もっと長い議論をへて解決してゆくべき問題であると思い是非参考をお願いいたします。</p>
13	<p>公共施設配置計画案によれば、米田小学校の統合については段階的に統合することを検討しつつ、最終的には社地域において小中一貫校を目指した併設校を開設しますとの説明があります。私は米田小学校統合については、デメリットはありますがあまり多くの基本的なに賛成です。そのうえで以下の点についてコメントをさせて頂きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 米田小学校統合について、段階的に統合することは具体的にいつ頃を考えておられるのか。 時期が示されなければ議論に入つていても、現在の保育園、小学校の父兄が関心を持つて話し合えない。又、例えば10年先米田小学校が統合される予定であるならば、自分たちの子供には関係のないこととしてどうえてしまいまる父兄の中で議論が盛り上がりならないと思います。米田小学校の児童数が今以上に減少することが予想される中、米田小学校の統合と、小中一貫校への移行は分けて考えていくべきであり、拙速な取組は出来ないと思いますが、あまり長い期間で検討するべき問題ではないと考えます。</li> <li>2. 総小・転用が予定されている小学校の改修費用について 小中一貫校に伴う統合は予定されていますが、縮小・転用が予定されている小学校に改修工事が見込まれています。現状の安全の確保の為、又統合後地域のコミュニティ施設への転用予定となつているため改修工事は必要ないとは思いましたが、出来るだけ前倒しで小学校の統合をすすめれば、小学校の校舎施設の改修は必要なくなる部分もあるのではないかと考えます。</li> <li>3. 米田小学校の校舎・体育館の取り壊しについて 米田地域においても、他の小学校区と同様に防災備蓄及び避難所としての機能を持つた施設として残すことを検討していただきたい。震災の教訓としても学校は避難所としても、防災と地域維持施設として残すことの検討が必要と考えます。</li> </ol>
14	<p>東条文化会館（コスミックホール）の存続についてのお願いの理由</p> <p>25年も続いている日本木管コンクールの会場として、コスミックホールという名前が全国的に知られています。学校が統合となつても、防災と地域維持施設として残すことの検討が必要と考えます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本木管コンクールや有名アーティストに利用され、年を追うごとに響きが充実してきている。</li> <li>・演奏家にとつて観客席から答えるように音が帰ってきて、演奏し易いホールであると、コンクールの出場者からも聞くことがあります。</li> <li>・加東市の規模的に集客率は最適である。</li> <li>・座席が他所と比較しても上級である。</li> <li>・観客は前を向き落ち着いて聴ける。</li> <li>・高速バスの停留所が近く利便性がよい。</li> </ul>
	<p>⑤緘帳は平山画伯の最高傑作の『シルクロード』である。</p> <p>ホール・舞台の構造については、加東市3館の中では一番『ホールらしいホール』。日本いや世界に誇る「日本木管コンクール」は、外の2館で開催されることは出来ないと思います。簡易な修繕では難しいと思いますが、それに投資をしても加東市として損はないと思います。社の学習塾では図書館をリハーサル室に改造する計画があるなら、その予算プラスでコスミックホールの雨漏りを修繕して下さい。借地も市で買収交渉を重ねて欲しいと思います。</p>
15	東条地区のコスミックホール取り壊しについて反対します。
16	<p>一番ホールらしいホールといいながらなぜ壊すのですか？長年続けてきた木管コンクールはやめるのですか？東条地区から文化を奪うつもりなのですか？</p> <p>市内の学齢期の児童・生徒数が減少する中で、小中一貫校を設立するということについては具体的な提案であると思いませんので、有識者、現在および将来保護者になるだろうという世代の方々の意見を吸い上げてより良い結論を出していただければよいと考えます。</p> <p>ただ、到底賛同できないのは米田小学校の方向性です。米田小学校はこの計画では、取り壊しとなっています。ところが米田小学校と同じ立場にある地域の小学校すべて、社小学校、福田小学校、東条東小学校、東条西小学校、鴨川小学校、三草小学校、鳴川小学校、「既存校舎、体育館は地域のコミュニティ施設として転用する」、「防災備蓄及び避難所機能を付加する」とあります。この転用の内容は賛成です。ところが米田小学校区地域にはこのことが適用されません。なぜなのでしょうか。この計画では、米田小学校区地域のコミュニティ施設は米田保育園とします。避難所の記入はどこにもありません。このことが賛同できない理由です。</p> <p>①米田小学校を地域のコミュニティ施設と位置付けるべきである。</p> <p>この計画では米田保育園を地域のコミュニティ施設と位置付けられておられます。その理由は米田保育園の施設、設備の狭小さと不十分さです。米田保育園の非常に狭い遊戯室、保育室、園庭でどんな地域活動を保証されるのですか。また、駐車場もありません。上久米公民館前の広場は上久米地区の所有です。地区の活動に差しわりが生ずる場合もあります。体育館もありません。水害時には浸水の恐れがあります。</p> <p>現在、米田小学校における地域活動には米田少年野球クラブの練習、地域老人会のグラウンドゴルフ(平成27年2月22日には上久米老人会主催の大会が開かれます)等があります。また、米田地区敬老会も開かれています。将来的には地域住民が集う場としても校舎の利用が見込まれます。このような場は施設・設備・設備・設備も同様です。</p> <p>以上の理由で米田小学校の取り壊しには到底賛同できません。それと、なぜ、米田小学校区地域と他の地域の取り扱いが違うのでしょうか、具体的な理</p>

	<p>由を挙げて回答いただきますようお願いいたします。</p> <p>②災害発生時の避難所である米田小学校をなぜ取り壊すのか</p>
17	<p>米田小学校は米田小学校地区では数少ない耐震補強工事が施された施設です。また地域の高台に位置しており風水害にも十分対応できます。なぜ、このような機能を持ついる施設を取り壊すのか全く訳が分かりません。米田小学校に代わる施設があるのかということを上久米公民館で行われた市民説明会で尋ねましたが、明確な答えはありませんでした。また、市の職員の方から「米田小学校は高台にあるので避難しにくいとの市民の声がある」とか「米田小学校は家から遠いので避難しにくいとの声も聞いています」との発言がありました。</p> <p>この発言の真意はなんなのでしょうか。家屋へ浸水の恐れが生じたときは誰も高台を目指すでしょう。また、米田小学校が家から遠いといわれる方があれば近くの避難所を知らせるべきです。このような地域の住民の声があるからといって加東市自らが避難所と指定している米田小学校を加東市自身が取り壊すのは間違います。</p> <p>この計画では米田小学校地区には加東市の避難所が存在しなくなります。これは地域住民の生命、安全、生活を脅かすことです。行政の仕事は広範囲にわたると思いますが、地域住民の生命、安全、生活を守るために施策は最も優先されるべきだと考えます。以上の理由より、米田小学校の取り壊しに強く反対いたします。それと、米田小学校を万が一取り壊した場合はそれに代わる避難所を指定、あるいは建設することが必要だと考えますが、新しい施設の指定、建設することについてどのように考えておられるのかお答えいただけますようお願いいたします。市にとつて無理なことを言つております。市にとつて無理なことを言つてしまい、おかい過疎化が進むのではないか?</p> <p>それこそコンビニ付きの市営住宅を過疎地域に建てて地域の活性化を図るべき。</p>
18	<p>スカイピアについて</p> <p><a href="http://www.taisin-net.com/solution/taiseis_eye/87/vn700001ay3k.html">http://www.taisin-net.com/solution/taiseis_eye/87/vn700001ay3k.html</a></p> <p>国住指第357号 平成13年6月1日「芸予地震被害調査報告の送付について」</p> <p>やはり旧の滝野町職員やコンサルの知識不足のためおこった設計ミスなので、以前の設計コンサルに事業費の半分は出さすべきでは?</p> <p>また、維持管理費がかかりすぎているので、この際太陽光を取り入れたり屋根を小さくしたらどうか。</p> <p>市に3つある大会議室と新庁舎の会議室があまりかえっているがその使用計画はつくらないのか。</p> <p>1、この計画案に全般的に反対します。</p> <p>2、反対に理由及び疑問点</p> <p>〈疑問点〉</p> <p>・旧3町で比較すると、公共施設の東条地域の廃止が多すぎます。逆に、滝野地域はほとんど存続となっています。いろいろ理屈をつけているが、十分納得のいく</p>

	<p>説明ではない。例えば、加古川流域滝野歴史民俗資料館など住民にほとんど知られていない施設が存続である理由がわからぬ。</p> <p>学校施設では、社、東条地域では小中一貫は教育的効果が大きいので、小学校を統廃合すると率である。ところが、滝野地域は小学校、中学校3校は存続で小中一貫は計画するとの率である。つまり事実上滝野地域の学校はそのままということである。</p> <p>このように滝野地域が優遇されている理由が分からぬ。</p>
3、学校の統廃合について	<p>・小中一貫教育を前面に出し、学校統廃合を進めることが真のねらいのように思う。統合により教職員の定数を減らし、國の方針に協力し、他の補助金の増額を期待するねらいと考えます。一時的に国からより多くの補助金を手に入れても、学校統廃合による長い視点で見る損失は償えないと考えます。</p> <p>・小中一貫、連携が全国的に進んでいますが、不登校の人数は平成13年度で7,000人増加しています。社、東条地域で小学校統廃合しても不登校の人数が減ると考えにくい。逆に、小学校が住居地より遠くなり、小学校での不登校が増加する懸念がある。いじめは、児童一人当たりの教員が減少するので目が届きにくくなり、むしろ増加する懸念がある。</p> <p>・社地域は、兵庫教育大附属小学校、中学校が近くにありより小学校から附属を希望する保護者が増加すると考えられます。より地域が分裂する危険性があります。</p> <p>・兵庫県の北部で、中高連携教育を進めている地域がある。不登校は、中学生も多いが高校も多い。そこで、中高連携を進めてほしい。</p> <p>・社、東条地域の小学校の統合が計画通りに進むと、400人超える児童のスクールバスでの送迎が考えられる。このような大規模なスクールバスでの送迎は、学校教育に多くの制約が発生てくる。残して指導する、各種スポーツ大会への参加のための指導等が不可能になります。</p> <p>・すべての中学校の先生が、児童生徒すべて知つていて、全部で1,300人以上の名前を覚えることすら不可能です。</p> <p>・自尊感情の育成ができるとうたわれていますが、小中合同の行事は統合しなくても可能である。また、中学生が小学生を指導する場面はそうないと思います。そして、統合せずに中学生が小学校へ出向くことも可能である。工夫次第で自尊感情は育めるし、統廃合の成果ではない。</p> <p>・小学校をなくすることで、小学校単位の地域が長い目で見ると消滅する。学校教育には地域の支えが必要ですが、だんだん希薄になる。</p> <p>・近くに小学校がない地域が多くなり、人口が一層減少する可能性が大きくなる。滝野地域以外は、一極集中がより進む。例えば、旧社地域の中心地のみに人口が集まつていくと考えられる。他の地域は、高齢化に拍車がかかりより生活しにくくなる。</p> <p>・人口の減少を食い止め、より発展する市の方策を工夫する必要がある。そのような前向きの提言を市民が参加し、具体化する行政の努力が必要と考えます。今の中正化計画は、後ろ向きの改革でありもつと加東市を困難な方向へ誘導するものと考えます。</p> <p>・平成26年12月10日に「東条文化会館は廃止」と神戸新聞に掲載された時は大変な驚きどシヨックを感じました。なんで、議論もせず、意見も聞かずには廃止の文字が先に出るのか不思議でなりませんでした。よく考えてみると、市長選も市会議員選挙も終わった後での発表であること。市民の声を聴く必要はないとの行政の姿勢が明白になつたと思います。</p> <p>・このような重要な施策は、市民の声を聴いていては前に進まないと思われる。だったら、選挙の前に発表し、信を問うのが正当です。</p> <p>○小中一貫校の建設予定地について</p> <p>今回、コスミックホールの敷地に学校を建てるとの案ですが、都市計画法上可能であるとのことです。防災上はどうなんですか。大雨で東条川が増水し、東条ダムが放水されるとき、警報のサirenが鳴いたら、子供たちは非難するのですか。学校は避難所となるべきところです。</p> <p>また、今の中学校の敷地が土砂災害警戒区域であるのに、土砂が流れる下に学校を建てるのはどうかと思います。土砂災害危険区域と河川との間に建設には反対です。南山の人口も増えています。通学はスクールバスを活用とのこと、南山の土地に一貫校を移すのがベストだと思います。ご検討をお願いします。</p>
19	

<p>○ 東条文化会館の廃止について</p> <p>まず、今回の廃止施設14か所の内10か所が東条地域との棟に驚いています。これから見ても、東条地域が軽視されている証拠です。昔に電化製品のリサイクル施設を誘致するとの約束で、東条インターを開設したのに、リサイクル施設は地元反対で誘致できませんでした。それからです。東条地域への予算や県からの投資の削減が始まりました。もうそろそろ、いじめるのは辞めてください。</p> <p>加東市の中心は社地域と滝野地域となっていますが、東条地域とは大阪や神戸に一番近い場所です。特に東条文化会館は高速バスの東条バス停から徒歩5分以内と近く、東条バス停の停車は大阪では特急が停まります。次は大阪地下鉄のある桃山台まで45分で着きます。また、三宮までも45分で着きます。社地域には止まりません。なぜか、利用者が多く、どこよりも便利だからです。</p> <p>なぜ、いままでにこのような地理的な便利さを活用せずにいたのか、不思議でなりません。定期的に音楽会のコンサートを開催し、神戸や大阪から人を呼び込んで、加東市を活性化させる努力をしていただきたい。また、開催日を日曜日の昼間2時ごろから開催して、遠路からでも利用しやすくする。そして、地域の物産などの販売や散策する場所の提供などをみてはどうでしょうか?この会館の始まりが文化のまち東条だったと思います。</p> <p>今も続いていると思いますが、木管コンクールの関係者と一緒にになって、神戸や大阪から人を呼び込める活動をしてみてはどうでしょうか。【木管音楽のまち加東!】</p> <p>何が何でも、東条文化会館を廃止の方針を撤回してほしいです。よろしくお願ひします。</p> <p>○ 他施設の廃止について</p> <p>とどろき荘の微改修後、収支改善がない場合に廃止の方向性では、だれが見ても、少しだけ改修するのであれば、始めから廃止だと決まっているようなもの。なぜ、「ほいほい」のように露天風呂など大規模な改修を行わないのか、東条文化会館から歩いても10~15分で着けると思う。なんなら東条川堤防沿いを散策しながら歩くコースを整備して、東条文化会館ととどろき荘を連携させてみてはどうでしょうか、検討をお願いします。</p>	<p>20 本計画案の策定手法について</p> <p>・これだけの大きな問題であるし、直接住民に關係することであるにも関わらず、全く住民(これまで、市行政や教育、文化等に尽力、貢献いただいた方々すら)の声も聽かず、一方的にこの度の計画を打ち出したことに憤りすら覚える。</p> <p>・行政に携わる者は、一人ひとりの住民の方々に代わって事務事業を行つていて、そこに住民の声が反映されていないのは、考えられないことと言わざるを得ない。</p> <p>・多岐に亘った大きな問題であるのに、住民説明会の3~4日後までに意見を提出せよといふのは、単に説明会を行つたという形をつくつただけとしか思えない。更に、一回の形式的な説明をもつて、パブリックコメントと称して意見を述べるのは、住民個人としては、かなり難しいことであるし、意見を求めているにもかかわらず、出てきた意見に対し答えもしないというのは、住民の声を聴こうとする意思が感じられない。</p> <p>・議会には、以前から説明してきたことであるが、住民に直接示したのは、本年1月号の広報配布時である。前述したように、住民にとつては、あまりにも突然のことであるので、少なくとも出てきた意見や声を真摯に受け止めて、時間かけて、改めて検討されるよう切に願うものです。</p> <p>・東条文化会館 "Cosmic Hall" について</p> <p>・コスミックホールは、細やかな響きを美しく伝えることができる音楽専用ホールの一つといわれている。</p> <p>・木管コンクールは、当初から全国でトップクラスの著名な審査員の先生方に支援いただき、平成2年から25年間続けられており、フルート、クラリネットでは、</p>
---	---

	<p>日本で3大とも4大コンクールともいわれるまでになつてきており、参加者から多くの一流奏者が育ち、活躍されている。</p> <p>・コスミックホールは、そのコンクールホールとして高い評価を得、演奏しやすいホールとして、全国的にも知られてきている。</p> <p>・このコスミックホールでの木管コンクールは、酒米山田錦、釣り針等と並んで、全国的なものとして加東の宝物の一つである。</p> <p>・このように、加東の宝物の一つでもあるコスミックホールを壊してしまうことなど、到底考えられることではなく、先人が築かれた大切なものを後世に残していくなければならない。</p> <p>・加東の子どもたちに、これらを最大限活用し、同時に、本物を体験してもらひ、文化を育むことが大切である。他にないこのような施設を生かして特色ある学校づくりを進めていただきたい。</p> <p>学校の統廃合、小中一貫校について</p> <p>・本計画案中にもそのように記載されているが、この計画は、正に小学校の統廃合計画であり、これは、子どもたち、保護者、地城の方々にとつては、大問題である。</p> <p>・特に、小学校は、地域の方々にも協力いただき守られてきたものであるから、保護者、地域の方々と議論を重ねて、理解を得てつくりあげなければならぬ。</p> <p>・統廃合は、まさに一極集中化であるが、これは危機管理上問題である。阪神淡路大震災、東日本大震災など予想外ではかたづけられない大災害からの教訓である。分散型であれば、万が一の時でも、早い避難等の対応が可能であるし、被害が出たとしても、少なく留めるができるといわれている。</p> <p>・小中一貫校については、国では、新たな学校種として制度化しようとしているが、この計画案が示された以降、既にそれらに組んでいるところの様子を聞く限り、まだ効果を判断する状況にはないかもしないが、逆に、理解が得られないところが多いと聞きます。</p> <p>・国の制度化しようとしているのは、単にメニューが増えるものであり、加東市においても、これから先進事例等を研究しようとしているところであるから、十分研究し議論を重ねてからでも、決して遅くはない。</p> <p>・研究を重ねて、保護者や地域の方々と議論、協議し、理解を得ていくことが必須であると考えます。</p> <p>・このまま押しきれば、住民には、“子どもたちのため”ではなく、“行政改革の名を借りた統廃合”としか見えないと思われます。</p> <p>以上、大変なご苦労をいただいていることは承知しているつもりではあります、これだけ住民に密接に関連した大きな問題でありますので、今からでも英断を持って再考いただきますようお願いします。また、極めて重要な点のみを意見として提出しておりますので、真摯に回答いただきますようお願いいたします。</p>
21	<p>コスミックホール取り壊し反対します。</p> <p>東条地区の住民の想いを無視してこの計画は、進められていると思います。</p> <p>そもそも、取り壊しが前提で、小中一貫校の話がその理由つけられたように思います。</p> <p>どうしても小中一貫校を実施したいのであれば、用地の候補として現在の中央公民館周辺を検討されではどうかと思います。</p> <p>市の姿勢として、住民が少ないから(特に東条地域)、施設等を廃止取り壊しを考えておられるようですが、その考え方はおかしいと思います。もつとこういった文化施設や体育施設を有効に活用して都会の人を引き寄せたホールとして住民を増やす努力をすべきだと思います。</p> <p>特にコスミックホールは、世界的にも優れた音響設備の整ったホールとして注目してもらえるものではないでしょうか。</p> <p>雨漏りや借地の問題を取り扱しの理由に挙げられてありますが、今までに(合併後)補修や用地買収に取り組まれたことはあるのでしょうか？</p> <p>そういうた努力や工夫もなしに「未来のこどものために」と問題のすり替えになつていてるように思います。</p>

22	<p>過去に日本木管コンクールで何度か公式伴奏者を務めさせて頂いております。</p> <p>この度コスミックホール取り壊しの事を知りました。</p> <p>コスミックホールは大変良い響きのするホールで有り、また永年日本木管コンクールを開催してきた施設でもあります。</p> <p>日本木管コンクールは、年月をかけ、日本を代表するコンクールに成長しプロの音楽家を目指す若い音楽家にとりまして、ここでの成果は大変に意義有る事となりました。</p> <p>また結果を得られずとも参加し、音響効果の良いこのホールで演奏することは、若い人達にとって最高の勉強なる事からこのホールは憧れの地ともなりました。</p>
23	<p>その上、素晴らしいことにこのコンクールは、市民の方々も直接携わり、ホールそのものが市民の音楽の象徴にもなっています。</p> <p>色々な意味でこの様々な素晴らしいホールはなかなか見つけることがあります。</p> <p>ここまで成長した場所を取り壊すことには残念でしかなく、存続を要望したいと思いません。</p> <p>昨年の12月に発表した加東市の公共施設適正配置計画案は全く賛成できない。全般的に建設会社の利益になるだけのことが目立ち、無駄な工事を行われる方向にいくと思われる。小中一貫校にまとめるというのが、どれくらいの建設費用がいるのか？市はその建設予算の見積もりをたてているのか？12月に公表した計画は税金の無駄使いになるだけだとと思う。文部科学省や総務省からの補助金がほしいから生み出されただけではないのか？また、旧3町を各一つの学校に統合して、きめこまかい生徒への指導やいじめ、不登校の問題に対応できるのか？全く対応できる道筋が立てていない。さらに、学校は地域のコミュニケーションの核となるものであり、もし災害が起こった時には避難場所を提供することもできる。一方的な統廃合によって地域の過疎化や市内の経済格差の拡大、さらには災害から身を守れる場所がなくなることになる。もし災害がおこった時、市長や市の役員は一貫校から離れている所に住んでいる住民の安全を保障できるのか。私は無責任な役人たちに住民の命は守れないと確信している。</p> <p>さらに東条文化会館や図書館は取り壊すと計画されているが、私は反対である。建物の規模を縮小して存続させるべきだ。あれほど立派な大ホールを取り壊すことには、貴重な文化財の損失であり、税金の無駄だ。またもし赤字を少し減らしたいのなら文化会館を民間企業に譲渡したり、佐賀市のようにTSUTAYAのような企業に図書館の運営を任せることもある。また政経塾寺子屋のような団体は、とどろき荘の管理を社会福祉協議会ではなく別の組織に任せるべきだと提案している。市は寺子屋の提案を真面目に検討したのか？市は役人だけで勝手に政策を決めて外部からの意見を採用しているとは思えない。</p> <p>1月24日三草の学習塾のシンポジウムに行つたものの不愉快極まりなかった。税金と時間の無駄である。あんなシンポジウムはしない方がましだ。講演者が一方的に市の提案を賛成するような美辞麗句を並べただけではないか？市民を馬鹿にするのもいいかげんにしろ。</p>
24	<p>第■回日本木管コンクールで■位をいただいた者です。</p> <p>今回東条コスミックホール存続の危機と知り、大変ショックを感じています。</p> <p>現在、このコンクールは日本の若手奏者にとって欠かす事の出来ない登竜門となつております。またこの日本の数あるホールの中でも音響の素晴らしいコスミックホールで競い合える経験というのは非常に貴重であると実感しています。</p> <p>私自身このコンクールを受けた時、町の皆さん…お手伝いをしていたスタッフや、練習場所を貸して下さった民家のご主人…、本当に本当によくして下さつて、町の人達ありき、のコンクールだと思ってました。こういう人の優しさを感じられるコンクールというのの中々無いと思います。</p> <p>このコンクールでの貴重な体験は私にとって今でも宝物です。</p> <p>この不況の中、いろいろな事情により存続が難しいのも理解せん。でもどうかポジティブに存続していただけた方向に向かっていただけたけど、こんなにあり</p>

		<p>かたい事はありません。 どうか目の前にある宝物をもつと誇りに思って下さい。 心よりお願い申し上げます。</p>
25	東条コスミックホール取り壊し計画について 私は東京在住の音楽家(ピアニスト)で、東条コスミックホールにおいて行われてきた日本木管シンクールに ■■ 搾わらせていただきたいと願います。	<p>このたび、当ホールの取り壊しが計画されると聞き、県外在住者ですが希望を述べさせていただきたいと思います。 毎回コンクールに於いては、会場が東条コスミックホールであることで、大きな安心感を持つて仕事に向かう事が出来ていたことを、改めて思い至っています。ホールの響きは申し分なく、関係して下さる方々の熱意と細やかな心遣いがコンクール自体の質を常に向上させ、管楽器奏者を目指す若い人達にどうぞ。ホールでおこなわれるこのコンクールが、いつも大切な目標になつたがつてゐると思ひます。 是非取り壊されることなく、これからもこのホールにおいてコンクールが行われていく事を、また、内外の演奏家がこの響きの良いホールで今後も演奏出来る事を願います。</p>
26	コスミックホール取り壊しについてご意見申し上げます。 私は、フルート奏者で ■■ 大学講師の ■■ と申します。 日本三大フルートコンクールのうちの一つ、"日本木管コンクール"には、第 ■■ 、 ■■ 回とお世話になり、第 ■■ 回では ■■ 位、第 ■■ 回では ■■ 位を頂戴いたしました。	<p>関東在住で、正直に申し上げますと、遠くて行きにくい場所ではありますか、東条のみなさまにとても温かく迎えていただけたこと、何よりコスミックホールの 素晴らしい音響に、緊張しながらもたくさん助けていただきました。 初めて受けた ■■ 年から6年、あのホールでまた吹きたいとの思いで、ずっと挑戦させていただきました。 一般的には、入賞してまた次同じコンクールを受けることはしませんが、私にとってコスミックホールだけは違いました。 スプリングコンサートのゲスト奏者としてもお呼びいただき、ミニリサイタルもさせていただき、素晴らしいホールを堪能でき、演奏家として幸せなひとときでした。</p> <p>音楽家の間でも、コスミックホールの音響の素晴らしい音響は他に類を見ないと共通の認識があります。 日本でも、世界でも、稀にみるほどの素晴らしい音響のホールを失くすことには、大きな損失でしかありません。 むしろ、あの奇跡的な音響をもつと文化発展に利用していただきたい。 世界的に著名な演奏家が多く訪れていることも加東市とコスミックホールが誇れることです。 東条文化会館コスミックホールの取り壊しには強く反対を申し上げます。</p>
27	加東市で開催して頂いている日本木管シンクールにて公式伴奏を努めております。 加東市の皆様には、長きに渡り日本木管シンクールに対して多大に御理解頂いていますことを感謝申し上げます。 私は東京に住んでおりますが、日本木管シンクールは、加東市の皆様の温かさに触られる素晴らしい機会となり、毎年楽しみに伺つて、演奏して滞在して、加東市の空気に触れています。 日本木管シンクールは、加東市により25年の歴史を作つて頂き、日本有数のシンクールに育ちました。	<p>と申します。</p>

	<p>コンクールの受験者にとって大切なことは審査員と演奏会場ですので、日本木管コンクールは素晴らしい環境で開催されていることで、多くの若い奏者が受験していることは、皆様もよく御存知のことだと思います。</p> <p>また、日本木管コンクールで入賞した若者達は、その多くがプロの演奏家となり、日本の音楽界を支える存在になつております。</p>
	<p>そのような折、日本木管コンクールの会場である東条コスミックホールが取り壊される計画との知らせを聞き、本当に驚きショックでした。</p> <p>私は、フルート部門・クラリネット部門両方で弾かせて頂いているので、面楽器の特色を肌で感じている訳ですが、東条コスミックホールの音響は本当に素晴らしい、その音響のおかげで若い奏者が思い切って演奏出来ます。</p>
	<p>今回の公共施設適正計画の東条文化会館取り壊しの方針を見直して頂くことは出来ませんでしょうか？是非、再検討頂きたく、お願い申し上げます。</p>
28	<p>東条コスミックホールは木管奏者の夢です。存続をお願いします。</p>
29	<p>この度、コスミックホールが取り壊される計画がある、ということを知りました。 過去に日本木管コンクールを受験させていただきましたが、とても素晴らしい音響で、気持ちよく演奏させていただいたことを今でも覚えております。</p> <p>コンクールを受験した者として、コスミックホールが開催されることが、とても意義のあることだと思います。</p> <p>何卒、コスミックホールを存続していただくよう、強く要望致します。</p>
30	<p>東条コスミックホールは全国レベルの日本木管コンクールの舞台です。 毎年開催されている会場をどうか取り壊さないで下さい。</p>
31	<p>2 学校施設について</p> <p>小中一貫校の設置を前提に時間かけて再編行っていく方針は賛成ですが、3中学校区に基づく再編は児童生徒数の偏りが大きく賛成できません。</p> <p>特に、社中学校区については、規模が大きくなり学校運営の負担が大きくなりすぎることが予想されます。</p> <p>折角の機会ですので旧町の枠組みにとらわれることなく、小中一貫校4校への再編を前提に計画を変更してもらえるように要望します。</p> <p>以下、別添意見書を参照ください。</p>
32	<p>一次審査で響きの素晴らしい方に感動し、もう一度あの響きの中で吹きたい！と二次予選に望みました。 あれから、15年以上がたち、たくさんホールで演奏させていただきましたが、東条コスミックホールの響きはその中でも、思い出に残る素晴らしいです。</p> <p>東条コスミックホールの存続を希望いたします。どうぞよろしくお願ひします。</p>
33	<p>私は東京都練馬区に■■年■月から工房を構える、フルート製作者です。 昨年の日本木管コンクールに二次予選～本選まで伺い、本選では聴衆賞の審査員をさせていただきました。</p> <p>加東市民ではありませんが、上記の関係と、次回フルート開催での協賛協力力を検討していた立場から意見を述べさせていただきます。</p> <p>現在日本各地で盛んにフルート部門のコンクールが行われています。</p> <p>有名なものをざつとあげてみても、仙台、フルートコンベンション、アジアフルート、柄木マロニエ、かながわ、びわ湖（高島）、宝塚ベガ、三田ユネスコ、東京、管打楽器、日本音楽、日本木管、神戸国際、と10以上を数えます。</p> <p>中でも木管コンクールは、フルート関係者からは日本音楽、管打楽器と並ぶ、日本三大コンクールとして、そのレベルの高さと知名度を得ていることはご存</p>

じのことかと思います。

私はこれまでそのほとんどを見きましたが、日本木管コンクールにはほかのコンクールと比べて二つの著しい特徴があると感じています。

1.ホールの音響がすばらしいこと、また終始同じ環境で実施されること

2.コスミックホールの音響の良さは広く知れ渡っているのではないかと思いますが、私も昨年初めて実際に会場で音を聞いて、ほんとうに素晴らしい音響だと認識しました。

本コンクールのように、演奏家の本分である「演奏会」と同じ環境で実施され、しかも同一環境で一次予選から本選までを実施するというコンクールは残念ながらなかなかなく、その方針はとりわけ素晴らしいものであると考えます。

東京近郊のコンクールでも、本選会場は素晴らしいが、予選は小さな会議室やホールで、という状況であったり、世界規模で実施される神戸国際コンクールであっても、会場となるつている神戸文化ホール中ホールも音響的にはあまり良いものではありません。

2.運営がすばらしいこと、市民参加の気風が確立していること

まずは加東文化振興財団の運営がしつかりしていて、事前の来訪打診にも、交通手段や宿泊先など丁寧に相談に乗っていただきました。

また参加者に対する事前の情報公開もきめ細やかで、主催者としての熱意と意識の高さが伝わって来るものでした。

私がこれまで聴きに行つたコンクールでこれ程素晴らしい運営をされているものは他にないと断言できます。

またこれは実際現地に赴いてから感じたことなのですが、地域の方が、受付ボランティアや聴衆審査員、あるいは聴衆として朝早くから会場に並ぶなど、さまざま形でコンクールに参加しており、しかも、それが当然、いつものこと、というような雰囲気で自然に参加されているのがとても印象的でした。

こうした市民参加がこれほど自然に根付いているコンクールもほかに見かけません。

私は昨年、加東市でこうした素晴らしいホール環境と地域に溶け込んだとしても良い雰囲気のコンクールが行われていることに大変感動し、運営委員の方とも面識を持たせただいて、再来年の再会を約束して帰つてしまひました。

そしてその際には工房としての協賛もできれば良いと考えていたところでした。

東条文化会館が取り壊しとなれば、日本木管コンクールはその両方の特徴を一度に失つてしまふと考えます。

それはできれば避けべきだと思うのです。

私は加東市の名前を、木管コンクールの存在により知りました。

古くからのフルート関係者には「東条」のほうが馴染みがあるようですが、私はこの業界がまだ8年ほどですので、やはり木管コンといえれば加東です。おそらくフルート業界にいなければ加東市を意識するることは生涯なかつたでしょう。

そして昨年実際に現地に赴いてみて肌で触れ、このコンクールを持つていいる加東市に対する印象は決定的に良いものになりました。

日本全国のフルート関係者、クラリネット関係者はおそらく大なり小なり私と似たような印象を持つているのではないかと思います。

どうかその立派な看板を自ら降ろされるこことのないよう、お願いいいたします。

私は加東市の名前を、木管コンクールが取り壊されるかも知れない！？と知り驚きました。私の人生におけるキャラリアの第1歩となる、素晴らしい経験をさせていただいた、コスミックホール。のどかな田舎町の、暖かく素晴らしい響きのホール。東京にもあんなステキなホールはなかなかありません。コンクールと、その後入賞記念演奏会で演奏させただいた記憶は、生き生きと思い出されます。なぜあのような宝物を取り壊すという悲しい発想が？？ホールは、楽器と同じです。何年もかけて、そのホール独特の響きを作つてゆきます。これから音楽界の先頭を担う若者が集うコンクールが続いたのは、コスミックホールだったからこそだと思います。どうか、コスミックホールを残していただきたい。行政にはもちろん、様々な理由があると理解しています。だからこそ、時間をかけてじつ

	り検討していただきたいのです。壊してしまったら、もう、終わりです。私は今からでも、残された可能性を信じて、行動をして行きたいと思います。
35	日本有数の素晴らしいホールを取り壊さないでいただきたいです。
36	<p>東条文化会館コスミックホールの廃止に反対します。</p> <p>1. コスミックホールは、日本有数の音響の良いホールです。</p> <p>コスミックホールは残響時間が2.2秒、座席数574名、18列のホールです。このホールは、シユーボックス型という構造で、ニューオーケンサートが行わるヴィーン楽友協会大ホールや、世界一の音響をほこるアムステルダムのゲヴァントハウス大ホールと同じタイプで、クラシック音樂の演奏が最も良く響くタップのホールになっています。また、天井高を高くとり、一人当たりの容積が大きく、2.2秒という残響時間が美しく響く設計になっています。また、客席が18列と、客席数に比して少なく、最後列まで美しい音が響くように設計されています。</p> <p>地方都市でこのような良い音響のホールを持つことは希であり、多くの一流の名演奏家が一流の演奏を行うのも、このホールの音響によるところが大きいと考えます。また、このような音響のホールで音樂の中には、音樂の本当の面白さを知り、心豊かに文化を育まれたことだと思います。</p> <p>人作りは何十年もかかります。コスミックホールの竣工から25年が経過し、今、やっと、素晴らしい音響のホールが人作りに結果を出そうとしている時に、そのホールを廃止するといふのは、あまりにももったいないことです。</p> <p>ホールの維持には、当然、予算措置が必要です。どのような公共施設も、竣工後20年以上経過すると大規模改修を行う必要が出てきます。大規模改修が必要であることは当然であつて廃止の理由にはなりません。</p> <p>このように東条文化会館コスミックホールは、すぐれた音響を有するかけがいのないホールであることを、ご認識下さい。</p> <p>2. コスミックホールで開催されてきた日本木管コンクールは、日本の音楽界に多大な寄与を与えています。</p> <p>私は、████年に日本木管コンクールに参加し、入賞、特別賞を受賞いたしました。そのときに受けたおもてなしは一生忘れません。ボランティアスタッフが、一人一人の参加者に気を配つてください、本当に心のこもつたコンクールでした。他のコンクールで、このようなおもてなしを受けたことはありません。</p> <p>このおもてなしのおかげで、コスミックホールの応援団、旧東条町の応援団になつた音樂家がたくさんいます。1回のコンクールの参加者が150人として、のべ4,000人近くの音樂家がおもてなしを受け、東条町の名前を心に刻んでいます。日本のメジャーオーケストラで演奏しているフルート奏者・クラリネット奏者の大半は日本木管コンクール出身者です。日本のフルート界・クラリネット界は、これから日本木管コンクール出身者が中心になつて動いていきます。</p> <p>この音樂家達は、まだコスミックホールにもどつて演奏する機会がなかつたかも知れませんが、サケが母川に帰るようには、機会があればよろこんでコスミックホールに戻り、一流の演奏をすることでしょう。殘念ながら、そのような機会が今まで余り多くなく、そのため、加東市の皆様にコスミックホールから素晴らしい音樂家を育つてることを十分にお伝えする機会がなかつたかもしません。しかし、今回のパブリックコメント等で、日本中の多くの音樂家、フルート協会やクラリネット協会が声を上げているのは、このような背景によるものです。</p> <p>東条文化会館コスミックホールが、日本の音樂界に多大な寄与をしている事、多くの音樂家が東条町の名を心に刻み、いつかコスミックホールで演奏したいと思っていますことを重く受け止めてください。</p> <p>3. 東条文化会館用地は学校用地に不適です。</p> <p>東条文化会館用地の理由は、東条中学校の災害回避と今後の少子化に向けた小中学校複合化に伴う、学校用地として利用するためと理解しています。</p>

	<p>東条文化会館用地は狭小で、災害発生の懸念がある現東条中学校の前を通らないとアクセス出来ません。近年の異常気象で、記録的大雨が頻発する中、東条文化会館用地は100年に1度の雨で氾濫することが予想されている東条川に隣接しています。このように、東条文化会館用地は、学校用地には明らかに不適です。</p> <p>文科省の施設整備指針において、やむをえない場合は、校舎の高層化も認められることになつております。特に震災後は津波対策として、沿岸部で小中学校を高層化する例も見られます。</p> <p>しかし、校舎の高層化は、津波対策や都市部における土地確保の困難など、真にやむをえない場合に限られています。津波の影響も無く都市部でもない加東市において、小中学校の高層化は、文科省の施設整備指針に反しています。</p> <p>このようなことから、東条文化会館の廃止には、合理性がありません。</p>
37	<p>以上の理由で、東条文化会館コスミックホールの廃止は白紙撤回し、よりよい学校用地を選定して、安全で快適な学習環境を確保すると共に、コスミックホールによって育まれてきた加東市の文化がより振興することを祈念するとともに、今後ともコスミックホールでの音楽会や日本木管コンクールの開催を通じて、日本の音楽界に寄与をしていただけますことをお願いいたします。</p>
38	<p>コスミックホールは、日本木管コンクールで何度も伺い、演奏させて頂いた大変思い出のあるホールです。</p> <p>響きも素晴らしい、学生時代の私たちには大変勉強になり、成長させて頂きました。</p> <p>日本木管コンクールは、東条コスミックホールで続けてほしいです。</p> <p>東条文化会館は音響に優れたホールであり、25年に渡る日本木管コンクールの開催によって、日本のクラシック音楽界発展の一翼を担ってきた存在です。</p> <p>安易に取り壊しという決定がなされた場合には強く反対の意見を伝えたく、パブリックコメントを投稿させたいと思います。</p> <p>ぜひ、議案審議でご参考いただき、取り壊し・廃止を撤回くださるようお願いいたします。</p>
39	<p>2月3日計画案の説明会に参加し、また何回か意見を言わせていただいた件で話しきれなかつたことをまとめて記載します。</p> <p>小中一貫校を設立するにあたつて心配な点は建物の土地の狭さと運動場が元中学校の高台にあることです。単純に9年を2クラスずつだとしても18部屋、それに特別学習室などそなえていくと、3、4階建ての建物を2棟ぐらいは必要になると思います。さらに、一般開放される予定の図書館、簡易な市民ホール、また併設して体育館置くとなると本当に1,270平方メートル内に収まるのでしょうか？現在で考えている予想面をあげてほしいです。</p> <p>それに、昨今安全面強化のために学校は普段一般人は立ち入り禁止になつておりますが、それを多くの市民が利用するのはかなり矛盾があるようになりますがどうでしょうか？</p> <p>元中学校跡地に、グランドの山側にプール、道場がありますがそれを今後もつかうとなると校舎からの移動距離があまりにも遠いし道をわたるので危ない。授業に遅れる可能性だつてある。</p> <p>中学生の自転車通学にしても最近駐輪場を整備したばかりなので5年後から使用されるのでしょうか。となるとわざわざ、高台に自転車を置いて坂を下り、校舎に向かうのは大変なことだと思います。</p> <p>つまり予算が足りない、用地買収に力を入れていない状況で小中一貫教育の校舎をコスミックホール跡地に建てるには安易に考えやすい場所ですね。それにともない上記のようなかんがえられる問題があまりにも多いと思います。</p>

	<p>そのため学校は校舎、グラウンド、体育館、プールが同じ敷地内にあるのが理想です。 また東条町民はコスミックホールへの思い入れが強いで現状維持および改修は絶対しなければいけない。</p> <p>以上のことから代替え案として</p> <p>(1)ヒドロキ荘を東条公民館跡地に建て替える第一体育館、ヒドロキ荘跡地、また南側の農地売却も視野に入れた場所</p> <p>(2)東条小学校をヒドロキ荘跡地に建て替えるおよび農地買収による設備の充実化</p> <p>(3)南山開発地の買い戻し建設</p> <p>(4)東条グラウンド西側テニスコートを含む土地の買収</p> <p>(5)小中一貫校計画は取りやめて中学校だけ東条公民館へ移設</p>
40	<p>あの素晴らしいホール、また木管コンクールがなくなるなんて考えられません。</p> <p>日本を代表とするコンクールを加東市で行われている事は誇りです。</p> <p>是非無くさず続行して下さい！</p>
41	<p>(1)私は、加東市になつたその時から、総合計画の視点“市民参画による計画策定”にいかかわり、加東市ECO隊を立ち上げその実践部に所属して活動しています。このやり方は、市政にとつても市民にとつてもいいことだと思つておきました。しかし、「施設整備計画」があのような形で出され唖然といました。こんな方法しか考えられなかつたのかと情けなく思いました。まったくの秘密の中で行われ、旧来の行政内部執行型で、市民生活など考えていないきわめて傲慢なやり方だと思います。なぜあの方法をとられたのかお答えください！</p> <p>(2)内容については、市民の誰が見ても、市外のどなたが見られても“こりやひどいな”の言葉でした。そこに住んでいる者にとっては、強い疎外感を感じました。私たちは、合併した時点から加東市民として日々暮らしているのです。もちろん税金も払っています。そこに住む市民の生活について考えてもらいたきました。私たちには、”市長さん”に立つた協働の計画を進めると書いているではありませんか。しかも、文化行政・教育行政・福祉行政にかかわる、そこに住む市民にとって大事な大事な問題ではありませんか。建物をつぶして解決する問題ではありません。市長さんが東条地区の文化行政を、教育行政を、福祉行政を、住んでいる市民の視点に立って、どのように考えておられるのかをお尋ねします。お答えください。</p> <p>(3)加東市民の巣の声です。(社地区、滝野地区、東条地区の方々の集まりで)“加東市つて、今何しよるのん?これで頑張っているというもんがないな”“市役所たてたやん”“でもつぶしたやん。2000万以上かかっているらしいで”“またいっぱい潰すいうてるやん。潰すこどしか考えてないな。これも2000万か、2000万どころではないわな”“よその市、どう思つてやろ、恥ずかしいわ”聞きたながら、誰が思うのも同じだなと思いました。市の財政大丈夫なんですか。総合計画の大変な視点地域資源の有効活用と地域経営の実態が見えません。</p> <p>国では地方創世の補助金を出すといつています。すでにその補助金を使って地域経営着手している所があるではありませんか。私は今、東条地区で子育て支援にもかかわっていますが、南山地区には若いママがいっぱいです。集合住宅に住んでいる方、そこに家を建てられている方いろいろです。はじめは集合住宅だったけどがんばつて南山に家を建てた方も多くいらっしゃいます。これから加東市の発展は東条地区からだと思っています。観光バス会社の方からも、そういう意見をいただきました。インターがあり道の駅があり、加東市美観ゾーンへの玄関口になっています。工業団地もあります。住む人の雇用も含めて、工場誘致を進めます。こういった南山の発展をリンクして東条地区のブランド米やコスミックホール等々について考え</p>

42	<p>“ていけば”夢がきらめく元気なまち加東”的イメージがわいてきます。大変申し訳ありませんが、今の市政は“内向き”になつているように思えてなりません。これでは、“夢がきらめく元気なまち”になりません。市民も動けません。地域経営についてどのように考えておられるのかお尋ねします。</p> <p>コスミックホールについて</p> <p>行政では、コスミックホールを最初から壊すつもりでしたね。10年間も修理もせず、切捨て行政をしていました。ホールは、加東市のシンボルです。（木管コンクールの審査員の先生方、ピアノ伴奏をされるピアニストの方々、クラリネット、フルートを演奏される演奏者の方々の声です。）音響効果が素晴らしいホールだということは誰もが認めるとこころです。私は、合併前からボランティア活動をしていて、社、滝野の仲間から「東条はコスミックホールがあつて、文化の薫り高いところだといわれてきました。昭和30年後半から現在まで、コスミックホールを修復もしないでほてきたといふことは、市長は加東市の文化行政をどう考えておられるのか聞いただしたいところです。これも傲慢すぎる市政の姿勢が見えます。もちろん、国際学習塾も滝野文化会館も、社の、滝野の地域の文化醸成に寄与しているでしょう。しかしそれはそれ建設された時の意図が違います。そのこと自体がその地域の文化でしょう。町づくりを進めていくうえで考えるべきことだと思います。そのような観点で考えると、3つとも加東市の宝であります。（国際学習塾で木管コンクールの代わりはできません。音楽を知らないものの言うことです。）ことにコスミックホールは、活用の仕方を考えれば得るところ大だだと思います。これも新しい町づくりの大事な観点だと思いますが…。</p> <p>●質問1：行政の観点から、加東市の町づくり、東条地区の町づくりをどのようにしようとしておられるのかをお聞きします。</p> <p>○東条地区デイサービスセンターについて</p> <p>私の近所のおばあちゃんが、喜んで東条地区デイサービスセンターに行つておられます。この間お会いしたときに聞いた話です。「デイサービス楽しいねんけど、あそこ寒いねん。あそこな、空調が古くなつてかへんようになつてねんけどな、修繕してもらわねんのか聞いたらな”上の偉い人がなこれでええよつてやから”いうてやつたわ。」これを聞いて驚きました。どうせ壊すから間に合わせ・切捨ての行政です。傲慢すぎます。公設施設でありますながら、中学校は全館空調を付けてから間がないのに壊すといつているし、この差は切捨て行政でしかありません。</p> <p>●質問2：このことについてどう考えておられるのか回答をお願いします。</p> <p>東条地区について、地理的条件（谷の地域がいっぱいあります）住民の年齢層、暮らしの様子、交通の便等々どれだけ把握していただいていますか。今もそうですが、将来、田んぼを抱えた老夫婦だけ。子供たちは農業では生計が成り立たず都会へ。若い世帯は南山だけ。遠距離介護か、介護者なしになるでしょう。他の地区も似通つたものですが、福祉の拠点は社でよいのでしょうか。東条地区にも拠点を置いて生活指導等々の対処をするべきだと思います。もつと将来を見据えた広い目で地域の住民を見つめてください。</p> <p>○小中一貫校導入について</p> <p>小中一貫校については、先取りする必要性は何もありません。今ある学校は、距離も人数も適正規模です。中学校の建て替えについてはきちんとと考えてください。責任あることですよ。おそらく、市町村建設設計画の作成の段階では、この問題は上がつていなかつたのではないかと思われます。途中から急に入つてきたと聞いています。これについても、何が何でもこの際やつてしまえといふ傲慢で粗雑な行政の姿勢がうかがえます。統合校舎をコスミックの跡地に建てるという問題ですが、論外です。その場しのぎの粗雑な行政の姿勢が見えます。あんな危険などころに建てるなんて何を考えているのですか。運動場もないようなところで子供にとってスムーズな教育活動はできません。もつと真剣に綿密に子どもの側に立った教育行</p>
----	---

		<p>●追加事項</p> <p>現在東条地区を走っている大型バスは、東条の住民のためにになつていません。税金の無駄遣いです。どう運行したら住民のためにになるか地域を回つて考えていただいたのですか。また、あんな大型バスに何人乗るのですか。住民の側に立った適切な市政をお願いします。</p>
43		<p>コスミックホールの、込み込まれるような響きに助けられました。</p> <p>裏方のスタッフをなさる地域の方や、聴きに来られる方のあたかさにも助けられました。</p> <p>公共施設適正配置計画(案)の中でも「ホールらしいホール」と表現されますが、本当にその通りだと思います。</p> <p>コスミックホールのような素晴らしい響きのホールはそう多くはないと思います。</p> <p>様々な難しい状況がおありでしょうが、東条文化会館、コスミックホールをぜひひ残していただきたいです。</p>
44		<p>私は 2014 年度の日本木管コンクールに参加させていただきました。また、これからも継続的にコンクールに参加したいと考えております。</p> <p>加東市東条文化会館は大変素晴らしい貴重な場所だと思います。今後も東条文化会館で行われる日本木管コンクールに参加したいです。東条文化会館を取り壊さないでいただきたいです。</p>
45		<p>ご検討のほどよろしくお願い致します。</p> <p>2014 年度にコスミックホールにて開催された日本木管コンクールに出場させていただきました。これまでに他のコンクールにも多数出場してきましたが、この木管コンクールは、音楽に集中できる、落ち着いて自分の実力を発揮できる、優れた音響のホールで演奏できる、といったよい環境の下で行われている印象でした。私は、このコンクールが日本有数の大コンクールとなり、また、出場者一人一人の実力を最大限に発揮できるものとなつたのは、優れた環境を有したコスミックホールの賜物であります。</p> <p>コスミックホールは優れた演奏場所というだけではなく、将来のプロの音楽家を育成する場所という重要な意義を保有していると考えております。どうか、日本の音楽界の未来のため、これから羽ばたこうとする若い音楽家の機会のため、コスミックホールの取り壊しを中止していただきよう、お願ひ致します。</p>
46		<p>コスミックホール存続願い</p> <p>今回のコスミックホール取り壊しのニュースを非常に残念に思っています。</p> <p>若き音楽家達の登竜門である日本木管コンクールの歴史はコスミックホールがあつてこそです。</p> <p>この素晴らしいホールの存続を強く願います。</p>
47		<p>旧東条町のコスミックホールの取り壊しに断固反対申し上げます。</p> <p>私、趣味で金管 楽器を演奏しておりましたが、コスミックホールのステージでも演奏致しましたが、素晴らしい音響！素晴らしいホールです！</p> <p>このような素晴らしいホールが取り壊されると知り、本当に悔しくて悔しません!!長年、全日本木管コンクールも開催され、さらには世界的に有名な演奏家もコンサートを行います。</p> <p>佐渡裕氏のタクトによる演奏が素晴らしいホールには記憶に新しいところです。</p> <p>なにとぞお考えを改めて下さいます様、関係者の方々に対して強く、切にお願い申し上げます!!</p>
48		<p>コスミックホールを壊すと言うのは本当ですか？！</p> <p>コスミックホールは、とってもいいホールです。</p>

		<p>私は、視聴経験も、演奏経験もありますが、鑑も良くて聴く立場でも演奏する立場でもとても気持ちの良いホールなんです。お願いですから壊さないで下さい。</p> <p>東条の████先生の元で音楽を育てて頂き大阪音楽大学に進みました。</p> <p>加東市には素敵なホールが3つもあり、財政難なのはわかりますが、木管コンクールも長年ここで開催され続けているのはこのホールが如何に良いホールであるかの証明ではないでしょうか？</p> <p>お願いですから壊さないで下さい。</p>
49	████在住の41歳公務員です。	<p>先日の東小校区への説明会、東小PTAへの説明会に出席させて頂きました。</p> <p>昨今の自治体運営の厳しさは身に滲みて感じておりますが、やはり住民の立場では、コスミックホールの取り壊しには断固反対致します。</p> <p>また、行政の立場でもコスミックホールにおいては、適切な業者の手による適切な補修を加え、「東の玄関口」の名に恥じない施設にし、町のアピールポイントとしていくべきだと考えます。</p> <p>現在、南山の世帯数は400を超えており、緩やかながらもさらに増加の傾向にある事は言うまでもありません。</p> <p>小学校も現在の東小学校のキャパシティでは不足する事も容易に見当が付きます。</p> <p>それを機に小中一貫校という選択は決して愚作であるとは思いませんし、この東条地域のカーラーであれば成功に導くことも十分可能であるとも思います。しかし、それと公共施設とは別の次元で議論されるべき事です。</p> <p>説明会の中であつたように、近隣の市と比較して文化ホールの席数は人口比にして30%多いとの事ですが、仮に削減するにしても「東の玄関口」南山の人口は伸びており、その麓にあるコスミックホールの席数を削減する事が適正でしょうか？</p> <p>代替案として「小中一貫校の敷地に市民と共有の図書館と小規模ホールを併設する」とされましたかが、現在でも小学校の音楽会では父兄がホールに入りきれず、立ち見やロビーでモニター越しに見る人が出ている状況です。</p> <p>適正配置の名の下に取り壊すなら、規模を拡大して立て直すのが「適正」ではないでしょうか？</p> <p>勿論、加東市唯一の「音楽専用ホール」として最大限音響に配慮されたホールが「適正」です。</p> <p>さすがに立て替えは到底困難な事は承知しておりますので、規模の不足は仕方がないとしても、廃止という案には一切賛同できません。「借地の解消」「税収の減」これこそ行政の努力が必要な箇所であり、それを住民に転嫁するのは怠慢以外の何者でもありません。</p> <p>さらに説明しづらいが為に教育論とセットで提案し、予先をはぐらかそうとするような、卑劣極まりない手法は言語道断です。</p> <p>それでもなお、取り壊しというなら私を含め反対派に納得できる説明を「十分に」行ってから発表を行うことが、「行政の責任」ではないでしょうか。</p>
50	高速バスの停留所からもすぐ近くのホールで交通の便には問題なく、何よりも自然に囲まれた、音響の良い素晴らしいホールがなくなるのは、本当に悲しいです。	<p>是非、存続を希望します。宜しくお願ひ致します。</p>
51	私はコスミックホール存続を切望致します。取り壊さないでください。	
52	私はコスミックホール存続を切望致します。取り壊さないでください。	
53	私はコスミックホール存続を切望致します。	

54	施設の数々を反対します。どうしてか何もわかりません。聞くところによると、東条方面が大きく変わるので不思議でなりません。今のままで置いてください。
55	私はコスミックホールの存続を強く望みます。
56	コスミックホールは旧東条町で大事にしてきたホールです。利用方法をもつと考えてぜひ残してください。
57	私はコスミックホール存続を切望致します。
58	私はコスミックホール存続を切望致します。取り壊さないでください。
59	私はコスミックホール存続を切望致します。
60	私はコスミックホール取り壊しに反対します。よろしくお願ひ致します。
61	私達の大切な誇りのホールです。厳しいこの時代、心の豊かさを得られる施設がこの東条には必要です。近くにあることで安心できます。
62	私はコスミックホール存続を切望致します。取り壊さない事を希望します。
63	地域文化を支える大切なコスミックホール。是非これから的心の育ちを応援してやって下さい。心のよりどころとして素敵なホール存在を切に希望します。
64	私はコスミックホール存続を切望致します。取り壊さないでください。
65	私はコスミックホール存続を切望致します。取り壊さないでください。
66	丹波市のように、住民、保護者の意見をよく聴いて財政の使い方を考えて、拙速でなく、混乱のないように進めて下さい。東条の文化コスミックホール存続を切望致します。
67	私は市民の誇りであるコスミックホールの取り壊しに反対します。存続して下さる事を願っております。どうぞもう一度よく検討いただけますようよろしくお願いします。
68	東条文化会館の取り壊しに反対です。 小中一貫校は南山の学校用地に建てれば良い、なにも壊す必要性はない。 東条庁舎と文化会館を壊して次は何を壊すのですか？？
69	この度のホール取り壊しのニュースを聞いて胸を痛めております。 コスミックホールには、コンクールを聴きに行ったり(弟子が出演)、コンサートを聴きに行ったりして、そのホールの響きの素晴らしさに感動していました。クラシックはともどり、ジャズをアコースティックで演奏できるホールを私は他に知りません。フルーティストの████さん(フルーティスト)は「ここ以外のホールでやりたくないらいだ！」とおっしゃっていたくらいです。 ホールの響きというものは、どんなに綿密に設計しても、やはり実際に建ててみないと専門家が言っています。コスミックホールの場合、実際に良い音響を備えているのですから、それを無くすのは本当に残念なことです。 同じ設計で建てたとしても、同じ音響を望むことはできないでしょう。 木管コンクールの歴代の受賞者達が活躍しています。コンクール会場の条件は様々ですが、やはり音響の良い、条件の良い会場で演奏すれば気持ちよく本来の実力を發揮できると思います。 ここから巣立つていったプレイヤー達の故郷を無くさないで下さい。 これから産まれてくるプレイヤーの発射台を無くさないで下さい。
70	先日、河高地区での公共施設適正配置計画案の説明会に参加させていただきました。平日の夜遅くまで市職員の方々、ありがとうございました。

<p>小中一貫教育の件で意見のやり取りがありました、みなさん、それぞれに考え方や思いを述べられているのを聞きながら、納得のできるところ、出来ないところもありました。</p>	<p>しかし、現状のままでは生徒数は減少していく、より良い教育をこれから子供たちにと考えると、リスクがあるとしても子供たちの事を第一に考えると進めていくべきだと思います。</p> <p>確かに色々な問題が起こり得る可能性はゼロではなくあります、行政、学校、地域住民で協力し解決していく事を考えていくべきだと思います。</p> <p>当初、東条文化会館が取り壊しの方向とあり、小中一貫校建設のためとしか取れない記載があります。</p> <p>が、これから子供たちのためにどうせざるをえないので思いました。</p>	<p>しかし、先日の説明会で東条文化会館を取り壊しに中高一貫校建設は関係がなく、東条文化会館取り壊し案があり、そうなった場合に東条地区小中一貫校を東条文化会館あと地に建設する案であるとの説明がありましたのでコメントをさせていただきます。</p> <p>加東市にある3つのホールの中の東条文化会館がなぜ取り壊しになるのでしょうか？</p> <p>確かに国際学習塾(以下LOCホール)は700人の収容ですが、舞台の規模から考えると滝野文化会館と大差がなく、案の中にもありましたが舞台の構造上開催可能な催しは制限されてしまいます。</p>	<p>会議室の数も多いためですが那是ホールの存続には関係無く他の加東市の施設内の会議室を使えば問題ないと思います。</p> <p>対して、東条文化会館は574人の収容人数ですが舞台、音響も良く全日本木管コンクールが開催されても問題の無いホールです。</p> <p>もつと東条文化会館での催しを企画運営し市民の方々にも使っていただきたいと思っています。</p> <p>LOCでの全日本木管コンクールの開催も検討されているようですが、近隣の小野エクラホール、三木市民会館などのしつかりとしたホールへ流れてしまう可能性もあるのではないかでしょうか。</p>	<p>LOCの存続のことについての疑問もあります。</p> <p>概要版のなかには利用者、利用料金収入も一番多いとありますが、加東市文化財団がLOCでの事業を多発しているからではないでしょうか。</p> <p>例えば、7月のプラスフェスタですが夏のコンクール目前に控えた中高吹奏楽部がコンクール前の最終ホール練習も兼ねた演奏会です。</p> <p>それをなぜ東条文化会館ではなくLOCなのでしょうか？</p> <p>コンクールは三木、加古川、明石などの大きな舞台のホールで行われ、東条文化会館も遜色ありません。</p> <p>文化財団にはそんなことは関係なく事業を行っていけばいいだけだと考えておられるのでしょうか？</p> <p>LOCホールは加東市文化財団の事務局があるので存続されるのは？</p> <p>加東市職員が全く移動もなく加東市文化財団に出向されているようですが、加東市職員の採用枠にそのようなものがあるのでしょうか、加東市フィルハーモニーにも所属されているようですが特別枠の職員なのでしょうか？</p> <p>以上、加東市として本当に残すべきホールを考えて頂けますようお願いいたします。</p> <p>ザックリと全ての公共施設適正配置案の説明会だけではなくホール、体育館、小中一貫校、コミュニティセンター、福祉、就学前児童、他、など個別の説明会も開催してほしいと思います。</p>	<p>71 公共施設適正配置計画案が12月10日新聞発表されましたが。</p> <p>・公共施設適正計画(案)説明会だけで結論づけられるのか、市民と議論は出来ないのか。</p>
--	---	--	---	--	--

	<p>・小中一貫校は本当に良いのか疑問である。教育委員会で議論されたのか、学校、教師にも説明の無いままで発表された理由。密室の中で議論され、本当に『未来ある子どもたちのために』なるのか。大人の身勝手で子供たちを犠牲にするのか。附属は一貫校の予定はないようですが、なぜ加東市はこんなに早く進めなければならないのか、それと子供がおられる若い方が説明会に参加が少ないように思います。PTA、PTA役員の意見が聞きたいのですが意見でない力が掛かっているのですか。</p> <p>・加東市公共施設の適正化フォーラムが1月24日にありましたが、ただやらせの様なフォーラムに聞こえました。パネリストの方々に発言規制をかけたのは誰なのか、行政、教育委員会？</p> <p>・優れたホールは東条文化会館（コスミックホール）で「ホールらしいホール」はコスミックホールだけである。取り壊しは反対です。このいいホールを残すのが行政の責任ではないのか。</p> <p>・とどろき荘は縮小して存続収支改善が図れない場合は廃止とありますが今までにきちんと運営管理していればこんなことにならないと思う。以前に改修工事をしたときに管理運営していた社会協議福祉会の施設長が経営改善していればこんなひどい経営状態に成らなかつたと思う、行政は責任逃れではないのか、経営能力の無い社会協議福祉会まるなげで、お客様に頭の下げる職員ばかりでは売上が上がるわけがない、赤字なのは営業努力しない施設長、職員の配置責任があるのでは、絶好の天下り場所のようですね。お風呂、宿泊、食事、イベントなど総合的にお客様が良かつたと言われるような企画ができるのか。コンサルなどを使い営業売上の為に努力したことがあるのか。最後にこの公共施設適正配置計画(案)作成の為の費用はいくらですか、コンサル料、各施設の見積料など総額。</p>
72	<p>ホール取り壊しの連絡をうけ、ご連絡させていただきました。パブリックコメントとして、以下を送らせていただけましたらと思います。</p> <p>コスミックホールは、ピアノ奏者の私たちにも、そしてシンクールをうける管楽器奏者にもとても感じの良い、素敵な響のホールでございます。もし願いかかなうものであれば、ホールの取り壊しを考え直していただきたいと願っております。</p>
73	<p>単刀直入ですが東条野球場のナイター設備の撤去を見直して頂けないでしょうか？</p> <p>野球をする人間から観ればあのいい土の野球専用のグラウンドでナイター設備が整っているのは近隣の他市には無いかなり魅力的なものだと思います。</p> <p>私は旧東条町時代から月に2回、中学高同級生の仲間内で10年以上ナイター草条野球で東条野球場を月に2回、定期的に利用しておりました。</p> <p>団体名は_____といいます。</p> <p>この度、加東市からの急な発表によりいきなり照明がなくなってしまうという話で10年以上培ってきた活動を止め解散せざるを得ない危機に陥っています。</p> <p>また滝野の多目的グランド使用者は競争率が高くとてもじゃないですが今まで通り活動できるとは思えません。</p> <p>予算の都合は分かりますが今ある照明を逆に生かし東条野球場の利用者が増えるよう下記の様に改善をしてみるのはいかがでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧東条町時代に存在していた草野球のナイターリーグとして復活させる</li> <li>・3塁側フェンスが低く林なのと外野のフェンスが低い故ライトに飛ぶとボールの紛失が多くある。またボールの紛失を恐れて積極的なバッティングや練習がやり辛い</li> <li>・簡易的な屋根を付けて雨天でも使用可能にするナイター可能な立派な球場が加東市にあれば他市からも使用者が募り今ある予算の問題も少しはクリアにならないでしょうか？</li> <li>・消してしまうのは簡単です。でももう少し考えてほしいのです。どうか撤去を止めてもらうかそれでもう数年先送りにするかしていただきたくご意見させていた</li> </ul>

74	<p>だきます。</p> <p>滝野の場合、滝野東小学校、滝野南小学校、滝野中学校が1つになると、先生1人に対して、40人とすると、先生が最初は、余つてくる様に思います。しかし、そこで、先生の希望退職を取ると言う事はせずに、あえて、ここで、学校24時間、年中無休、いつでも、困った事があれば、相談に乗りますよと言う心安らぐ学校を創設してはどうでしょうか。</p> <p>今や、保護者も、夜勤も、夜勤や、早朝勤務や、3交代制で朝早くから、夜遅くまで働くを得ない状況です。</p> <p>我が家も、2人の娘の私立大学授業料に高校受験を控えた娘の毎月の出費は、相当な金額で、私も、働きに行かないと、生活出来ない状況で、土日の勤務もあります。</p> <p>滝野に小中一貫校が出来たとして、先生の勤務は、朝早く家を出発する子の対応から、一番遅くに学校から家に子どもが到着するまで勤務して頂きたいと思いますが、先生だって、8時間以上の勤務は、出来ないと思うし、児童、生徒のために、いつまでも、長く働いて頂くには、絶対に8時間以上の労働にならない様にしなければいけないと思いますし、労働基準法でも決まっていると思います。そこで、先生の勤務を、3交代制にして、朝8時から16時勤務の先生、16時から0時勤務の先生、0時から8時勤務の先生と分けて、朝8時から16時の先生と、16時から0時までの先生がそれぞれ、1人ずつの3人で、1クラスの担任をすると言うのは、どうでしょうか？</p> <p>給食も、学校で作る様に調理員さん達手作りの給食が食べれるはどうでしょうか？</p> <p>食育の為にも、朝の授業は、朝食から始まる様になれば、誰もが、勉強に集中出来ると思います。そうすれば、加東市の学力は、全国1番になると思いま</p> <p>す。朝食が終われば、みんなでお風呂に入り、リフレッシュそして、授業が始まると言うのは、どうでしょうか？</p> <p>授業は、朝食、お風呂の時間分午後は、16時まで授業をして、掃除、17時からは、クラブ活動で、クラブ活動は、学生、地域の方の交流も兼ねて行われば良いなど思います。</p> <p>送迎は、バスで、バスの送迎には、ティサービス、病院や、お店を、警備を兼ねて運行する様なバスがあれば良いなと思います。</p> <p>先生が、常に24時間どなたかいらっしゃれば、保護者も子どもとの教育相談、発達相談、虐待相談も受け付けて頂ければ、良いなと思います。</p> <p>また、不登校の子に対しては、スカイプの様な、インターネットを利用して、授業や相談が出来るシステムになれば良いなと思います。</p> <p>クラブ活動では、現在滝野中学校では、体育館1つで、男女バスケット、男女バレーボール、男女ハンドボール、男女卓球が、あります。また、男女テニス部が、一体どこで、練習をしているのか？と思うとても不思議です。体育館は3つはります。運動場は、野球部、ソフト部、サッカー、サッカーハンドボール部が使っている様で、グラウンド整備をしているので、入りにくい感じですが、小中一貫校になると、小学生が運動場で遊びにくくなるのではないか、放課後、小学生はどこで遊ぶのか？と思うと、小学生専用の運動場や、遊具の場所も確保しないといけないのでしょうか？</p> <p>また、学校オープン、運動会、音楽会、若舗祭り、マラソン大会、遠足、修学旅行、スキーなどの行事がある場合、保護者の駐車場のスペースも必要になつくると思います。大型バスが入れるスペースも充分考慮すると、広い播磨中央公園位のスペースが必要になつくると思います。</p> <p>運動場も、大雨が降つても、すぐに水が引く運動場が、必要ですし、テニスコートも、西脇南中学校の様に、オムニコートにして頂きたいです。また、足を骨折しても、安心して授業が受けれる様に、エレベーターの設置をお願いします。</p> <p>学校も、PTA役員会、先生の職員会議には、紙ベースではなく、パソコンで、会議が出来るシステムになれば、紙の節約になるのではないかと思います。</p> <p>過保護すぎる位ですが、24時間いつでも、先生に相談が出来るシステムは、安心して仕事に熱中できまますし、そんな小中一貫校があると、引っ越しをしてでも、加東市に住みたいと思う人が増えそうな気がします。</p>
----	---

75	第1回日本木管コンクールクラネット部門 位受賞の者です。  素晴らしい響きのホール、存続を切望します。 思い出たくさんあります。地域の方々の暖かさを感じていました。
76	コスミックホールに初めて行ったのは今から■年前の■年、日本木管コンクール第1回目でした。 まだ高校生で大きなコンクールを受けたのも2回目。旧東条町の方々の温かいサポートがあつたおかげで、入選することができました。第1回、第2回では「コスマス賞」を頂けたこと。この「コスマス賞」は今まで頂いた賞の中でどれよりも一番うれしく、励みになり、また誇りに思っています。 前置きが長くなりましたが、コスミックホールの廃止ということを聞きメールをさせていただきました。 コスミックホールは本当に素晴らしいホールです。良いホールは時間が経てば経つほど音(響き方)が良くなつてていき、ホールは生き物だと感じることが多くあります。最後に演奏させていただいたのが合併前の■年。 ■年、■年の時よりも温かみのある響きに変わったと感じました。 壊すのは簡単ですが同じ響き方がするホール、もう一つはそこで作られてきた歴史は作ることはできないでしょう。 日本木管コンクールと聞くと、コスミックホールという名前が出てくるほど我々の業界では認知されています。 このようなホールは日本全国探しても珍しいと思います。箱はあるけど中身がないというホールが多い中、日本木管コンクールで歴史を作ってきた、コスミックホールの存続を強く希望します。
77	コスミックホールの存続が危ぶまれていると聞きました。 木管コンクールを何度も聞きに行かせて頂き、響きの良いホールという印象が強く残っております。 何とか、つぶさずに活躍できるように、考えて頂きたいと思っております。
78	コスミックホールの廃止、取り壊しの計画があると知り大変おどろいています。 私はアマチュアフルート奏者で、フルート教則本などの翻訳や、音楽講習会の通訳などを務めている者ですが、日本木管コンクールにはその初期より、フルートとクラリネットの両部門を1次予選から本選まで数えきれないほど聴きに通っています。その際には毎日大阪駅からハイエイバスで通のですが、これはバス停留所から徒歩5分だからこそできることで、より交通が不便で、駅からタクシーの利用が不可欠であるような会場では実質上不可能です。これは多くの聴衆にとって同様でしょう。現地に宿泊する出場者だけでなく、聴衆もいてこそコンクールではないかと思いません。周辺都市からコンクールを聴きに来ることは加東市を知るよい機会であり、その後の観光目的の訪問や居住にもつながる要素ではないでしょうか。 音楽コンクールは聴くだけでも多くを学べる場だということを、世界的なフルート教育者であるトレヴァー・ワイ氏は常に力説しています。コンクール会場は音響にすぐれ、規模が適切であることはもちろん、ある程度の交通の便が確保されていることが極めて重要だと思います。 甲子園球場を例にするまでもなく、コンクール会場はそのコンクールの歴史と意義の象徴であり、置き換える不可能な価値を持つものです。そして会場の音響は演奏に極めて大きな影響があり、時には演奏の出来不出来を左右します。 したがいまして、日本木管コンクールはぜひコスミックホールでの開催を継続させていただきたいと存じます。 全国にホールは数多くあつても、真に音響にすぐれた音楽ホールは簡単に見いだせない思いがあります。東条市の市民のみなさんにとっても、コスミックホールは真に誇れる存在ではないのでしょうか。

	つきましては、音響的にも歴史的にもきわめて貴重なこのホールをぜひ存続させていただきたく、ここにお願い申しあげます。
79	<p>①市政(行政)の大義は市民の声を聞く事が一番大切に思う。</p> <p>②県内でも評価の高い音楽ホール貴重な財産を簡単に潰すことは横暴な破壊者にすぎない。自身の所有物であれば同じように感じるか。</p> <p>③建てた人の気持ちを慎重に感じてほしい。</p> <p>④市の財産は市民の物です。壊すことには絶対に反対</p>
80	<p>東条文化会館コスミックホールの取り壊し絶対反対です。</p> <p>音響効果が素晴らしいホール。子どもたちが生き生きと表現活動をしてきたホール。壊してしまわないでホールを残し活用していくことを考えてほしいと思います。</p> <p>費用がかかるからと何でもこわしなくしてしまうような姿勢では加東市の発展はないと思います。子どもたちにも、また老人にも夢と希望のある加東市にしてほしいものです。</p>
81	<p>コスミックホールの廃止、取り壊しは絶対に許しません。</p> <p>80年前に建設された西脇小の木造校舎は昨年3月より建替えか、改修保存化をめぐり審議した結果、改修し引き続き校舎として使用することとなりました。篠山でもしかりです。地方創生の今、地域の大切な宝物をどうしてそう簡単に潰すと決めてしまうのですか。時間をかけてあらゆる方角より検討し話し合いをするべきです。加東市民に有無をいわさず早急に物事を決める行は時代遅れです。近隣の市政を見習ってください。</p>
82	<p>コスミックホールは木管シンクールの伝統があり、音響が最もよく、見やすい美しいホールです。絶対に壊さないでください！！</p>
83	コスミックホール取り壊しに反対します。
84	コスミックホール取り壊しに絶対反対です。
85	コスミックホールをこわさないでください。おねがいします。東条の宝物です。すばらしい音質を感じてください。淋しいです。お願ひします。
86	コスミックホールを壊さないで下さい。お願ひします。
87	ヒドロキ荘をなくさないでください。
88	コスミックホール廃止ダメ
89	コスミックホールを壊さないで下さい。お願ひします。
90	ヒドロキ荘温泉をなくさないでください。お願いします。私達高齢者は足通、腰痛で苦しんでおります。病院へ行くよりもこの温泉が一番よくきます。又、友達との出会いも出来楽しいです。
91	ヒドロキ荘の入浴施設の存続をお願いいたします。近隣の施設の経営を研究されでは如何ですか。
92	私達東条の人たちは、ただ一つ自慢するもののコスミックが壊されるとなくなります。今まで何かと文化的な事業に参加していましたので残念に思います。どうかコスミックホールはこわさないでください。
93	音響の良い文化ホールを。未来をつなぐ青少年の為にも、良い音楽の効果で健全育成の為、是非とも残してくださいます。
94	東条文化会館の取り壊しを強く反対します。同施設は東条地域のシンボルであり、老若男女誰もが利用し集うことのできる大切な場です。住民の意見を行政に取り入れてください。文化会館を残して下さい。よろしくお願ひします。
95	東条温泉ヒドロキ荘の閉館を強く反対します。阪神・淡路大震災時、同施設は多くの被災者の身体と心を癒してきました。それは現在も同じです。加東

	市民にとって憩いの場であり、必要不可欠な場です。規模を縮小しても事業を存続させることを求めます。
96	コスミックホールは日本随一の施設であり、全国から木管コンクールまたコンサートなど楽しまに楽しめます。是非保存していただきたい願います。
97	足が悪く整形外科へ7年余り通っています。どろき荘の風呂を使用し続けて約30年、やはり入り続けているおかげで今があります。すぐれている温泉を保存してほしいと願います。
98	最も近くの温泉場どろき荘。中高年、健康と癒し、認知症の人を一人でも少なくするためにも。認知症、行方不明が年間一万人。安心まちづくりの為是非。
99	コスミックホールを壊さないでください。おねがいします。コスミックホールは市内でも音響設備はハイレベルのりっぱな建物です。30年近くで建物の補修も必要でしょうが、市内唯一の音楽ホールとして是非存続をお願いします。木管コンクール会場としてもその名を存続してほしいです。
100	・コスミックホールを壊さないでください。お願いします。 ・どろき荘も壊さないでください。お願いします。
101	・コスミックホールを壊さないでください。お願いします。 ・どろき荘は老人の憩いの場です。是非ともこわさないでください。
102	・どろき荘の温泉を末永くおいてください。お願いします。 ・コスミックホールを壊さないでください。音響設備が大変優れた良いホールです。
103	コスミックホールを壊さないで下さい。お願いします。
104	東条文化会館の廃止に反対。加東市の文化よしの設備の一つとして、音響が良いので継続して利用した方が良い。
105	コスミックホール取り壊し反対します。
106	東条文化会館の廃止に反対します。 東条福祉センターとどろき荘の存続を望みます。
107	コスミックホールを壊さないでください。おねがいします。
108	コスミックホールを壊さないでください。おねがいします。
109	コスミックホールの存続を希望します。 [REDACTED]、今回の取り壊し計画においては事務所(加東市)および家族 共々遺憾に存じます。
110	コスミックホールの良さは東京でも話題になる事が多いので、是非とも存続させてほしいです。何卒、宜しくお願い申し上げます。 添付ファイルのとおり、公共施設適正配置計画(案)についてのパブリックコメントを提出させていただきます。 どうぞご検討宜しくお願い致します。
111	①私は東条出身で、東条東小→東条中→小野高と東条の自宅から通いました。たくさん思い出の詰まった母校がいつまもなくなるというのはうれしくありません。私は仕事で三田市で勤めていますが、三田市にも子どもの数が少なくなつた学校はたくさんありますが、三田市の市長さんは自分が市長の間は、学校を廃校にしたりしないと言われていたと思います。(地元の学校は、地元と地元の住民と共にあります。) ②コスミックホールはつぶすにはもったいない建築物だと思います。コスミックホールは小さめですが、音響の設備が素晴らしいと演奏するプロの音楽家の

	<p>方々が言われているのを聞いたことがあります。おそらくL.O.Cホールや滝野文化会館より音楽に適したホールだと思います。(外観も含めて….)コスミックホールは以前はもつとクラシックのプロの演奏が多くなったようになります。最近の舞台の発表の様子は少し残念な気がします。座席は後ろへ行くほど高くなり、舞台が観やすいので、最近の舞台の上演などに使われてはどうでしょうか。映画館まで行くのは遠いなという人や映画館は高いなという人がたくさんいます。東条に置いてなくともよいのかなと思います。ただ図書館の机やいすは十分必要だと思います。家では落ち着いて勉強できない環境の子の勉強部屋になるからです。また新しい建物を建てる時、土地は比較的あると思うので、今大勢の人が使っているものをつぶしたりしなくてもいいのでは…と思います。</p> <p>③とても重大な事だと思うのですが、知らない人もいるのではないかなど思います。市民の意見は十分聞いていただけたのだろうか？と思います。</p> <p>④旧3町のうち、なぜ東条からで、何年も時間を空けて他の町…となるのかなど思います。どうしても全てを小中一貫にしないといけないのであれば、3町で「くじ引き」をするとか、誰の目にも公平に公正に進めています。一番小さい町、一番人數の割合の小さい町(市民のウエート)からというのではなく、何か優しくない気がします。一番弱い所が最初の実験台になつていて、公平観・公正観がないように思えます。以上、加東市の一市民として4点感想を書かせていただきました。よろしくお願い致します。自慢の加東市であつて欲しいと思います。</p>
112	添付ファイルのとおり、公共施設適正配置計画(案)についてのパブリックコメントを提出させていただきます。
113	<p>コスミックホールの存続を要望します。</p> <p>以前、加東市社町社の████████に勤務していました。</p> <p>コスミックホールにも、日本木管コンクールをはじめ、たびたび行かせていただきました。</p> <p>娘は、コンクールの町民審査員をさせていただいた事がきっかけで、今ではフルーティストとなり、木管コンクールでも、2度セミファイナルに進ませていただきました。</p> <p>このように思い出のあるコスミックホールの廃止はどうでも悲しい事ですし、何よりも、ホールで行ってきた事業がなくなることで人材が育つ可能性を描む事になるかも知れません。</p> <p>現に、コスミックホールが娘の人生を左右したと言えるのですから。</p> <p>どうか、加東市において、文化、特に音楽振興の灯が消えませんように。</p>
114	<p>コスミックホール取り壊しの計画を聞きメールいたしました。</p> <p>私は第██回日本木管コンクールで優勝させていただき、記念コンサートにも出演しました。</p> <p>ホールの素晴らしい響きと、自然豊かな環境、街のみなさんのおたかいで対応、全てが忘れがたい想い出です。</p> <p>国内のコンクールは数あれど、このような条件の整ったコンクールは皆無です。</p> <p>ぜひ、この素晴らしいコンクールをコスミックホールで続けていただきたいと思っています。</p> <p>どうぞよろしくお願ひします。</p>

115	<p>どろき荘で開催された意見交換会に参加しました。小中一貫について本当にびっくりしました。</p> <p>○大きな子どもたちの問題を会議1時間で決めようとしていること。「未来の子どもも違うはそんなものなのでしょうか。</p> <p>○コストを取り壊すことと反対です。これから加東市はもう一流の音楽家たちは演奏できないような方針なのですか。社の「国際塾」も出来るとおっしゃいましたが、歌手の方はもう本当に苦労していました。ピンマイクつけたり、客席まで降りたり、響きの少ない会場で本当に氣の毒でした。反響板もたくさんおいたり、プロの方はいかに良い音を聞いて所提供之うございました。</p> <p>市長さんも「第九」をコスミックホールで歌っていただきました。他市の方も「文化よし」の加東市の市長さんに好意を持っています。この話をするとみんなびっくり、他市の方々も加東市のやり方に批判されました。財団の職員の人もビルを入れること、それもいろんなところに同じもの。無駄だと思います。少しは足も運んでください。あまりの多さに中も見ないで捨てています。本当にホールを使い切る意思は見えません。前向きに頑張ってください。</p>
116	<p>1. 公共施設適正化配置計画について</p> <p>26年4月の国の指針に沿うように作った、いささか急拵えの案であると思う。</p> <p>加東市は平成29年までを期間とする総合計画の後期基本計画が、始まっており、この中の7つの政策の中には、施設適正化は全く触れられています。</p> <p>もう一度平成19年初年度に戻り、将来の加東市を展望した施策として発表して欲しい。</p> <p>東条公民館での2日間の説明会に出席の大多数の意見です。</p> <p>個別の施設のなかで</p> <p>2. 適正化説明会の中で、最も力説されていた小中一貫校問題ですが、単学級化の良い点・悪い点をもつと精査してから保護者等に説明すべきだと思います。</p> <p>また、移設場所の点ですが、文化会館を取り壊してとの案ですが、敷地の狭さ・グランドへの移動の危険性・監督体制の不備など検討すべき点が多くあります。</p> <p>建物の古さを理由として、移設を強行すべきではなく、子育てにふさわしい適切さを目指してほしい。</p> <p>教育委員会の説明では、充分検討されたとは思えず、総務省・文科省の下請け業務のようで、不信感が増します。</p> <p>3. 東条文化会館について</p> <p>ホールの音響空間の素晴らしさは、シフォニーホールに引けを取らないホールと言われて、木管コンクールなど地方の都市としては良い評判を得ています。</p> <p>雨漏りがするのは、以前から言われており、こまめな補修をすることで長寿命化を計ってほしい。</p> <p>費用の捻出に関しては、使用料金の見直しはもちろん、ホールのホームページに協賛を依頼する。</p> <p>ふるさと納税の利用目的に補修を目的とした推進を訴求するなど、もつと案を一般に募集すべきではないか。</p> <p>4. どろき荘の活用にも、もう少し地元や関係者との活かし方について話し合ってほしい。</p> <p>収入が少くなり料金を値上げしてからの収入はどうだったのか。</p> <p>アトピー性皮膚炎に効果があると聞かされましたかが、訴求が少ないので思いましたが、最後に</p>

	<p>このような住民への説明会について、開催をされた苦労には、頭が下がります。</p> <p>我々が考える良い機会になり、未来により良くながることを願います。</p>
117	<p>小中一貫校のことですが、東条地域においては一体型は反対です。一貫校は、まだ早いです。もつとゆっくりデータ取りましょう。</p> <p>東京の池袋本町エリアでも、小中一貫でなく連携校をしています。小中それ独立運営で、校舎は併設、図書館、ラuchルームは共有です。教員の交流連携はありますが、お互いがどちらかに行つて授業を行う事はないようです。今そのまま強引に進めても、保護者も地域住民は、絶対協力しません。とくに、コスミックホールの跡地に建設するのであります。</p>
118	<p>東条野球場の照明の撤去についてですが、利用者が限定的であるから照明をとつてしまふ。そんなことしたらナイターしかできません。しかも、滝野の多目的の照明は一時間1,000円なのに東条野球場は、一時間2,000円利用者減りますよ。しかも東条野球場ですよ。サッカーはできません。そこを算盤勘定するのはおかしい。住民サービスへの公務怠慢です。考え方としてください。</p> <p>小中一貫校についてですが、東条地区に関しては中学校を早く移転したい。と説明会でも市長からお聞きしています。なら中学校を南山にもつていってください。それぐらいの用地はあります。小学校は、そのままでいいし、どちらかの校舎を少し増築して統合してもいいと思います。小中一貫校をするよりもぐっと安上がりだとおもいますよ。</p>
119	<p>過去に日本木管コンクールで審査員を務めさせて頂きました。</p> <p>この度コスミックホール取り壊し案があることを知り、コメントを入れました。</p> <p>コスミックホールで毎年行われる日本木管コンクールは年月をかけ、日本を代表するコンクールに成長しました。</p> <p>そこにはひとかたならぬ行政の皆様の真摯で情熱ある取り組みがあつたからこそではありますが、一方でプロの音楽家を目指す若いコンテストントにとつてこのコンクールが様々な面で評価される様になつたからでもあります。</p> <p>「会場の響きが良い」</p> <p>これはプレーヤーにとって非常に大切な事で、特にクラシック音楽ではホールそのものが楽器の一部、音楽の一部を成しています。</p> <p>コスミックホールの響きの良さが若い音楽家が最高の勉強場所としてこのコンクールを選んでいる重要な理由だと言えます。</p> <p>日本を代表するコンクールが良いホールを持ちながら会場を変更する事態はコンクールが多くなり受けける側が選ぶ時代となつた今、少なからず今後に影響を与えるでしょう。</p> <p>またこのホールを通して加東市の存在を知る音楽家も多く、そういう意味でも残念な事と思います。</p> <p>これらの人たけに、存続を要望致します。</p>
120	<p>コスミックホールの解体について。</p> <p>基本的には解体費成です。加東市に、滝野文化ホール、国際学習塾に大きなホールがありこれで十分です。しかし、コスミックホールを残すべきという意見の人たけに、時間をかけてステップを踏むべきです。</p> <p>私は解体を推進するためのステップは次の通りです。</p> <p>第一ステップ、…十数年間続いた全日本木管コンクールをまづ中止する。確か、4年ほど前の加東市の事業仕分で廃止すると決まっていたながら、存続署名運動があり、存続署名簿が提出されて存続することになった。</p> <p>これは市当局の方針が一貫していないからです。</p>

	<p>木管コンクールの実行段階でお世話をされる教育委員会や教育委員会や教育委員会の人があがめてほしい、という沢山の声を聴いています。木管コンクールを加東市が開催する大義があります。浜松市がピアノコンクールを開催しているのは浜松市に大きなピアニストがあるからです。加東市には、木管の業者はいませんし、また、木管の有名な演奏家もいません。</p> <p>今まで、加東市民で優勝者はいないと思います。</p>
	<p>また、木管コンクールの開催時に、コスミックホールが満席になつたことはないと思います。</p> <p>第二ステップ…コスミックホールに利用者数の推移を滝野文化ホールと国際学習塾と対比してみて、歴然とした差があることを確認する。</p> <p>第三ステップ…コスミックホールの傷み状況や耐用年数をみて、大規模修理するか解体すべきか、案をだすべきです。</p>
121	<p>留意しなければならないのは、小中一貫校の計画と一緒にすべきでない。</p> <p>どろき荘は残すべきです。</p> <p>どろき荘は、宿泊施設があり、食堂あり、お風呂ありで、加東市の公共施設では全部揃っているのは、ここだけです。</p> <p>ところが、現在の運営実態は、お風呂の入浴時間は9時までとかで、宿泊客のニーズに答えていない。これは指定管理者が社協だからです。</p> <p>どろき荘の魅力は、周辺にグランドゴルフ場・サッカーフィールドやキャンプ場などあります。大阪の都会の人にとつて大変魅力的と思う。</p> <p>指定管理者を神戸や大阪の業者にすれば必ずどろき荘は利益が出る魅力的な施設によるみがえると思う。加東市だけの市民・業者・行政の発想を断ち切るべきです。</p> <p>また、お客様を東条地区にだけをターゲットにすべきでない。</p>
122	<p>小中一貫校と公共施設の適正配置計画は現時点切り離すべきです。</p> <p>小中一貫校と学校の統廃合について、もつと時間をかけて結論をだすべき。</p> <p>これまでメディアの情報として、中高一貫校の話はきいたことがあります。東京とか大きな都市では真剣に検討されていることは聞いたことがあるが、小中一貫校の話は初めてきいた。今の6・3制を4・3・2制にする話は全く初めてで、教育基本法が改正された話は聞いていない。</p> <p>この小中一貫校の話は、全住民に説明会を開くべきです。小学校区単位で一度だけ開いて住民への説明が終わつたとはもつてのほか。</p> <p>公共適正配置と小中一貫校の制度とは現時点切り離すべきだ。</p>
123	<p>小中一貫校についてです。昨日、加東市のPTCAの実践発表に行ってきました。滝野東小学校と米田小学校の発表でした。どちらも、地域住民に支えられた温かいものでした。市長さんも教育長さんもおられました。市長さんは、挨拶の中でわざわざ東条会場説明会での新聞記事の訂正をされました。あれだけ時間をかけた話し合いを一瞬にして否定されました。そうやって、コンサルティング会社の作った小中一貫校案強引に進めるのですか？2年後に小中一貫校が国の定める学校の枠組みに入り多額の補助金にとびつかたちで、加東市の子供たちを実験台にしていいのですか？文科省は、小中一貫校のデータがほしいだけですよ。はい、実験料金ね。つくれるだけですよ。そのためには米田地区人達の想いを無視していいのですか？滝野東小学校の老人会との昔遊び無くしていいのですか？保護者有志のダンス無くしていいのですか？強引にすすめれば確実に離れますよ。まだ早い。もつと時間をかけましょう。</p>
124	<p>このたび東条コスミックホール存続の危機の報を耳にし、たいへん胸を痛めております。</p> <p>私が日本木管楽器コンクールを受けたのはその第■回でした。当町が主催のコンクールというの非常に珍しく、失礼ながらこんな田舎の小さな町で果たして運営はうまくいくのかと楽しめたのです。</p> <p>その不安に対しコンクールは見事な成功を収められました。小さな町の素晴らしいホールとそのスタッフや町民に支えられた成功は、受賞者や審査員にと</p>

	<p>つてもたいへんな驚きでした。 その後小さな町のコンクールが偉大なコンクールとして成長し、コスミックホールを全国に知らしめることになりました。そこにには想像を超える町全体のための努力があつたことでしょう。</p>
	<p>コンクールの後三回、私はコスミックホールで演奏する機会に恵みました。その音響のすばらしさにいつも心打たれ、東京の一流のホールと何れ劣らぬ、満席の観客と熱意あるホールスタッフが私たちを迎えてくれました。</p>
	<p>ホールと町で育てたコンクールが、逆にスタッフや町の意識を育んでいくことに感銘を受けたものです。</p>
	<p>ホールが育つということは「箱」に伴うスタッフや観客も一流になること、そのホールを無くしてしまうとは即ち、その一流のスタッフや観客までも一緒に取り壊してしまうことなのだと思います。</p>
	<p>町一丸となって培ってきたこの大きなコンクールを支えた、まさに「奇跡」のような財産が取り壊されようとしていることは、何としても阻止していただきたいと思います。</p>
125	私にとりまして、東条コスミックホールは演奏家としての原点です。 どうかこの思いが伝わりますよう、心からお祈りいたします。
126	別添のとおり
127	別添のとおり
128	<p>2月5日の朝日新聞記事には、「小中一貫校 子どもの現状は?」の記事に、「普通の学校より満足度低め、イライラしがち……」小中一貫校の子どもは、満足感は低く、イライラや疲れやすさは高い。とあります。</p> <p>和光学現代人間学部の高坂康雅准教授(青年心理学)の記事です。</p>
129	<p>小中一貫校のメリット・デメリットを検討するために、兵庫教育大の学長のお話は国際学習塾でお聞きし、広報でも読ませていただきましたので、今度は、この記事の元になった、和光大学現代人間学部の高坂康雅准教授(青年心理学)を招いて学習会等を開催していただきたくお願いします。</p> <p>過去2回日本木管コンクールを受けた者です。入賞し、コスミックホールにてソロでコンサートに出演させたのですが、このコスミックホールの響きは演奏者側にとつても聴衆側にとても心地よく響きわたる音響です。私は今まで沢山のコンサートホールで演奏しましたが、この響きは演奏者側にとつても聴衆側にとても心地良いもので、とても心に残っています。ホールの周りは自然に囲まれ、コンクールといった緊張感も良い意味でほぐれ、本来の奏者の力を発揮するための後押しをしてくれる環境であるのではないかと思います。</p> <p>今回このコスミックホールが取り壊しになるかもしれないという話を聞いて、残念な気持ちです。日本木管コンクールの中でも確固たるレベルを誇るコンクールであり、過去の入賞者の方々は現在様々な方面で活躍されているトップ奏者ばかりです。25回も開催されている歴史が、このコンクールの重要性を表しているのではないかと思つております。改めて、このコスミックホールの取り壊しを中止していただきたく、この文章を私からのコメントとさせて頂きます。よろしくお願ひします。</p>
130	オーケストラの一員として長い間コスミックホールで演奏をしてきました。小ぶりながらこのような音響の良いホールは関西はおろか全国にもそう幾つも無いものと感じています。高速バスのアクセスも良く、兵庫県のみならず関西の音楽ファンにとっても宝物のこのホールを是非とも存続させてください。

131	私は第【】回日本木管コンクールフルート部門で第【】位を頂きました。緊張とプレッシャーの中、東条文化会館のすばらしい響きに何度も励ました。このコンクールに入賞したことで演奏の機会が増え、音楽の素晴らしさを次の世代を担う子供達に伝えたいと思います。
	木管コンクールを目標にし、そして東条文化会館で演奏したいという未来の子供達の夢を叶えて欲しいのです。
132	小中一貫教育は、大切なことは承知しております。しかし、私は「未来ある子どもたちのために」このすばらしいホールの響きを忘れないのです。 別添のとおり
133	私はこれまで【】度、日本木管コンクールの公式伴奏員として、コスマミックホールで演奏させて頂く機会に恵まれました。 大変素晴らしい響きのホールで、スタッフの皆様もあたたかく、本当に心に残る時を過ごさせていただきました。 そのホールが存続の危機にあると伺い、大変残念に思っております。
134	音楽家として日々演奏する中、ホールは時間をかけて良いホールになつてあります。 大切に時間を経てきたコスマミックホールという場が、25年と少しという期間で取り壊されてしまうのは本当惜しく思わずにはいられません。 ホールの維持、そして運営には困難なこととも多々あると存じますが、一度なくなつてしまつたものをもう一度作ることはできません。 どうぞぜひもう一度お考え頂けますよう、お願ひ申し上げます。
135	私自身、コスマミックホールで開催されている日本木管コンクールに過去2回参加させていただきましたが、音響、設備共に本当に素晴らしいホールです。 取り壊してしまうのは勿体無い……という思いでいっぱいです。 街にこういったホールがあるということは市民の皆様の心の豊かさの象徴であり、またこれからもそのような心を育んでいく事に繋がると私は思っています。 コスマミックホールは本当に素晴らしい音響と優しい地元の方々に支えられたコスマミックホールで今後もぜひ続けたいです。
136	今回提示していただいた公共施設設置配置計画案について以下4点の案について見直しをお願いいたします。
	1. 東条文化会館(コスマミックホール)の取り壊しは反対です。 コスマミックホールは加東市の宝であり、市民の音楽活動の場であり憩いの場です。東条東小学校では毎年音響のよいコスマミックホールで地域の方を交えて音楽会を楽しんでいます。音楽会を行った午後には共育セミナーとしてコスマミックホールで芸術鑑賞を行い一流の音楽に触れるかけがえのない機会をいただいている。この恵まれた環境のおかげで子供たちは音楽を楽しむ耳・心を養っています。PTAのみどり野コーラスは今年30周年を迎えます。このコスマミックホールの魅力はもちろん、このコスマミックホールで歌えることに喜びを感じ現役の保護者をはじめOBの方々も多数参加されています。このコスマミックホールの完成とともに誕生したコスマモス加東少年少女合唱団は美しいハーモニーを奏で、毎年のさまざまな活動のしめくくりにコスマミックホールで定期演奏会を盛大に行います。かとうバレエスクールのレッスン・発表会、ピアノ発表会など地域に根付いた表現活動の場を今後も私たち市民の下に存続させてください。
	未来的の子どもたちもこのような環境の下で育つてほしいです。音響の素晴らしいコスマミックホールでの開催を希望することは言うまでもありません。何卒よろしくお願いいたします。
	加東文化振興財団が市民と距離を縮めて、密な関係を持つて運営を進めていくといいと思います。コスマミックホールの活動を支える団体の作り、一体となつて運営を進めていくといいと思います。
	2. 小中一貫教育導入について

現時点での小中一貫教育の導入決定には反対です。

現段階で十分な検証がされていないものを導入することに不安を感じます。小学校と中学校で、それぞれの教育目的が小学校では人間形成の場、中学校では勉学重視と違うと思うのに、小中一貫教育として9年間同じ学び舎で学び続けることに違和感を感じます。節目にイベント等で節目を意識させるとのことですが、大きな切り替えが難しいと思うので、学力・運動等の子ども同士の意識の固定化により、伸ばせる能力が伸びせずに終わってしまうのではないかという不安を持ちますし、人間関係の固定化も心配です。先生方は小中両方の免許があれば、異動の範囲も広くなると思うので先生方の負担も増えるのではないかでしょうか。

どうすれば子供たちが最高の教育を受けることができるのか。それは制度ではなく先生の質にあると思います。小中一貫教育導入の目的のひとつとして中一ギヤップを解消するとあります、子供たちは環境の変化を乗り越えることで大きく成長しています。それを取り扱い成長の機会をうばうことではなく、大切なのは、教師がもれなくその悩みに気づき寄り添つてサポートし、それを乗り越えることだと思います。授業やテストの方法など小学校と変わり、戸惑う生徒もいますが、適切な支援を受けその壁を乗り越えるとき、子供は大きく成長しています。

東条西小学校は児童数が減少しており、教育に影響が出ますので、東条東小学校と統合という選択をするべきだと思います。その方法については今後議論が必要になりますが、危険区域に建っている耐用年数が経過した東条中学校の移転については、中学校近辺の岡本・岩屋あたりの農地を得ることができるかと思います。しかし、広大な敷地を得るためにには地権者との交渉も容易にはいかないかもしれません。しかし、学校用地としてということならば、理解を得ることができます。しかし、南山工業団地の有地を取得して用地を得るという事です。いずれにしても、粘り強い交渉が必要となると思いませんが、何卒よろしくお願いいたします。

3. 東条福祉センターどろき荘の規模縮小は及び反対です。  
どろき荘は、高齢化が進めば今後ますます需要が高まる施設で、規模縮小を図るより経営方針を改める努力が必要だと思います。福祉的な役割を担いつつ、サービス業としての経営を維持するのはむずかしいと思いますが、まだ改善の余地があると思います。お風呂が21時で終わってしまうことへの不満の声や、露天風呂を作つてほしいという声はあまりに多いです。湯の質が良い貴重な温泉なので、ぜひさらに営業努力をしつつ維持管理していただきたいです。

4. 東条公民館とどろき荘2階への移設  
別館、調理室を新調し、益々住民の交流の場としてスタートして間もないのに、取り壊しはとてももつたいたく残念に思います。公民館機能はどろき荘の2階を改修して行うありますが、どうしても建築基準の関係でどうしても廃止といふことであれば、コスミックホールのリハーサル室を使用することはどうでしょうか。どろき荘の宿泊施設はそのまま営業を続けていただきたいです。

今回の公共施設適正配置計画について、子供の減少ありきで計画がなされていますが、それよりも人口を増やす計画がほしいです。雇用や住宅を確保し、若い世代にとって住みやすいまちにすることによって人口を増やす計画を立ててもらいたいと思います。加東市は自然豊かで保育・教育環境が充実しており、コスミックホールがあることで高い水準で文化を楽しむこともできます。このような自然豊かな地ながら、日常的に一流の音楽ホールに触れることは、最高の育儿環境であることを市はもつとアピールするべきです。私自身、コスミックホールを持つこの加東市で子供を育てることができ、本当に幸せです。ここに移り住む人たちにもぜひこの恵まれた環境の中で子育てをしてほしいです。

	<p>この度、公共施設適正配置計画案の説明会を開いて広く市民の意見を聞いてくださいましたことに感謝します。そして今後この計画案を私たち市民とともに考えてくださいます。</p>
137	<p>コスミックホール取り壊しには賛同できません。反対です。市民に何の話もないきなり新聞発表とは言語道断です。コスミックホールは木管コンクール、クラシックバレエスクール、少年少女合唱団を育ててきたのです。私はこれらを誇りに思います。市内に文化会館が3つも図書館が4つも多すぎます。否、これを見た時に加東市をアピールすべきです。学園都市、文化を“うたって”いる加東市ですもの。広報に大学のあるまちと自慢げにあります。大学のあるまちは沢山あります。ピアノの調律は3館とも行っておりませんと声を大にしておつしゃいましたが、…びっくり。東条だけしていないんじゃないよと言いたかったのかしら?この案は10年後を見据えた計画といわれましたが、今になつて人口問題が浮上したわけではないでしょう。人口が減少するに分かっていたのに、あんなに大きな庁舎は必要だったのでしょうか。議会場においてもしかし、議員2名減らしたのに議員席をプラス2席にしたのはどういうわけですか?不思議です。3日、5日は目がさえて眠れませんでした。</p> <p>※市長の笑顔す�킵でしたよ。そのスマイルでこれからも住民の事を思い市政を執り行つてくださいます様、切に希望、願っております。</p>
138	<p>1. 配置計画案が作成されるまでの経過を知らせてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)どここの部課で案が作成されたのか?</li> <li>(2)どの程度審議されたのか?審議した部課名、審議日数、時間等詳しく</li> <li>(3)市民の声はどれだけ聞いたのか、計画案のどこに反映されているのか?</li> <li>(4)唐突な発表であったが、なぜもつと早く知らせなかつたのか?知らせられなかつた理由を教えてほしい。</li> <li>(5)学校関係者や、その施設の責任者に事前に知らせなかつたことで、市民の間に不信感が大きくなっている、施設の責任者の方がつらい立場に立たされているが、どうなつた責任は、だれがどのようにして取るのか?</li> </ul> <p>2. 計画案が本決定されるまでには十分過ぎるほどの時間を取つてほしい。加東市の未来の針路を決める重大な事がらなので。</p> <p>3. 学校の統廃合を伴う小中一貫校の計画は白紙に戻してほしい。</p> <p>(1)小中一貫教育はほとんど検証されていない。全国に少數のモデル校ができるが、良い点だけではなく、様々な問題点が多く出されている。よくよく調べて研究してほしい。</p> <p>(2)加東市のような地域で小中一貫校はなじまない。ある大学の先生は、加東市が小中一貫校を作る必要性は全くないと述べておられました。</p> <p>(3)12校ある学校を3~4校に統廃合してしまうのはあまりにも無謀である。</p> <p>(4)このような大きな改変は住民の多数が養成しないと認められない。住民投票を実施するか、全市民にアンケートを取つて意見を聞いてほしい。</p> <p>(5)小小連携や、小中連携をもつと密にしたり、工夫をしたりして今ある学校をできる限り残す努力をしてほしい。</p> <p>(6)加東市教育委員会の審議は、十分時間をかけて、慎重にやってほしい。委員会への傍聴を市民に呼びかけてほしい。</p> <p>4. 東条地区や鴨川・米田地区などに夢あるプラン提示を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)コスミックホールの取り壊しは絶対しないでください。</li> <li>(2)東条中学校の敷地はコスミックホールの跡地ではなく、新たな場所を探してほしい。</li> <li>(3)東条地区の施設一体型の小中一貫校は白紙に戻してください。</li> <li>(4)鴨川小学校と鴨川保育園の存続を強く求めます。若者がシャーシンして来る地域づくりに応援をしてください。減つていた子供の人数が徐々に増加してき</li> </ul>

		<p>ていることを考えてほしい。</p> <p>(5)米田小学校の存続を強く求めます。現在の通学距離でもかなり遠いのに、さらに遠距離通学を強いるのは違法です。</p> <p>(6)文科省の「手引き」でも「保護者や地城住民と課題を精微に分析し、その結果の共有を行った上で、それぞれの地域で子どもたちを健やかに育んていくための『最善の選択』」を求めてています。地域に学校があつてこそ、地城の人々の関心も持続し、地域への愛郷心も育つのだと思います。</p> <p>(7)拙速な一貫校の建設は止めたいと思います。後戻りのできる体制で、いろんなモデルを検証・研究してほしい。</p>
5.	学校の統廃合を行った時の国からの補助金の額を教えてほしい。	<p>5. 学校の統廃合を行った時の国からの特別交付金があれば教えてほしい。</p>
139	東条コスミックホールを取り壊さないで欲しいです。	<p>日本の木管楽器奏者の育成に大きな成果を挙げている、「日本木管コンクール」は、東条コスミックホールでこそ続けていただきたいと思います。</p> <p>今日、さまざまなコンクールが存在していますが、ホールの音響も含め、そこで演奏することそのものが、参加者の大切で貴重な経験となる「本物」を習得出来る機会は、実はそう多くはありません。</p> <p>木管のコンクールといえば東条、と国内全般でも代名詞になっているこの大切なコンクールとホールは切り離せるものではありません。</p> <p>たとえ東京で、非常に計算されて設計されても、出来上がったホールが実際に「良いホール」であるかどうかは難しく、現に有名なホールでも演奏家の間では不評な場所もある中で、日本全国から毎年、このホールを目標として切磋琢磨し音楽学生達が集う、この大切な場所をどうか存続していただきたいと思います。</p>
140	(1)計画案が突然に提示された感が否めません。	<p>木管コンクールの要項が発表される度に、毎回、参加者達と共に「東条」を目指すのはもう長いこと私のライフワークでもあります。</p> <p>コスミックホールは、音響的にも非常にバランスの取れた素晴らしいホールです。</p> <p>このような、音楽的文化的にも未来への可能性を持つているホールの取り壊しは大変に心が痛み、残念でならないと共に、その存続を心からお願いしたいと思います。</p> <p>(1)計画案が突然に提示された感が否めません。</p> <p>充分な議論がなされ、住民ができるだけ納得できるように、もつと丁寧な手順を踏んで進めていただきたい。なお、最近、市長から「見直し表明」があつたことは大いに評価でき、今後に期待したいと思います。</p> <p>(2)東条文化会館の取り壊しについては、是非、再検討するべきと考えます。</p> <p>その理由は以下の通りです。</p> <p>①全国的にも誇れる音響効果を有する設備として、今後も充分に活用できる。      ・市民に良質の芸術を提供できる。(LOCホールとは比較にならない。)      ・演劇公演にも適したホールである。(LOCホールには綴帳がなく、不適。)      ・最も優れたホールを取り壊す案は余りにももつたない。まだ耐用年数もある。(一度壊してしまうと、今後このレベルの施設をつくることは無理と思われる。)</p> <p>②20年以上の利用により、地元市民ではなくてはならないホールになっている。      ・特に子供たちは、小中学校の音楽会等で有効に利用しており、学校教育においても必要な施設。(豊かな感性を育む教育に貢献している。)      ・今まで国内外から一流の芸術家が訪れており、良質の音楽や演劇鑑賞のできる市内唯一の施設として存在感がある。</p>

	<p>③このホールを愛し、存続を望む多くの人達が近隣のみならず全国各地にいる。</p> <p>・2月3日の神戸新聞「イイミミ」にも東京のピアニストの方からの取り壊しを嘆く意見があった。</p> <p>・特に、日本木管コンクールの存在は大きい。多くの若手のプロを育てており、その貢献度は計り知れない。このホールあっての催しといえる。</p> <p>・加東市をより一層全国に発信できる可能性のある施設として重要である。</p> <p>「ホール取り壊し」によって、本当に『未来ある子どもたちのために』なるのか、加東市が本当の意味で『文化よし』といえる町になるのか、考えてみる必要があると強く思います。</p>
141	<p>旧東条地区第一体育館、第二体育館、コスミックホールの存続と活用、小中「一貫校建設地の懲慮、市民への十分な説明のお願い</p> <p>まず、加東市の未来のために、日々尽力してくださり、誠にありがとうございます。</p> <p>2月3日のどろき荘での、公共施設適正配置計画説明会に参加いたしました。沢山の反対意見、心穏やかでない市民の言葉に、お疲れのことと思います。例え強靭な精神力でもっておられても、精神的にも肉体的にもご健健康状態が心配です。個人的には、私の友達の家族のかたが、市長様側におられたので、こころが痛く複雑な気持ちでした。</p> <p>私は旧東条地区で生まれ育ち、結婚して神戸にいましたが、持ち家を建てるこことなり、子供を育てるのに最も素晴らしい環境である故郷に、一昨年帰つてまいりました。幼児二人の子を持つ30代です。</p> <p>私が小学6年生頃に、町長を囲む会かなにかで、今度あたらしくできる図書館にどんな本を置いてほしいなど話す機会があり、みんなで楽しみにしていた記憶があります。</p> <p>その頃は町も文化のまちを目指し、私たち子供は、新しくできたコスミックホールで無料の劇を観たり、生の演奏を聴いて、豊かな時代を育ちました。子供のころのそのような体験は、鳥肌のたつほどの衝撃でした。</p> <p>自分の子供たちにも同じ豊かな子供時代を過ごしてほしいと、強い気持ちで、便利な神戸を離れました。</p> <p>家を建てる時は、土地を何年も神戸各地や他の場所も探しましたが、ここが一番でした。</p> <p>決して収入はよくないですが、この環境を買いました。</p> <p>子供が大好きな東条図書館は県下でも貸出数が多いと聞きます。実際神戸の図書館よりきれいで利用しやすく、神戸にいるときから毎月2回は来ています。隣接する公園では、毎週末小さな赤ちゃんから小学生まで、子供たちがたくさん集まります。平地で安全な遊具があり、広場があり、休憩所もあり、お年寄りもスポーツをしに集まっています。</p> <p>このように皆が集え、安全な公園はまず周りにありません。しかし、思い切って買ったこの環境がなくなるのではと、危惧しております。この近くの子供たちは今後どこで安全に遊べばいいでしょうか。</p> <p>子供が大きくなつてスポーツをするとき、きれいでまだ使える大きな体育館が二つともなくなり、小学校跡地の小さな古い体育館しか与えられず、いずれ古くなつて取り壊しとなり、なにもなくなるなら、現存する立派な体育館を大事に使いたいです。せつかく子供たちが頑張つて全国を目指して結果をだしていくも、例えはハーレーボールや空手など。近くに練習する場所がなくなれば、せつかくの頑張りを無駄にしてしまいます。</p> <p>子供たちはどこで遊び、どこでスポーツをしたらしいですか。私の中学時代でさえ、色々な部活動が二つの体育館を取りあいしていました。雨の日は尚更でした。</p> <p>私が大好きで一生を住もうと選んだ、住みやすいまち、文化のまち、技のまち、加東市でなくなるのは心苦しいです。私のように故郷に誇りをもち、帰郷しようとゆう世代がこれから急速にいなくなるのは、と危惧します。もしこの計画が全て進んでしまえば、子供を育てるのに魅力のない市になつてしまうのではないか</p>

かと。

それはどうゆう市の未来になるでしょうか。明るい未来でなく、高齢者ばかりの元気のないまちかもしません。お年寄りを支えるのは若い力しかありません。それを生かせるようにしてほしいです。若い力は、他の場所から呼べるものではありません。加東市で育つてきた人たちです。そして、豊かな子供時代を送るにとができる私たち世代がまさにいま、旧東条地区の南山に続々と帰ってきます。それは、コスマックホールをはじめとする、育ててくれた環境がそうさせています。

コストカットは無駄な施設にすればいいです。高い税金は、有效地に使つてほしいです。本当に市民が必要としていて、必要な施設を、せつかく私たちの親世代、祖父母世代が少しつつ積み上げ、作つてこられた大切な施設を簡単に壊してほしくないです。お願いします。コスマックホール、隣接する図書館や公園、そして東条第一体育館、第二体育館の存続を強く希望します。コスマックホールの有効活用を、市民とともにと考え実行できるような仕組みづくりを希望します。

また、小中一貫校ですが、コスマックホール跡地に建てられることにに関して、実際に自分の子供が違うので余計に、安全面、防犯面が心配です。川は少し雨が降つただけで急な流れで水かさがかりがあります。工事後は氾濫はないとは言いますが、各地で頻発しているように、今後集中豪雨が起つたとき、北は土砂崩れの危険があり、南は川が氾濫すれば、子供たちの避難場所はどうなるでしょうか。また、実際土砂崩れが起きたのはグラウンドですが、そこを今後も使用すること、また、生徒が運動場を利用するときに、歩道橋という案があるそうですが、危険がどもない、無理があるようと思いません。現代はどこででも安全に遊べないので、学校でくらいは、休み時間にはすぐに運動場に出て、外で走り回れるような環境であつてほしいです。プールはどこになるのでしょうか。今の中学校のプールを活用するには、校舎からかなり離れることとなり、防犯面が心配です。もし小学生もそのプールを使用するなら、教室からプールまでの距離が遠すぎる気がします。

現在の図書館は市民が利用しやすいのですが、もし一貫校と共同使用となつたとき、開館時間が制限されて市民が利用しにくくなること、そして子供の側からしても、利用時間が分けられているとしても防犯面が非常に心配な面があり、できれば図書館は分けて頂きたいということ。校舎が高層階になるかもしれないということですが、災害時の避難の際に危険なので安全面からも心配です。

以上のことから、もう少し学校建設場所を検討していただきたいと希望します。市長様におかれましても、加東市の明るい未来の為、市民がよりよい生活を送れるように考えておられることがあります。市民の意見との擦り合わせをしながら、沢山の議論をして、できるだけ多くの市民に納得して計画が進んできればいいな、と心より願います。よろしくお願いいたします。長文失礼いたしました。

まずこの計画の基礎となっている加東市の将来の人口推計について、以前限界集落といわれた地域で、実際に集落が消滅したのは2割程度でその主な原因是「あきらめ」であったこと、それを跳ね返す地域と行政の努力でほとんどの集落が維持されていること。

また先日の内閣府の報告書(1月27日発表)で人口が増えた市町村が145あること、その要件として良好で安定的な雇用環境、住宅環境整備や子育て支援を進めることで人口の流入、定着がみられ、若い子育て世代の人口構成割合が高まり出生率が高まっています。

また、条件不利地域での地域活性化の取り組みでは、若い子育て世代の人口構成割合が高まり出生率が高まっています。つまり人口推計といふのは努力の仕方次第で変化するということを内閣府の報告書は示しています。この点について加東市として具体的にどのようにあげられています。加東市がおこなつている一つつの地域の持つている人口減少地域と行政で取り組んだ上での公共施設適正配置計画なのかが問われていると考えます。加東市がおこなつている一つの地域の持つている資源を有効に活用した人口流出から人口増加・定着への具体的な努力(行政だけでなく市民も含めた)について教えていただければ幸いです。

とりわけ東条地域にあるコスマックホールは加東市の公共施設適正配置計画資料でもホールらしいホールと自ら認めています、この資源を有効に活用して加東市内だけでなく、近畿圏や全国的に活用する働きかけができないのか、中国道を利用した交通アクセスという有利な条件も備わっています。「芸術や

文化を身近で楽しめる施設を生かし、芸術文化が暮らしに根づいた『文化の風薫るまちづくり』を進めています」というパンフレット「住みよいまち加東市」の言葉は建て前だけだったのかと言わざるを得ません。加東市が自らをおどしめる行為は今後の加東市の発展をめざすなら、するべきではないと考えます。次に小学校と中学校の統合に関する疑問です、確かに子供の身体的発達は私たちの時代と大きく変化していることはそのとおりだと思います。しかし、それに伴う精神的発達や運動力の面はどうですか、必ずしも身体的発達に伴つたものになつてないのではないか。  
この点からみても発達段階の全く違う小学生と中学生を一つの学校にしてしまうのは専門家でない私の目からみても大きな疑問を感じざるを得ません。また現在小中一貫校を実施している学校についても、実施する効果についても、第三者による教育・心理学に基づいた検証は具体的におこなわれているのでしょうか。そのことなしに財政的事情からだけ小中一貫校にして、結果子供の将来に悪影響をおぼました時に誰がその責任をとるのでしょうか。この点も明らかにされる必要があります。

さらに地域の活性化という面から考えても学校がなくなることにより、地域の衰退を招くことになるのではないか。そういう具体的な保障を示してください。

具体的な問題を見てても通学をどうするのでしょうか、スクールバスでの通学となればその時間に合わせた学校活動と子供の放課後とそれを見守る地域の大人的関係はどうなるので十分な学校活動が保障されるのでしょうか。また子供の大きな楽しみである放課後、友達とする道草とそれを見守る地域の大人的関係はどうなるのでしょうか。それでも地域の人間関係が希薄になりつつある中で、子供の育つ環境がより弱くなることを心配します。

運動場の使い方はどうなるのでしょうか、放課後の部活動がおこなわれる中で、小学生はどこで放課後を過ごせばいいのでしょうか、説明会では今後の課題だと答えられましたが、運動場を分けるのならわざわざ小中一貫校にする必要性はないと考えられます。運動会はどうなるのでしょうか、小中一緒の大規模な運動会となれば、出場種目も限られ、子供をお客さん状態におこなうならないのでしょうか。私は孫たちの付属小学校での運動会を毎回楽しみに見てきました、家族のこの楽しみは小中一貫校ではどんな形で保たれるのでしょうか。

社地域や東条地域の小学校の小規模化に対する対策は必要だとは思いますが、それも時間がかかっても地域を活性化させ、人口を増やす努力を通じて解決する方向にすることが地域にとっても子供にとっても良い方向ではないでしょうか。まして滝野地域のように子供の減少がほとんどないような地域の中一貫校は、子供は地域の中で育つという基本を投げ捨てることになると思います。先日のオーラムで紹介された京都の小中一貫校はテレビで紹介された結果児童数が急激に増加し、元の小学校跡地に学校建設するそうです。しかし地元の住民からは「こんなに児童数が増えたのに地域では地蔵盆に子供の姿が見えないと嘆いていると聞きます。

私自身の孫たちは付属の小学校・中学校に通っています、今後付属の小学校・中学校がどのようになるのかは分かりませんが、今米田保育園の孫は付属の小学校・中学校に通う予定です。しかし地元の住民から「今だけ、金だけ、自分だけ」の流れの中に飲み込まれず、住民の福祉の増進に向けて発展することを願っています。

地方自治体の役割は住民の福祉の増進です、そのためにはいかに地域を活性化させるのかを、行政だけではなく住民との共同作業が求められます。また今回の公共施設適正配置計画などは多数決で決められる問題ではないと思います、十分な納得と合意なしに多数決で決めれば、反対した人達の基本的人権を否定することになります。加東市が「今だけ、金だけ、自分だけ」の流れの中に飲み込まれず、住民の福祉の増進に向けて発展することを願っています。

143 東条を見殺しにしないで、とりわけ東北のバハHALLに負けない文化の殿堂コスミックホールを無くすことは断じて許せない。悲願といえる。

144 コスマックホール、東条公民館なくさないで。高齢者大学や各サークル、勉強はどこでするのですか？高齢になると遠い所へは行けないのでです。東条を見

		捨てないで！
145	東条コスミックホールの取り壊しには絶対反対です。 【理由】	(1)やしろし、O、Cホールは品質的にコスミックホールよりも劣り、演奏者の意見は音がバラバラになり、非常にやりにくいつの発言があり、他に照明、椅子のおさまつな作りもダメ。 (2)確かに、O、Cホールの収容人数は300人程度で、コスミックホールは500人程度と収容人員の差が大きい。 (3)コスミックは有名な音楽家も口を揃えて立派な施設だと言っている。 以上の理由で取り壊しには絶対に反対します。雨漏りがするから、こわすとの発言が雨漏りするまで管理を怠っていたのは市の担当部署であり、早急に雨漏りを適切に修理しなさい。
146	加東市内の小学校教員を37年やりまして、今は退職しております。 この前のフォーラムで、「小中一貫校は良い」と兵教大の学長さんが、何の論証も無しに言わされましたので、小学校現場に長くいた人間として、すごく違和感を抱きました。その時に反論の機会もありませんでしたので、パブリックコメントで反論いたしました。今回計画されている小中一貫校、とりわけ5つの小学校が一つになる旧社地区では、大きな問題が出てくるものと思います。	1. 小学校と中学校では、教育目的が違う 子どもたちの全面的な発達を図ろうとする小学校と、受験を控える中学校では、教育の内容も方法も大きく異なっています。そのため、教員免許は小学校と中学高校とは別になっています。免許を持たない小学校教員が中学生に授業をしても、中学校教員が小学生に授業をしても、子どもの心に響かず、大きな成果が上がるとは思えません。フォーラムの資料に「中学校の先生が小学校でもつと詳しく説明してくれるよ」とのカットがあります。でも、小学生とりわけ低学年は、物事を感覚で捉えるのです。言葉で詳しく説明しても分かるわけではありません。また、思春期の問題を抱える中学生に、小学校教員がうまく動きかけられるとは思いません。
		2. 大きな学校になり、子どもたちの発達に問題の生じる可能性がある たとえ中一ギヤップが解消されたとしても、小五ギヤップの生まれる可能性があります。また、旧社地区では、5つの小学校が統合されます。様々な保育園から児童が集まつくるため、小学一年生が落ち着かなくなる可能性の今以上に高いことは想像できます。フォーラムの資料に、「小中学校全ての先生が、みんなのことをしてくれているよ」とのカットがありますが、大きな学校になるとそんなことはあり得ません。むしろ、小規模校でこそ、全児童のことを全職員が知ることが可能になります。旧社地区の小学校は統廃合されますが、今よりも少ない教員で、35人から40人、近い子どもたちを見ることがあります。学習に遅れを示す子が出てきても、1クラス30人もいれば、丁寧な個別指導は望むべくもありません。子どもたち一人一人に行き届いた教育ができないことは必定です。
		3. 小学生の発達にマイナスの影響がある 一貫校では、各種行事を中学生がしきります。そのため、6年生が最上級生として活躍する場が無くなり、大きな成長の機会が失われます。遠距離通学の児童・生徒が激増します。バスの時刻に遅れると、保護者が送迎すると、保育園から児童・生徒が行けなくなる子が増えます。また、学校が遠くなり、休日や放課後に学校に遊びに行けなくなる子が増えます。たとえ中一ギヤップなど別の問題の生まれる可能性があります。また、旧社地区では5つの小学校が集まつくるため、小学校が落ち着かない保育園から児童が統合されます。様々な

#### 4. 地域の教育力が生かせなくなる

鳴川小学校では地域と一緒に運動会や様々な行事をしてきました。それが無くなってしまうことは、地域にとっても大きな損失だと思いません。子どもたちは地域の元気のもとで、希望です。子どものいなくなつた地域は、急速にさびれていきます。そんなことをするにとが、行政の仕事だとは思いません。統合された学校では、地域がたくさんあります。学校を閉じてしまうと思います。■課長は「地域の協力無しに、一貫校の教育はうまくいかない」と言われましたが、学校を遠ざけておいて、協力をしても協力のしようがないません。

#### 5. 教員に無理がかかり、子どもたちの教育にマイナスとなる

今でも長時間過密労働の教員です。一貫校では、様々な打ち合わせにさらに時間がとられます。今以上に教材研究の時間が無くなり、授業の質が落ちます。しかも、統廃合を伴いますと、学校を閉じる準備をしながら、一貫校でのカリキュラムづくりと一貫校に入れるための準備もしなければなりません。その時の教員の忙しさは想像もできません。子どもから目と心が離れます。その時に子どもの荒れを生みます。

6. 今回の提案は「公共施設適正配備計画」の一環として位置づけられています。したがって、本来的に公教育の充実を目的としたものではないと思います。

#### 7. 小中一貫校は、教育学的検討が十分になされていない

小中一貫校は、全国にたくさんあるわけではありません。兵庫県内はまだ3校です。先進的にやっている学校でも、「基礎学力がしつかりつきます」(兵教大学長フォーラム発言)と言い切るだけの実例はありません。「教育は百年の計」と言われます。しかも、子どもたち一人一人の一生がかかるつています。うまくいかない可能性のあるハ中一貫校を急いでつくることに私は反対します。

#### 147 【経緯】

先日、加東市公共施設フォーラムが開催され、私はパネル討議に参加しました。これを紹介した新聞記事の中で、私の発言として、“討議参加者最年少の舞踊指導者、■さんは「若い人は公共施設をあまり使わず『負担を強いられている』との思いがある」と、世代間で考え方が違うことを説明した。”と書かれました。

これについては、私の発言の本意と異なりますので、お世話になつている方々や知入の皆さまにはご理解いただきたいと思い、文章にさせていただきました。

#### 【私の本意】

私は、施設を利用する若者の立場として、身の回りの同世代の意見と利用者の意見と利害の両方を比べて、「お互いに相手を尊重して歩み寄る事が必要だ。」と言つたりだつたのですが、うまく伝わらずに記者さんには誤解を与えてしました。これは、口下手な私の責任もあります。

普段から文化活動で市のサービスを受けている僕の立場からすると、そういった施設は一つでも多い方がありがたいと思っています。

しかし、私と同じ利用者側の立場の人の中には、今のことだけを考え、子どもや孫の世代の負担にまで思いが廻らない方もおられるように感じています。また、私と同世代の若者の多くは、文化活動に生きがいを持つておられる方が多いといふ傾向があるように思います。

それぞれ、自身の意見を主張することは大切なことですが、お互いを目の前にして主張を行つているわけですから、相手の気持ちを考えたうえで、思いを話されてもいいのではないかと思うのです。

利用者側は、みんなのお金で維持管理している施設を安価で使わせていただいているという感謝を忘れてはいるのではないでしょうか。

	<p>一方で、施設を使われない方々は、施設を使うことができるという選択肢が用意されているのに、自らの判断で使っていないことを忘れ、自分には関係ないから無駄なものだ、と切り捨ててしまっているのではないかでしょうか。</p> <p>このような、自身にかかわる問題に直面したときに、まず相手を思いやるといった気持ちは持ちにくいためだと思いますが、そのことを意識して、みんながある程度我慢していかないと話は進みません。</p> <p>私は、次の世代の人たちの負担を無視して、今さえ良ければ多くのお金を使い続けることが正しいとは思えません。</p> <p>逆に、今サービスを受けている人たちが多くの我慢を強いられ、不便な状況を押し付けられることも正しいとは思えません。</p> <p>そして何よりも、同じ市民同士や市民と市役所の方、時には他市の方々に対しても、まるで敵対しているかのように、自分の意見を一方的に主張することで、結果として対立の構造を作り出してしまうことがあります。</p> <p>互いに不快な思いすることには不毛なことであり、問題の解決にはならないと思います。新聞などの報道においても、対立を増幅するような記事を目にしてしまいます。残念でなりません。</p>
148	<p>【本当に伝えたかったこと】</p> <p>みんなで譲り合って、仲よくやっていければそれが一番だと思います。そのためにもお互いの気持ちをわかつらうとする努力、相手を尊重する気持ちが大切であると思っています。</p> <p>最後まで読んでもらってありがとうございました。</p> <p>三町の合併で環境も変わっていくのは理解していますが、市の向上に考え進んだ計画なのでしょうか。しかし、公共施設(素案)滝野・社地区での意見は少ないようになります。大きく変わることはないのですが、それに変わり、東条地区へのやり方にはどう見ても差別しているように思いました。施設の取り壊しが全体の2/3がこの地区に集中となり、借地、耐震、赤字の問題が大きく取り上げられていますがそれだけでしょうか。三地区の中では東条地区の人は個々には文句を言うけど、表立っては声を上げることをしなかつたために、市は強行な進め方をしても大丈夫と思ったのでしょうか。</p> <p>五日の説明会に出席して、みんなが熱い思いの意見が沢山出たことは良かったと思います。かなり遅くなり発表したかったのですが、私の思いをこの文章に書きました。</p> <p>まだまだ高齢者が増える中、近場でお互いの交流場所となるどろき荘が市の方向性が、様々な報道により利用者を減らす結果になってしまいます。この近くの温泉では一番の泉質で評判も良いのに設備の改善もなく赤字だから。一方ぼかぼでは多額の修繕費をかけ、その違いはどのように考えていますか。早く閉鎖するように願つての行動が見えます。説明会でも話が出ていたように、このすばらしいどろき荘の温泉を続けて行けるように考えてください。これは利用者みんなの意見です。</p>
149	<p>加東市公共施設適正配置計画の中で「東条文化会館コスミックホール」の存続について 先日来、標記等の課題・テーマについて詳しい説明会を拝聴いたしました。私は旧東条町の住民の一人として、この件に関する状況や感想、経過を示し、私見として以下の別紙に記述します。</p> <p>市長様をはじめこのことに関わる方々への参考資料としてお聞きいただきたいと思います。尚、この内容については特に旧社町、日滝野町の皆</p>

	<p>様方にもお伝えくださいと思います。</p> <p>○コスミックホール建設までの地域の状況</p> <p>昭和30年に東条町となつて地域としては地場産業の針り針、農業をベースに観光（東條湖ゴルフ場）が広がつてゐた。</p> <p>当初住民を対象とした活動として、社会体育の振興が充実し、併せて文化面への足掛かりを目指し、「東條の自然を考えるシンポジウム」や「東條の文化を推めるセミナー」等も盛んに開催された。そして文化の振興拠点としての“文化ホール”的建設が待望された。</p> <p>この目標実現のため、住民の有志と各界の著名な方々に集つていただき「文化ホール建設検討委員会」が結成され数年に渡り文化ホール建設構想が練られていった。</p> <p>この中で多目的ホールよりも音楽専用ホールとして、中小規模が最適としてまとめられた結果、現施設が完成した。ホールの愛称は公募によつて“コスマックホール”が採用された。完成後は音楽を中心据え、木管コンクールを柱に地域の人達による音楽演劇などの催しが盛んに利用されていられた。</p> <p>○総帳に「平山作品」が導入された経過</p> <p>原画に平山郁夫画伯（文化勲章受章者）による原点、ライフワークのシルクロードをテーマにした作品が使われた。この作品を探り入れるアイデアは東条地区松沢の████氏（故人）であり、████氏の熱情が実り平山氏にも快諾されたのである。京都西陣織で加工された総帳は国宝級であり、世界的にも例のないものなのである。</p> <p>○コスミックホール完成して施設の利用運営について</p> <p>施設運営委員会が構成され、日下部吉彦氏（音楽評論家）や山根淑子（音楽評論家）がはじめとする各界の著名人や住民代表の熱心な協議によりレベルの高い施設運営が決められていく。また、住民から大多数のボランティア協力者が運営に携わつてゐた。このことをドッパースリートからも絶大な評価をいただいたのである。</p> <p>○これからコスミックホールの施設存続に関する意見</p> <p>上記に述べた觀点を考慮し、諸点の困難な課題があるにしても前向きに検討し、改めて再スタートを目指し、この際で理解賜りホールの存続の方向に展開していただけよう、心からお願いする次第であります。</p>
150	<p>『公共施設適正配置計画(案)』の東條文化会館の廃止に反対します。また、公共施設適正配置の検討委員会の再設置と、案の再検討を要求します。</p> <p>最初に、東條文化会館コスミックホールが、ホールとして優れた特性を持つ施設であり、その有用性は行政も認めるところである事を確認する。</p> <p>・『公共施設適正配置計画(案)』の32ページに、『ホールや舞台の構造上は、3館の中では一番「ホールらしいホール」と位置付けられ、「日本木管コンクール」など特色ある催しを開催していますが、…』とある。</p> <p>・1月28日(平木公民館)の説明会で、私の質問に対する返答の中で、『東條文化会館がホールとして優れている資料がある』との意味の回答を頂いている。</p> <p>・『公共施設適正配置計画(案)』の32ページに、『しかし、L.O.Cホールは舞台構造上開催可能な催しは限定されます。』とある。</p> <p>市民への行政サービス、地域文化の拠点となる重要施設を廃止するという事であれば、行政には、相応の明確な理由を説明すべき責任がある。しかし、『公共施設適正配置計画(案)』には、東條文化会館を廃止するにあたつての、明確で説得力のある理由が示されていない。また、説明会においても、説明や質問に対する回答が、場当たり的に整合性を欠き、説明責任を果たしているとは言い難い点が多く見られる。以下、その問題点を列記する。</p> <p>①東條文化会館の廃止理由が明確ではない。</p> <p>②『公共施設適正配置計画(案)』の32ページには、『「2学校施設」において、東條文化会館用地は東條地域小中一貫校の用地とするため、「東條文化</p>

会館」は廃止となります。』とある。一方で、同ページ内に、『用地の大半が借地であることなどから、「東条地域小中一貫校」が東条文化会館用地以外になつた場合でも、廃止として取り壊し、借地の解消を図ることを優先します。』という記述が見られる。

東条文化会館の廃止理由が、小中一貫校の用地の為なのか、用地内に借地がある為なのか、明確に理由が示されていない。また、2月2日（河高交流センター）での説明会時に、私からの質問に対する回答の中で、『東条文化会館の廃止は、小中一貫校の用地とすることが理由ではない。』との回答としているにも関わらず、翌日2月3日（どろき荘）での説明では『小中一貫校の用地の為に廃止する』と発言している。

廃止の理由が明確ではなく、その説明も整合性に欠き、重要施設の廃止理由として納得できないものではない。また、質問や対案を募つておきながら、論点を明確にせず、市民を惑わせ、建設的な意見交換を妨げるものであり、説明責任を果たしていない。

②利用数の減少に関する

利用者が増えるような運営を行つてこなかつた事が原因であり、施設そのものの問題ではない。  
客席数、駐車場、リハーサル室などの付帯施設を見ても、施設機能としての大きな欠点は見られず、利用者数減少に繋がるものはないと考えられる。東条文化会館でしか提供できないサービスを売りにして運営を行えば、利用者数の増加が見込まれる。また、他の類似施設を廃止したり他用途に転用すれば、東条文化会館の利用者数は増えることが見込まれるのは明白である。

運営努力を怠り、利用者数減少の理由を考慮せず、それを廃止の理由にすることは間違いである。

③大規模な雨漏りや外壁の剥離に関する

管理を怠つていたことが原因であり、それを廃止の理由とすることは間違つている。  
1月28日（平木公民館）と2月3日（どろき荘）の説明会において、『東条文化会館の管理を怠つたことはない。加東市に合併されてから9年間で2,000万円ほどの費用をかけ、設備の交換や修理を行つている。』という回答があつた。しかし、本当に管理がなされきてきたのであれば、雨漏りや外壁の剥離を大規模になる前に発見し、その対策ができるはずである。多大な費用をかけながら、その修理が手付かずであることは管理の怠慢であり、市民の財産に損害を与えているとも考えられる。それを廃止の理由にすることは間違つている。穿つた見方をすれば、最初から施設を廃止することが目的で、故意に修繕を行わなかつたとも解釈できる。今後も公共施設適正配置の事業を継続してゆく意向であるようだが、行政による自作自演が可能であるといふことになる。これは、この事業とは関係なく、行政の体質として大きな問題である可能性がある。

また、『公共施設適正配置計画(案)』の32ページに、『「やしろ国際学習塾」を加東市の文化会館として存続し、大規模な修繕や設備の更新を計画的に行實施しながら、(略)』とあるが、やしろ国際学習塾に対して大規模な修繕や設備の更新の費用をかけるのに、東条文化会館に対して修繕や設備更新が行えないことは、説明に整合性がない。管理の怠慢に加え、結果ありきの理由付けであり、到底納得できるものではない。

④借地に関する

本当に借地が問題になるはずである。また、小中一貫校を建設するにあたつて借地の解消を行う努力ができるのであれば、東条文化会館を存続した上で、借地の解消に努めるべきである。これも、管理と運営の怠慢であると言わざるを得ない。

⑤コスミックホールの縦帳に関する

東条文化会館コスミックホールの縦帳は、平山郁夫画伯原図によるものである。平山郁夫画伯の名聲は確固たるものであり、広島県には画伯の美術館があり、奈良県の薬師寺においても、境内の重要なお堂の壁画として大切にされている。その画伯の原図となれば、この縦帳は二度と入手することのできない貴重な文化財である。また、この貴重な文化財は、東条時代に町内の団体により寄付されたものである。東条文化会館を廃止する案を示しておきながら、貴重な文化財であり、市民の地域や文化に対する想いの象徴とも言える縦帳をどう扱うかが一切説明されていない。2月2日（河高交流センター）の説

	<p>明会での、私の質問に対する返答の中でも、『廃止した場合、綿帳をどう扱うか、明確な予定はない。』と回答している。結果ありきの、市民の想いを無視しているものだと判断せざるを得ない。</p> <p>⑥東条文化会館を存続することの利点の無視</p> <p>どのホールが優れているのかは、催し物によつて違つくるところではあるが、東条文化会館でしか提供できない催し物がある。特に、生の音を聴かせる催し物は、他のホールでは提供できないサービスである。そのホールの特性は、加東市の施設のみならず周辺自治体のホールと比較しても劣るものではない。そのような文化施設が存在することは、加東市という地域の魅力につながり、転入者の増加や転出者の減少に寄与する事が期待できる。引いては、加東市の収入増加につながるものである。</p> <p>廃止の判断をする前に、既存の施設を活かそと検討努力することが必要であるが、『共施設適正配置計画(案)』や説明会において、一切示されていない。市民の財産を預かっている行政として、職務怠慢であり、責任の放棄であると言わざるを得ない。</p>
151	<p>以上のように、『公共施設適正配置計画(案)』とその説明会において、東条文化会館を廃止する理由として示されたものは、どれも根拠として説得力がなく、理由として体をなさないとばかりである。また、施設自体に問題は見受けられず、その運営と管理を適切に行えば、加東市の魅力に繋がる重要な有用な施設であると判断する。以上の点から、公共施設適正配置計画(案)における東条文化会館の廃止に反対する。</p> <p>最後に、このように、公共施設適正配置計画(案)の対象一施設だけでも、その廃止理由や説明にこれだけの問題が見受けられる。市民の目線に立つて、市民の想いを考慮して検討してきたとは思えず、結果だけを優先して、適当な理由付けを行つたお粗末な内容であると言わざるを得ない。これでは、加東市行政に対して信頼を持つことができない。それは、市民の地元地域への想いといふ、他では得ることのできない一番大切な財産を失うことにつながり、その結果、地域の衰退を招くことを危惧する。</p> <p>公共施設適正配置に関して、改めて検討委員会を設置し、市民も参加できる形にして対話と説明の機会を増やし、時間をかけて再計画するよう要望する。</p> <p>2月3日、5日の説明会に参加させて頂きました。参加者の切なる願いをくみ取り市長は「再度熟考、熟慮したい」と表明白してくれたのだと思います。個人的な意見としては小中一貫校についてはあまりにも説明不足、なおかつ本当に担当者の方々が子供たちの事を真剣に考えて計画したのかという印象を受けたので反対させていただきます。公共施設適正配置計画案については概ね理解できるものコスミックホールについても明確ではなく、安田市長のあげている7つの政策のうち、1『文化』未来を拓く人を育む文化のまち、4『活力』魅力ある資源を活かした誇りのもてるまち、5『快適』暮らしと憩いが響きあう心地よいまち、7『実現に向け』まちづくりの目標を支える自主自立の行政経営、これを実現する為にもならない施設にあたると考えられるので取り壊しは反対させていただきます。</p> <p>・小中一貫校について</p> <p>メリット、デメリットがあまりにもテンプレートすぎます。地域がかかわる事に關しては一緒に考えれば良いともいいますが先日の説明会で受けた印象では「他が良いと言つているから良いんです。まだあまり考えていません。」としか聞こえてきません。しかし見て真剣に考えて真剣に考えるまではまだNOだが、今の状況では小学校の統合だけで良いのではと感じました。</p> <p>何か新しい取り組みをしようとする時、必ず良い面もあれば悪い面もあると思います。大切なのは、良い面だけを押し出し実施するのではなく、悪い面を押し出し反対するのではなく、しっかりと両方の面をしつかりと改善を続けることだと私は考えます。</p>

<p>・コスミックホールについて</p> <p>現在、加東市には3つのホールがあり他と比べると多すぎるという事ですが、将来人口推計にも出ているように、これから地方がどんどん衰退していくなかで他と肩を並べることが本当に大切な事でしょうか?ほかの地域と協力していくことは大切なことだと私は思いますが同時に差別化をはかることも大切なではないでしょうか。</p> <p>現在、加東市には山田錦という大きな柱がありますが地方がこれからどんどん衰退していく現実を考えればもう一本大きな柱がここ加東市には必要だと考えています。そこで他にはない資源とも呼べる加東市の特徴ある3つのホールを利用し音楽文化を発展させていけばどうでしょうか?</p> <p>まずは市をあげて子供たちに楽器に触れる機会、演奏のできる環境を提供し、その後大人たちにもその環境を用意し住民にも積極的に参加してもらおう音楽に興味をもつもらう。そういう事によってホールで開かれる演奏会の客足も伸び、音楽関係者はもつと加東市に注目し、最終的には加東市に来ると、どこからで楽器の音や歌声が聞こえてくるような懇いのまちに</p> <p>…と途中からは理想ですが大切なのは音楽というものは加東市が誇る山田錦で作る酒と同じように世界各国共通という事です。良いものであればどこの人であれうと評価をしてくれる文化です。これからの方ちはもつともっと日本だけでなく世界にも独自で売り出していく事が必要不可欠です。その為にも行政と住民が一体となり資源でもある3つのホールを使って発展させていけばどうでしょうか?</p> <p>事業費を削ることも、もちろん大切な事です。どこを削るかも慎重に考えられたと思います。しかしこれからもつともっと価値の伸びる可能性のある施設や子供たちには投資をしてもらいたいと思います。20年後、30年後の加東市が今よりもずっと豊かな町になることを願っています。</p>	<p>152 P2 3公共施設適正配置の基本方針</p> <p>(1)地域バランス重視からの転換</p> <p>合併の条例及び基本理念から鑑み、今回の計画案が、東条地域の施設に偏向していることに、異議を申し立てます。また、「行政経営上設置効果の低い施設は統合廃止の対象」とありますが、「行政経営」とはなんでしょうか。行政の運営を「管理」ではなく、民間の優れた経営理念や経営手法を積極的に取り入れて、市民の目線に立ったサービスをすることで、市民の皆様の満足度が向上するよう、「成果」に重点を置いた行政活動を行っていくことをいうようです。説明会でも指摘があつたように、到底市民の目線に立って、満足度が向上するような(案)ではありません。Aさん、Bさん、Cさんの言い分を云々とは意味合いが異なると思います。また、『行政経営総合研究所』のホームページには、行政には、大義を担う公的組織の「使命」を心に刻み、住民と協働して、住民基点の理念と実現すべきビジョン(総合計画)を策定し、それを効果的・効率的に実現出来る「使命重視の最適な行政モデル」の創造が求められています。そのモデルとは、下記のようになります。</p> <p>一本の草しか育たないところに 二本の草を育てるものこそ 人類の福祉に真に貢献するものである と、述べられています。しかし、この(案)は一本の草をも抜いてしまって、草も木も枯れたる野辺にしてしまいかねないものと感じます。</p> <p>(2)複合化・多機能化による施設総量の抑制 総論 豊成、各論の問題部分は反対。(後述)</p> <p>(3)サービス内容の充実と適正な受益者負担</p> <p>図書・情報センター廃止について、開館時間や開館日等の説明はありましたか、その他の施設についても考慮中ですか。各文化会館の利用料について、滝野は0%、社50%、東条100%についても不公平感は免れません。滝野で急に断られて、仕方なく東条ですることになったが100%と言われて泣き泣き</p>
---	---

利用料を支払つていただいた団体があつたと聞きました。上層部の方には聞こえていますか。もつと柔軟な対応ができるなかつたのかと悔やまれます。市外の団体だつたと思ひますが、もう二度と当市の施設は利用されないでしょう。どこがが適正な受益者負担なのか、大いに疑問視します。利用者の声は届いていませんか。(1)と関連しますが、安いところへ流れるのが経済の原則です。したがつて、利用状況、利用率の数字は適正に反映されません。住民を惑わせないです下さい。正しい判断をお願いします。利用料の使用内容・目的も明示して下さい。起案された方たちは、庁舎内で膝をつき合わせるばかりでなく、公務を離れたら、ほとんどは地元住民でいる時間がの方が長いのですから、お互いにもつと施設を利用しましょう。

(4)民間活力の活用 現在も指定管理者制度をされている施設もありますが、結果はどうなつているのでしょうか、指定管理者制度は民間ですか、以前の管理委託制度よりも活力が引き出されるのですか。制度を変更して、任せきりでなく行政も住民も一体になつて、取り組む方策を練り実行して旧態依然として状況を変えるようにしましょう。

(5)転用施設の有効活用 東条公民館を取り壊し、とどろき荘を減築し、さらに他用途(公民館)へ転用とは…。「東条地域まちづくり協議会」の居場所はどうなるのですか。リノベーションは主として最前提として学習塾を想定していますね。

(6)安全・安心の視点による施設整備 (7)公共交通サービスの充実

学校の統廃合のみであつて、市民の生活交通体系はほとんど変化しません。子どもたちの通学手段が大きく変化するだけです。さらに公共交通サービスの充実を推進していただければ申し分ないですが、現状を考慮に入れてからにして下さい。

#### P.3-◎公共施設適正配置計画

1 市庁舎等 7施設  
(1)市庁舎

新庁舎の工事費はいくら  
東条庁舎

設置年度S45、耐用年数50年、満了年H32。

本館及部分は平成26年に取り壊し、仮駐車場として整備。  
新館部分は東条東体育馆とともに、平成30年度に取り壊す。  
本館以外の設置年度、耐用年数、満了年を教えて下さい。

別館は平成28年度から加東消防署東条分署として使用予定。  
跡地に碑でも建てていただけますか。

#### (2)加東ケーブルビジョン

これまで市で整備し、維持管理していたケーブル網、センター設備及び端末機などは廃止撤去で夢の跡。合併の際、アンケートで反対していました。合併後は全市で情報を共有しなければならないと、特例債で東条に設置していただきました。南山は出来ませんでしたが、共聴アンテナ、インターネット等には多大の利便性が享受できました。情報革新的の波は驚く程速く、設備はすぐ陳腐化してしまいます。まして自治体で維持管理が可能な代物でない。加美

町を除いて近隣の市町が踏み切っていないのは何故かを考えて下さい、賛成な選択をして下さいと申し立てました。とは言つても、まさかこんなに速いとは自分自身驚いています。

### (3) 加東市民病院

三章でも質疑がございましたが、これこそ根本的に見直さないと、市の屋台骨を揺るがすことにもなりかねませんので、早急な対応をお願いします。

### 2 学校施設 15施設

#### 【施設区分ごとの取扱いや方向性、適正配置計画期間における取組の概要等】

国立社会保障・人口問題研究所の人口の推計は、当たらずと雖も遠からずですが、南山地区は今後も緩やかに人口増が続くでしょう。しかし、人口流入が飽和状態になれば、千里ニュータウン、緑が丘等のように若者は独立して急速に高齢者が取り残された地区になってしまいます。学校の制度を考えようとするならば、後50年、100年先を見据えて地域住民と充分協議の上の決断しなければなりませんが、説明会で明らかにされましたかが、5人の教育委員の間でも協議されておらず、まして教職員、住民等には知らされていません。申し上げににくいですが専門の知識、経験が豊富とは思えない一部の市職員の方たちだけの独断専行で作成されたのは、致し方なかつたとはいえないと思います。「会社人である前に社会人たれ」とよく言われますが、「時代に沿つた新たな行政マンである前に住民たれ」でしょうか。苦言を呈します。こうなることは自明の理で説明会の質疑でおわかりになったこと存じます。「時代に沿つた新たな夢のある教育を創造していく方針を打ち出した」とありますか、「子どもに夢があるのは当然だ」と指摘される方がありました。充分論議されていないから抽象的な夢という言葉に飛びついてしまうのです。「特に小学校区の再編や統廃合」の行き先のどこに夢があるのでしょうか。校区の再編は滝野地域でのみ出でていますが明確な説明にはなっていませんでした。豊かな自然・歴史・文化に恵まれた鴨川小学校については、部外者ですが廃止は止めで欲しい。山村留学の試みもあつたように聞いています。地元と協議のうえ行政も一体となり努力していただき実現できないかなと思っています。「巧選は拙選に如かず」とはいいますが程々に願います。多くの小中一貫教育実施の自治体では、数年かけて有識者も含めて案を練り、住民説明会を開催しながら計画しているようです。それが世間の常識だと思います。昨年12月10日の新聞報道は衝撃的でした(東条文化会館廃止については後述)。市内外に、加東市は何をやっているのか、どうなつているのかの声が燎原の火の如く広がっています。順序が真逆であつたことをご理解下さい。市長から計画案について「再度熟考、熟慮したい」と見直しを表明していただきました。特例債のタイムリミット(タテの二重線)については理解できますので、小中一貫教育・一貫校の是非についても、ぎりぎりまで協議をつくす場を設けて下さることを切望します。

#### (1) 小中学校

##### 東条中学校

耐用年数が経過しており、土砂災害警戒区域の中にあり、建て替えの必然性は誰もが感じるでしょう。「未来ある子どもたちのより良い教育環境のため」とわざわざ書いて欲しくはありません。小中一貫教育の是非ならまだ議論の余地が残されています。用地については「東条文化会館」と、どうしてこのような発想をされるのか改めてお聞かせ下さい。不自然きわまりないと思います。南に東条川が流れているが、校舎等の高層化が可能と。津波が来るわけではない、大川瀬・鴨川ダムの放流も想定内だと説明されました。「雨が降つる時にグラウンドに人がいるとは考えられない」と全く信じられない回答もいただきました。職員会議中の部活の事故等然り、マーフィの法則に照らせば、「起こる可能性のあることは、いつか実際に起こる。」であつて、今後のスパーカー台風、ゲリラ豪雨がいつ襲つてくるか想定できません。また、子どもたちが陸橋を渡つて校舎ヒグラウンドを行き来している姿を想定されて(案)を策定されたのでしょうか。良しとされる方がおられるなら納得できる理由をお聞かせ下さい。「東条文化会館廃止」ありきが最重要課題であり、最優先に位置づけされたからと認識せざるを得ません。「借地の解消を前提としてすすめます。」できない場合は他の場所に『買収』云々で、「この適正化に係わる事業全体が大幅に遅延することになります。」とはどういうことでしょ。インターネット上ですでに多数の人たちがすでに知っている「コスマックホール取り壊し」等で指摘され

ていますが(詳細はご覧になつてください。)のでかなりの文化会館に対する恣意的な意図が見え隠れしています。  
市長に直接お話をされた時があり、南山のUR所有の小学校用地は狭く斜面があると仰っていましたが、南側は個人の持ち山のように聞いています。第三  
者がとやかく言うことではありませんが、某先生宅の西側は保有林だと思います。長尾小学校も高台に移転しているそうです。社、福田、三草、米田小など  
も高台にあり水害の心配がありません。もう一度お調べ下さい。

P.9 ③東条文化会館

普通常識的には、東条文化会館の頂で、わざわざかきかっこで囲み「やしろ国際学習塾」「加東市の文化発信の拠点」強調しませんね。なんらかの意  
図的、恣意的な企て、企画云々といつていいで、学习塾ってないのを学習塾ってないにを学習するところですか、両館の設立目的、経緯は携わつて来られた方なら何  
度も見聞きされていると存じます。「やしろ国際学習塾」は①の頂に収めておくべきでした。滝野文化会館はかきかっこなします。うつかり見落とします。①同  
様に②に収めておくべきでした。■■■先生のパブリックコメントがインターネット上で公開されていますが、なぜ木管コンクールはコスミックホールなのかが今  
回の計画(案)をきっかけにして、より鮮明に浮き彫りにされました。年間の市民1人当たりの図書購入費は約450円です。コスミックホールの借地料負担額  
は約180円、維持管理費を3,500万円(借地料込み)とすると、1人当たり900円弱でしようか。山よし!技よし!でしたでしようか。文化よし!に加東市は重点  
施策とされているのだから、一番『ホールらしいホール』が廃止となると席数も近隣市町の平均より下になります。近隣市町の平均より下になります。文化指數を低く  
見られることになります。東に三田市の郷の音の大小ホールあり、西に加西市のアピカホールあり、北に西脇のアピカホールあり、南に小野のうるおい交流館  
エクラあり、さらに南に三木の大小あります。別に大きな催し物も可能な公民館も合併が50年早かつたので保有している自治体もあります。説明会で滝野  
文化会館は、(案)の文言にない生涯学習施設に転用すると言われています。加東市も複数館あつても不思議ではないと思いますがいかがでしょうか。コス  
ミックホールは加東市の文化遺産(遺産とは、比喩的に、前代の人々が残した業績や文化財などをいう。)です。まだ30年も経過していないのに、充分なメ  
ンテナンスもされず、抜本改革も打ち出さないと遺跡としても残りません。東条文化会館が取り壊しになれば、想定という言葉をあえて使わせていただきます  
が、早晚、学習塾も利用者が減少するのには必定で、この案を策定された関係者の方も耐えられないでしょう。「一貫校が跡地以外になつた場合でも、廃止  
として取り壊し、借地の解消を図ることを優先します。」とあり、分析すると予盾だらけです。はじめに東条文化会館廃止ありきで、わざわざ学習塾を「加東市  
の文化発信の拠点」としての文言を東条文化会館の頂に挿入してまでですかと誰もが不審に思っています。排除の論理が感じられると、上手の手から水が  
漏れたということでしょうか。審査員の先生に学習塾で木管コンクールが開催可能かと尋ねられて、(コンクール中に上層部に報告なしに連れて行かれたこ  
とも不自然ですが)一部の先生はできないことはございませんが、その後の本当のこととはございませんが…。だれも松の廊下の  
刃傷には及びたくないから。いろいろとインターネット上でコスミックホールが炎上しています。合併後の運営がどう変化したかは、お聞きになつて  
いる旨と存じますので多くは申しませんが、この9年間歯がゆい思いで見守つてきました。木管コンクールのボランティアを第5回から参加しています。もつと大勢  
でコンクールを盛り上げてきました。出場者と触れ合うことができました。木管コンクールの1人の生き証人、語り部ではないかと自負しています。公演につい  
ては、ピラやポスターを近隣市町等に私どもも手伝い、車にステッカーを付けて走り回つたりしていました。チケットのもぎりや「会場の案内等もしていました。  
おもてなし」とはこういうものだつたのでしょうか。財政が前提にある以上、利用増をどう図るかが、緊急の課題になつてきます。職員のかたの努力に敬意を表  
しますが、現行のままでは、どうでしようか。小中一貫校について、教育委員会で全く説明されません。しかも、困ったことに財団理事長が新聞報道で知らされたという事実  
がより深刻な問題と捉えています。管轄される教育委員会で全く説明されません。今更既成事実の修正は不可能ですが、どのように事態の収束をはかろうとされているのでしょうか。両館とも存続  
は取り返しのできない失態と見受けます。今や日本の音楽界にはなくてはならない施設です。市当局、財団は井の中の蛙にならず、外にも目を向けて下さい。ちつ  
ぽけな加東市内の優劣論争は止めて、補完しあって、両館の特性を生かして、「大規模な修繕や設備の更新を計画的に実施しながら(中略)適正かつ

効率的に管理運営することを強く要望します。

今回の騒動(と言って良いのかどうか)は、ある意味で雨降つて地固まるになるに信じています。仕事を離れば、多くは友人、知人あるいは親戚でもあるのですから。

2) 図書館

4館保有の是非について、加東市は同規模の市町村で、長年にわたって貸し出しが全国1位です。地方都市ながら近くに図書館があるからです。24年度の図書・情報センターの貸し出し冊数は69,422冊です。市内の利用率は66%、社中央は74%、滝野50%、東条81%です。当然加東市民が市外行けば逆の数字になります。

図書・情報センターを三草地区の住民が何割利用しているかは問題ではないと思います。説明会での数字に疑問を持つておられる方もおられます。加東市は中央図書館といつても、規模が小さいで独立しては成り行きません。交通弱者等の利便性も考えて下さい。文化会館と同様、合併後まだ9年ですすから、使用できる施設は補完しあって使用すべきです。50年の間に大規模施設を順次建設していくべきです。市庁舎が手始めです。人口減少で維持できないということですか、住民は社会教育施設の統廃合は望んでいません。外に削減できるものはないかと模索しています。学習塾に木管コンクールを移管しようとするから、リハーサル室の案が浮上してきたと思っています。20年の署名運動の結果は、当時[REDACTED]をさせていただいておりましたので知りすぎるのは程知っています。

区長会等に事前に報告を差し願います。

三式公守にさ手前方に取回を試み、ごひん。

- |     |   |
|-----|---|
| 153 | <p>私は、青少年関係団体( )に対し、意見を述べさせてもらいます。</p> <p>私は、主に、青少年活動の内、野外活動施設について、述べさせてもらいます。「生涯学習施設」として、位置付されてある「東条健康の森」です。廃止理由は、「利用者が限定的であり、利用者数も少ない」ことです。「宿泊が出来ない理由は、消防法の関係か、もしくは、耐震の関係だと思われます。利用者が限定されるのは、野外活動をしている団体が、少ないと思いました。計画(案)では、廃止後のキャンプ場機能を、「観光・産業振興施設」である「やしろ鴨川の郷」が管理している「鴨川の郷キャンプ場」に移す計画であると、されています。ここで、私が疑問視するのが、「加東市」として、「青少年の健全育成」に関する考え方です。また、近隣の市町では、体育館・研修施設・キャンプ場等をまとめた施設があります。「鴨川の郷キャンプ場」は、緊急時の避難施設がありませんし、利用に付いても、通常利用ができません。つきましては、教育の一つである「地域における教育の場」としての、施設(主として、野外活動施設)の確保を希望するものです。</p> |
| 154 | <p>加東市に対する怒り</p> <p>①小中一貫校に反対</p> <p>現在中学校は滝野東中学校として一本ですが小学校は滝野南小学校と滝野南小学校の2校です、なぜそのスタイルをやめて統合しなければならないのでしょうか?新一年生や二年生など小さな児童にとって徒歩での通学は今でも大変であろうと思います、でも上級生と一緒に登校しているので頑張っているのです。しかし、統合された後バスでの通学する児童が出てくるでしょうが、バスって時間がくれば発車してしまうのです。例えば漫坊した児童、登校した児童、登校しえなければなりません。最近、力の弱い児童を狙っての犯罪が多いです、加東市としてどうケアするのでしょうか?ちなみに今は上級生がその</p>  |

<p>子の家まで行つてくれています、一齊下校ではその子の家まで送っています、ですから保護者としては安心なのですが、してそのスタイルを崩すのですか!非常に腹がたつというか怒りを感じます。現在の状態に問題があつてそれを改善する為という理由は全く成り立ちません。それに、各小学校共教十年という歴史があるでしよう、その歴史にピリオドを打つのですか。実際滝野南小学校は児童数が東小学校に比べて少ないです、その分教師の目も行き届くでしょうし教育も充実しやすいでしよう。地域住民も学校と児童に理解と協力をしてくれています。それに、統合するとなると新たに校舎建築やグランドを整備しなければなりませんが、それってものすごく無駄な金の使用です。絶対に白紙撤回して下さい。</p> <p>②高齢者・障害者への福祉充実</p> <p>現在加東市はタクシー券年間15,000円分の配布をして頂いていますが、500円券30回分ではあまりにも少ないので、収入が少ないのに病院に通わないといけないそれらの方々の実情をどうケアしていくのでしょうか。加東市が市役所を一本化してしまった故に、市役所に行かなければならぬ要件のある遠方に住む高齢者は非常に困っています。コミバスという手段もあるでしょうが、軽四乗用車の活用という方法をお考え下さい。つまり、要件のある方からお電話していただいて市役所まで無料で送迎するという手段です、カーナビが充実している現在では可能でしよう。市役所職員がするのが大変ならシルバーの方々にお願いしても構わないのではないかですか。</p> <p>①②についての回答をお待ちしております。</p>	<p>私は、パブリックコメントの形式も方法も知りませんので、失礼な点や、誤字・意味の分からぬ箇所もあると思いますが、お許しください。</p> <p>1.はじめに</p> <p>公共施設適正配置計画の話は、以前から安田市長さんも話しておられ聞いていました。新しい体育館を作る話ではなく、壊す話は、話す方も大変だと思います。私も、市内の同じ様な施設は市の身の丈に合った施設見直しは絶対必要だと思い、やりにいくテーマに取り組んでおられる安田市長さんを心から尊敬していました。</p> <p>しかし、家庭に届けられたパンフレットを見てびっくりしました。学校の統合・廃止が入つていたのです。私は、施設の適正化の中の單なる1つとして学校教育が論ぜられていることが全く理解できません。しかも、1月に知つて3月には結論を出すとは信じられません。河高地区でも区長さんは、2月2日の説明会を聞いてから取り組むと公言されています。このパブリックコメントの締め切りは2月9日です。市内の説明会の終わるのが2月5日です。市は市民の意見を本気で聞きたいと思っておられるのか疑いすら持ちます。市の方は、長い間一生懸命考え作り上げたといいう思いはあるでしょうが、市民はほとんど知つていません。全く伝わっていません。何の事が分からぬ人が大部分です。説明会の参加者数にもはつきりと表れています。にもかかわらず、ここで急いでは、実際にやるとなつたその時に、住民に混乱と分裂が生まれるのではないかと恐れます。</p> <p>2.そこで、</p> <p>理解と協力を得るために、最低でも、施設の話と学校の話を分けて論じてほしいのです。「小中一貫校」の話だけでも非常に大きな問題です。体育館がなくなるかどうかの話はまだ分かりやすいです。今は、大部分の人は何の話か理解どころか理解できません。説明されても分からないというのが実態です。私も市の広報を読んでも分かりません。その例として、広報2月号教育部長さんの文を取り上げてみます。</p> <p>①「指導内容は変わりません」</p> <p>びっくりしました。ならなぜ一貫校にする必要があるのですか。私は変わらなければ意味がないと思つています。たしかに、教科書を変えることは無理でしよう。しかし、教育課程等で大きな工夫が絶対必要だと思つています。その片鱗でも示してほしいと、期待さえしていたのに…。一貫と言ひながら9年を3つになぜ分けするのですか。その中身はどこにも話されていません。どんな学校になるのですか。それぞれのプロックで入学式・卒業式をするのですか。部活動、生徒会は最後の2学年だけですか?子どもはどんな生活になるのか想像すらできません。4・3・2制が正しいのですか?5・4制の市もありますよ。中・高一貫</p>
<p>155</p>	<p>私は、パブリックコメントの形式も方法も知りませんので、失礼な点や、誤字・意味の分からぬ箇所もあると思いますが、お許しください。</p> <p>1.はじめに</p> <p>公共施設適正配置計画の話は、以前から安田市長さんも話しておられ聞いていました。新しい体育館を作る話ではなく、壊す話は、話す方も大変だと思います。私も、市内の同じ様な施設は市の身の丈に合った施設見直しは絶対必要だと思い、やりにいくテーマに取り組んでおられる安田市長さんを心から尊敬していました。</p> <p>しかし、家庭に届けられたパンフレットを見てびっくりしました。学校の統合・廃止が入つていたのです。私は、施設の適正化の中の單なる1つとして学校教育が論ぜられていることが全く理解できません。しかも、1月に知つて3月には結論を出すとは信じられません。河高地区でも区長さんは、2月2日の説明会を聞いてから取り組むと公言されています。このパブリックコメントの締め切りは2月9日です。市内の説明会の終わるのが2月5日です。市は市民の意見を本気で聞きたいと思っておられるのか疑いすら持ちます。市の方は、長い間一生懸命考え作り上げたといいう思いはあるでしょうが、市民はほとんど知つていません。全く伝わっていません。何の事が分からぬ人が大部分です。説明会の参加者数にもはつきりと表れています。にもかかわらず、ここで急いでは、実際にやるとなつたその時に、住民に混乱と分裂が生まれるのではないかと恐れます。</p> <p>2.そこで、</p> <p>理解と協力を得るために、最低でも、施設の話と学校の話を分けて論じてほしいのです。「小中一貫校」の話だけでも非常に大きな問題です。体育館がなくなるかどうかの話はまだ分かりやすいです。今は、大部分の人は何の話か理解どころか理解できません。説明されても分からないというのが実態です。私も市の広報を読んでも分かりません。その例として、広報2月号教育部長さんの文を取り上げてみます。</p> <p>①「指導内容は変わりません」</p> <p>びっくりしました。ならなぜ一貫校にする必要があるのですか。私は変わらなければ意味がないと思つています。たしかに、教科書を変えることは無理でしよう。しかし、教育課程等で大きな工夫が絶対必要だと思つています。その片鱗でも示してほしいと、期待さえしていたのに…。一貫と言ひながら9年を3つになぜ分けするのですか。その中身はどこにも話されていません。どんな学校になるのですか。それぞれのプロックで入学式・卒業式をするのですか。部活動、生徒会は最後の2学年だけですか?子どもはどんな生活になるのか想像すらできません。4・3・2制が正しいのですか?5・4制の市もありますよ。中・高一貫</p>

の方へ行っている所もありますよ。もし高校が変わったらどうします?どのように検討され案を出されたのか中身も知らされません。

②部活について「先輩の部活を日常的に見学できます。…」

誰か教育関係の方が目を通されたのでしょうか。失れですが笑ってしまいました。1日だけでも、中学生が部活動している時に小学生を自由に見学させてみてください。中学側は「やめてくれ、危なくて仕方がない。うろうろされてけがをしたらどうする」と言うでしょう。危なくない所で、邪魔にならないように見学させる?

そんな良い子ばかりですか?毎日の中に誰が見学者の指導するのですよ。実態を知った上での論だとはとても思えません。熱心に見に来ている子がいたら親は喜ぶと思うのでしょうか。「毎日見学するのはいいけど、今、しなければいけない自分の事をやりなさいよ」とかえって親は心配するのではないか。しかも、中学と小学では、終業時間が違うのですよ。遠い子はスクールバスで通学するのに。ぜひ自分の描いた学校の子どもの姿を想像してみてください。(部長さんの反論がいただけたら大変うれしいのですが・・・。)

私は、現状の6・3制が最上のものだとは思っていません。改革は必要だと思っています。学制の自論も持っています。小・中の連携はもつともつと必要で、交流も大事だと思います。また、保(幼)・小の連携も必要で、すぐにでも実践していきたいと思つています。(ご協力いただけたらうれしいです)

3.でも、

「小中一貫教育」がどうして「一貫校」でなければならないのかどうしても分かりません。中高なら一貫校も理解できますが、これほど体力も精神面もも違います。小さな子を一か所に集めて怖くないですか。中学生の良い面だけでなく悪い面もたくさん見るのですよ。中学生の乱暴な言葉にも日常的に接するのですよ。

小さい子にはとても理解できません。

むしろ悪影響の怖しささえ感じます。学校は、日本の歴史にとって地域のシンボル的な存在だとずっと思っていました。学校が地域から消えたら確実に地域のまどまりもなくなり、その地域はさびれいくと思います。公共施設が1つなくなるのとは地域に及ぼす負の影響はケタ違いに大きいと思っています。この案で「元気な加東」が実現しますか。しかも、元に戻すこととは不可能でしょう。どれほど協議されての案なのか、教育委員会の議事録を見てみたいです。

4.そこで、次の2点を提案し検討していただく述べて要望します。

[1]学校の問題と市の施設の問題とを分けて考えてください。

市民が考える時間があまりに少なすぎます。しかも、どれをとっても課題が大きすぎます。特に教育の課題は、子どもに直接影響する問題です。「失敗でした」と大人が謝つても、もうその子はいません。しかもその教育効果は2,30年経たなければわからぬといわれています。一度無くなつた学校は二度と作ることはできないでしょう。それでも、今、いそいで決断しなければならない理由は何なのでしょうか。すべて反対だとは言つていません。私達に考える時間がほしいのです。地域でも話し合う時間がほしいのです。学校の跡地利用も書いてありますが、跡地利用がそんなに急ぐのですか。学校問題が遅れたら、どれだけ他の計画に影響を及ぼすのでしょうか。

教育問題は多くの人の理解と協力がなければ絶対に失敗します。だから、教育問題に限つての考える時間的余裕をぜひ下さい。

[2]公開討論会の場を設定してください

市民のほとんどは今の学校の抱えている課題を知りません。「中1ギャップ」といつても分かっている人はごくわずかです。不登校はその子・家庭の問題だと思っている人も私の周りには一杯います。質問や反論しようにも分からぬのが実態で、できないのです。この前実施されたようなフォーラムではそれぞれの立場の話を聞くだけで理解は深まっています。参加者は賛成・反対の討論を聞き、分からぬ用語や理論を聞いていく。そして、自分で判断していく。こんな時間・場を設定してほしいのです。この方が理解も深まりやすいと確信しています。ひとりでも多くの人の理解・納得がほしいのです。

以上長々と述べましたが、「未来ある子どもたちのために」の思いは全く同じです。相互理解が深まれば解決すると信じています。そうでなければ成功しない

156	<p>課題です。失礼な部分も多々あると思いますが、私の言わんとするところを酌んでいただき、お許し願います。</p> <p>東条地区との説明会が終わり、その後、変わったところもあるようですが、それらを考慮して、私意見を述べさせていただきます。</p> <p>東条地区と滝野地区の参加者や熱意の違いを、市ではどのようにどちらられているのでしょうか？地域性でしょうか？滝野地区の人間に聞くと、事業は東条が一番最初やから熱が入ったのやろ。・滝野は10年以上先の話や。・まず東条を見てたらよい。・動員をかけたから多かつたんやろ。・コスミックが絡んでいるので大変やな。等々…。</p> <p>藤本教育長が教師の時に、「そんなん、東条の子のことやん。僕ら関係ない」と子どもが言つたら、きっと叱られたと思います。大人相手に怒る事も出来ず、恥ずかしい思いをしています。</p> <p>しかし、だから恐れます。滝野地区で小学校が1つになるか、中学校と一緒にになって、地域の小学校がなくなるとなつた時、その時に、滝野地区の住民が今以上に怒りだし、大問題にならないかと。</p> <p>河原での話では、この3月に結論を出すと言われましたが、東条ではもう少し延ばして話し合いも続けると言われたようです。私は、良かったと思っていました。うれしかったです。</p> <p>隣の、加西市では、小学校の統廃合が決まっていたが、今の小学校を建て替えるように変わって実行されています。西脇小学校の木造校舎も廃止から存続に変わったようです。良い悪いではなく、気になるのは（私の得た情報では）いざれも市長が変わったからだそうです。これが事実なら、本当に怖いことだと私は思っています。なぜなら、最も大切な子どもの教育、未来に責任を持たなければいけない、100年先を見据えて考えなければいけない教育の問題が、トップが変わればとも簡単に中身も変わってしまう事に対してです。その点、これからも話し合いを続けると言われた市長さんの判断・決断を大変うれしく思つたのです。話し合いですから考えが変わることは何らおかしいことでも、変な事でもありません。むしろ、誇りにすべきことです。日本人は自分の意見を出し、討論するのが苦手なように思います。話し合いで解決できたら、これこそ民主主義です。これからも、1人でも多くの人が納得して事に当たる加東市であつてほしいと願っています。</p>
	<p>学校以外の施設について</p> <p>同じような施設や古い施設を廃止するのは賛成ですが、話を聞いていて疑問も出てきました。「適正配置」とありますが、将来にわたつてのビジョンが見えず、「適正」の根本理念が分からなくなってきたのです。古いから壊すでは、加東市民病院がまことに廃止になってしまいます。耐用終了年がH27年で、借地なのでですから。たとえば、会館（ホール）は、500人程度が適切だと判断されているのでしょうか。1,000人規模のホールは必要ないのでしょうか。催し物で収益を上げようすれば、最低でも1,000人以上のホールでないと満足のいく事業はできないといつた事を聞いたことがあります。吉川町（当時）の体育館は、椅子が出せて、ホールなり、そこで大きな催しがあつたとこを思い出します。加東市は、大きなものはないらしい。身近に利用できる方が良い。という方針の下の適正化なのでしょうか。ならば、「加東市には、小さなながら違った特色を持つホールが3つあります。」というのも大きな特色になると思います。それとも、将来は1つの大きなホールを造ると言うなら、その夢を語ってほしいと思います。今あるホールをつぶすことにも理解ある人が出てくると思います。</p> <p>加東市の20年・30年後の全体像はどうなっているのでしょうか。小野市や三田市でも、こんな変な場所に市の変な施設ができると思つたら、図書館や警察署ができたり、立派な市民会館ができたりしています。今思えば、1つ公共施設を作つた時に全体像ができるのではないでしょか。加東市はどんな全体像があるのでしょうか。「そのために今からこのようにしたい。しばらく我慢してください」なら納得してくれる人も多く、それが市として話していく筋道だと思うのですが…。</p>

適正配置計画の「はじめに」を、もう一度市民の立場で読んでください。「平成24年に白書を作りました。」「これを活用して計画を作りました」それで、「この施設を廃止します。」位置づけは「白書」を基本とした。です。これを、今流の言い方をすれば“上から目線でものを言う”と受け取られても仕方がないと思います。

さらに、「適正化計画のおわり」では、「適正化がマイナスイメージとらわれないために小中一貫教育の推進を打ち出した。」とはっきりと書かれています。これが本音だと思います。私は、これらの文章に強く、強く抗議します。最初から教育が大切ではなくたのであります。教育・子どもを取り材料にしないでください。私は、これらは「補助金があるうちに」と考えられるのは、当然です。小中一貫は後から付け足した理論でしか思えません。行政を進めていくためには、「補助金がもらえるなら。補助金があるうちに」と考えられるのは、当然のことです。しかし、補助金があるから、と施設を作つていった結果が、今の加東市の姿ではないでしょうか。社町が長らく公民館の看板を掛けられなかつたのも補助金のためでしょう。加東市の財政事情では、10年後このようになつてください。子どものことを一番真剣に考えているのは親です。「小人数では満足な教育ができない」というその場合でも、学校教育だけはもつと慎重になつてください。学校間をネット結んで多くで討論をしたり、バスで交流校へ行って体育をしたり等、いろんな実践例も出てきています。行政として、今はまだやれることがあると思います。たとえば、附属小の問題も実際は加東市に大きな影響を与えていました。附属を無くせと言っているのではありません。誰も触れようとはしない事に不満を感じます。「市の管轄外だから」との横範回答がすぐに返ってくるでしょう。本当にそれに返つてくるでしょう。本当にそれで良いのでしょうか。少数でも、悩んでいる人に手を差し伸べ・寄り添う。それが行政のあるべき姿だと私は信じています。

「未来のお金の話をきたいのです。」「こんな話をするために：」こんなことをもしていいのです。

加東市の東の玄関口東条はインターパーク“ひょうごどうじょう”があり、大阪へは車で45分ほどの場所に位置し、今では南山に株式会社ホンダ“兵庫等の数々の企業が来ている現状があります。そしてこの東条に昔から根付いている文化は、コスミックホールをはじめ、すばらしいものが数々あります。私は自分自身の活動として██████████で色々の種類の菊作り、██████████にも所属させていただき、又子どもたちに絵本の読み聞かせをする██████████にいました。また、2～3年ほど前にリフォームされた東条公民館の調理室では一人暮らしの方のお弁当作りをさせていただいたりといふようなものです。このすべてがコスミックホール、コスミックホールホワイエまたは東条公民館の会議室、大広間、そして調理室、コイコイランド等考えてみればすべての場所で活動させていただいた事になります。どうか、これらの場所を私達から取り上げないでください。

最初に申し上げたように東条は今からまだ発展していく可能性が大です。建物(コスミックホール、東条公民館等)を修理していただき少しだけでも長く使えるように努力していただきますようにお願ひ致します。  
会日は最後のパブリックメントを書ける日というふうで思ってます。どうかよろしくお願い致します。

[圖書館]

・加東市の中心に作り直したらどうか（嬉野生涯学習）・旧市役所庁舎に移設したらよかつた。・滝野図書館が一番良い。・国際塾・東条は書籍が少ない・中央図書館は狭い・小中高生でテーブル独占・駐車場のレイアウトがよくない、総じて、3町の自治体の集合ですから図書館が公園と図書館、会議場と図書館、児童館・役所・公民館・公園での行動があると図書館に近づけないので。中央図書館は2Fに空間があると思うのに、テーブルを小中校で独占、学習しています。他市と比して中で、滝野図書館が良いと思います。他は無くても良い。

3つの自治体が合併したからしようがないのです。それぞれの地区の規模で精いっぱいの努力で今の位置にあるわけです。ある意味他市と比してきめ細かな施設で財産だと思います。

この中で、滝野文化会館、国際塾ホール、東条のコスミックホール、ミニセン、図書館、どろき荘、公民館、東条中学校を考える時、拙速であつてはならないと思います。小学生、美濃川の谷、三木の口吉川村に生まれました。吉川の谷と東条の谷は平安時代からすると少し違うと思うが、地理的に共通点が多いと思います。口吉川は60年も前に、ときのリーダーを中心とする村民は三木町と合併する事を選択しました。小学生でした東条では、東播磨の米の生産拡大の為の農政で清水寺への巡礼街道の里でもあつたかと思うです。吉川の谷と東条の谷は三木町と合併する事を選択しました。小学生でした東条では、東播磨の米の生産拡大の為の農政で清水寺への巡礼街道の里でもあつたかと思うです。吉川の谷と東条の谷は三木町と合併する事を選択しました。ふるさとを消す無くすることですから合議に向けて並々ならぬエネルギーと時間を費やされたと思うです。今日東条湖、そしてふるさとを消されたとき、土居住民の想いと農政はどうでしょう。口吉川は今は今■の会社に就職することでも最低だだと思います。小学生の家は明治の教員が土地を詐欺で購入して小生の仕事がないので小野の学校を出て■の会社に就職することになり、40年刈谷市で生活して定年になります。ほ場整備国策農政にそつた部落リーダーに協力する形に押印したばかりに、1反に満たない田畠を調べてみますと、昔東の国、駿河の国、大井川東部の■から、加古川の東吉川の谷に入植した家系だと思われるのです。東条も似たり寄りだと思われます。小野好古(細川町)三草から一の谷へ下った義経の弁慶の馬が足止めを食らったといいう伝説の篠原神社を誘致した宮本の屋号を有し、西脇神戸線の門前集落をつくって近代では銀行、西脇の織維会社にいました。今天皇の美智子妃殿下の繭、絹の手伝いをしては■は末裔。その兄弟は■に住んでいます(住んでいました)そんなことを言わんとすることは、10年20年のスパンでまちづくりをすべきではないここです。最低100年のスパンを見るべきではないですか。農政(これまでの)について少し語りましたが、中曾根氏が言った不沈空母。食料自給率40%等と、東条湖土居住民の想いは生きていません。今、TPP、加東市の職員さん本質を理解されていますでしょうか。東条中学用地に対して、市当局のうすべらなほ場整備。山田錦、県の規制等らがどうのこうの枝葉の論議です。

区民の子どもたちを賢く育てくれる学校教育、教育委員会なら、東条区民(土居村の精神)は応えてくれるでしょう。ところで、日本の学生を見る時未熟と言わざるを得ないとと思うです。明治の初め、東大を頂とするか学制が敷かれました。富国強兵、天皇の臣民を育てる為だったのではないか。ハーバード等の成り立ちから違うのです。敗戦後、教育基本法により民主主義教育が実践されましたが、朝鮮戦争を機に教科書国家検定、勤務評定、教育委員会設置等と当たり前のこども達の学問の魅力へのいざないを忘れて、子どもたちを品物のように政権の意向にそそう、画一的な人形をコンベヤーのように送り出す施設に成り下がっています。今回の東条中学校の署名活動は地区自治の文化を新鮮な感想を覚えて素晴らしいと思いました。東条中学校の教員集団の素晴らしいと同時にその対応の校長、教育委員会の性格からしてお粗末にならざるを得ない。日本の教育、お上にそう人材育成諸等は均質規格に外れるからです。

小生中学1年生の折、弁論大会で"原爆"について弁論しました。入常するも、論議になり、番外にされてしまった経験(トラウマ)があります。当時、ビキニマグロ造船久保山事件があつた頃、マッカーシズムの後、アイゼンジャー、ゼネラルエレクトリックの原子力の平和利用につながる時季です。NHKラジオ深夜便での情報より同年代のタモリ(タレント)福岡の中学校で放射能について弁論したそうです。教師の講師師はもつと身近なテーマを選ぶべきだと言つたそうです。そしてタモリは3年の時「挨拶」をテーマにして入常したそなうな生き方の器用な人間はそれが出来ます。しかし小生はおちこぼれです。

今まで述べてきたように、永く培ってきた制度や施設を大きく変える時は、そのリーダーは100年スパンを考えて責任を持たなければなりません。

【文化について】  
提案者、企画室、教育委員会、市長、加東市の将来の文化と現状をどう認識され文化に携わるシステムが機能的に動いているか、どう認識されているか。文化は人間生活のビタミンでありバランスが豊かであるほうが住みやすくなると希望します。合併して文化財団(長は誰、どんな方が分かりま

せんが、教育委員会も名を連ねています)文化の多様な発展、言いかえれば市民の生活のビタミンをつくり発展させるような機能になつていますか。又、北県民局、高齢者大...そのクラブ活動が加東市の文化にどう貢献し、それを則すように働きかけていますか。文化連盟の構成団体人員は合併後2/3から半減する事態です。近隣の市には多様な舞台芸術を持っています。また、伝統芸能を子どもたちに体験させるのを新聞紙上に見ます。小学生、小学生的頃は学芸会がありました。舞台芸術(保育園)にその伝統が残っていますが、開館、ホールはその延長線上にあります。今、幼児教育(保育園)もあつて兵教大を抱える共通点の多い内陸の市と要する地域です。企画室、教育委員会の見識が問われているのです。小生の居た、愛知刈谷市、知立市は愛知教育大学もあつて兵教大を抱えるが間違います。NHKから有能なプロデューサーを招き入れスタッフに地元の演劇集団の主宰者を入れ、兵庫豊岡の文化活動同様ステキだと思われる仕事をされています。一度視察に行かれるべきです。舞台芸術の演劇サークルが無い加東、三木市多可町にあります。多可町のベルディーホールの取り組みはよく新聞紙上に見ることができます。

能舞台について、西脇に組立式で持っています。篠山・加古川・神戸戸に持っています。篠山の春日は音響に壺を埋め込み、文化施設です。多くの神社には必ずどきの能舞台があります。稻作、弥生、人、神道の神事に欠かせない舞台として今日に受け継がれています。加東市が舞台芸術を将来とも必要ないというかどうかの問題です。学習塾は綴帳幕がありません。会議場です。舞台芸術の会館にするにはお金をかけなければなりません。駐車場、三草藩の史跡です。交通アクセスもなくありません。文化財団のセンター事務所はいいけれど加東市の文化についてみていません。オーケストラはいいとして、県の芸術監督佐渡裕さんクラシック、洋楽で芸術監督に見識が一面的でクラシックに洋楽に限定されるべきで、その下部として文化財団はこまります。

#### 【コスミックホール】

モータリーゼイションの中、中国道が出来て交通アクセス抜群。道の駅、東播磨玄関口、日本木管コンクール伝統を生かして東条地区の小さいコミュニティーにこだわることを合せ、東条の〇〇のは、コミセン、どろき荘の温泉、宿泊等、北の豊岡、城崎の県の会議場を文化の(舞台芸術)殿堂に作りかえ、日本劇作家大全を誇致したことを行うべきです。

#### 【三草藩の屋敷 ■さん】

愛知県日進町とも縁があり、日進町に■という集落があつて関係ないが親しみを感じています。

■稲美の高齢者大学は活動してるとか、能「高砂」の伝統を受けつごうというところでしょう。高砂の”月の砂漠”コスマックホールの綴帳、日本型、平山さんのシルクロード、イスラム。文化人は先見性がありますねえ。

#### 【東条中学(一貫校)】

将来の子ども達を育てくれるなら、用地提供もいどわない方が必ず居る事を信じます。狭い、JAライス、木場事業耕地、山田錦、国、県の規制。お上の顔をうかがう教育委員会の体質そのもの。芦屋に次いで住みよい加東市。それをもつと〇〇〇にするには何が必要か。福島県のある町、合併したが不具合が起きて合併を解消する選択肢も考えて、向こう100年の未来を考えなされることを望みます。

#### 【東条中の用地】

ドーバー海峡、津軽海峡、近くは神戸トンネル。土木技術はリニア、日本総断トンネルをつくろうとしている。用地がなければLED、〇エネ、〇〇も開発され、戦争をしたい安倍さんの原爆に備えて東条市民を守るためにも全国初、さんちか(県道と同じ)イメージでカブセル東条中グラウンドを背負つて掘り込み、教〇をつくり、図書館公民館、教室、体育館の教え方もあります。あれダメ、これダメ、政活費をたっぷりもつっている

市長、小生、

は平安の時代に吉川に入植して神社を説いてきました。神社の能舞台をコストがかかるとかで、今も〇〇です。

	<p>山国に入植されてまた半世紀余り。100年先の加東を考えて部下の見識は加東市の眞の文化人有識者の知恵を組織しきれていません。 くどいようですが、民主主義は古代ギリシャのボリス。まちづくりから始まっている。音楽家三枝(作曲家)が山陰のある集落の話(寄り合ひの)毎晩(幾夜も幾夜)も會議のために寄り合ひをしたといふ。これが民主主義。今回の提案で各種フォーラム、小学校区の集会は評価するが(最も民主主義直接だから)しかしパブリックメント2/9締切等、民主主義のポーズをとつたということです。</p>
	<p>今日、日本は、中曾根、不沈空母、日本護衛艦船団、日本株式会社、一票の格差の是正、4割の得票で2/3余の議席を独占するなど、民主主義-直接民主主義により利便性を考えた代義制が株式会社化、トップダウン(運国王主義化)しています。株式会社は民主主義は合いません。ポーズはとってもトップの決断に決定。スピードです。これはもと来た道〇〇〇ないのです。そんな新●●主義にのつかれることを危惧します。</p>
159	<p>説明会に出席しました。質疑応答に関しての意見を述べます。東条文化会館は存続すべきです。加東市にとって今住む人もこれから住み来られる人も観光、演奏者、利用者側にとつても必要な施設である。</p> <p>先般、市觀光協会が「一般社団法人」となったことで独立法人化、今後の運営に市の助成金、補助金がつぎ込まれることが難しい面もある中、協働、共助して集客施設を利用し収益をあげるべきです。</p> <p>又、どろき荘に開しても、木管コンクールの時の宿泊施設でもあり、毎年開催されている「ABCゴルフ」の時にも、関係者等が利用されている、又、南山工業団地の企業関係、住宅の皆さん等、民間ホテルがあるとはいえ、市當の「公共、宿泊、温泉」としての知名度も誇りであります。よつてどろき荘の宿泊部門の廃止には反対、一考を要求するものです。なぜなら今、国も県も又、近隣市も観光事業に一所懸命取り組まれ、全国からの入り込みに誘致、増客を計画すべきと提案します。今ある文化会館、どろき荘を有効利用すべきと考えます。</p> <p>東条公民館はコスミックホールの事務所へ移転し、今も東条郵便局に委託している事務もコスミックホールの事務所にまとめて住民票等を発行すべきだと考えます。そうする事で委託事務費が削減される。</p>
160	<p>(案)を読んで非常におそろしくなった。いつたい合併は何だったのか。又、財政状況が厳しい中で新庁舎が本当に必要だったのか。旧東条町が借地がかつためもあるが、東条文化会館、東条図書館、東条公民館、コミニティセンター東条会館、東条第1体育館、東条第2体育館、東条東体育館他、取り壊しばかりである。地域に根差した文化。スポーツ。交流。学習などいろいろあるが、高齢者は遠くへは参加しない状況などもあるなか、旧東条町住民にはより暮らしににくい状況となると十分考えられる。國の方針だと言つても「小・中一貫校」「幼保連携型認定こども園」についても本当にそれが教育面で優れたやリかたなのか。まだ不明である。</p> <p>(案)を示されたが、各項目についてそこに住む市民関係者、行政が何度も話し合う中で、地域の住民が納得して(案)を受け入れる、あるいは受け入れない。より違つたことを考える。などの方向でやつていくべきと思う。このままでは行政不信の何ものでもない。市民も加わつた委員会を設けて長い期間をかけて考えるべき。東条東小学校・東条西小学校も外から山村留学などで受け入れるなど、何度かの交流授業を設ける方法もある。限界集落にならぬいため2015.1.5のNHKクローズアップ現代「地域の活性化」海士町。岩手県紫波町。の取り組みなど多く学ぶことができます。</p>
161	別添のとおり
162	東条コスミックホールを取り壊さないで下さい。
163	公共交通設置配置計画(案)には反対です 再度計画案の一つ、ひとつを検討しながら市民が納得できる案をみんなの前に提出してください。市民も納得できることなら我慢するところは我慢し、協力するところはみんなで協力すると思います。それが、加東市になつたといふことではないでしょうか。説明ではコストダウンのみでお金がかかつても又なく

	<p>てもやるべきことは何かの検討は全くされていないと思える。また、決定されたことについて実行された当時の責任者は、そのことが万一失敗であつても、退職されると何の責任も無いかのようになるが、加東市の未来を考えた上での(案)の提出だったのですか。</p>
	<p>加東市の行く末を考えて色々な検討をされたのだろうと思うが、是だけ東条の施設を廃止、縮小されると東条の人達はどうすればいいのかもふくめて検討されたのか。地域力の活用場所が無いと、元気も出ないし、市民としての協力もできない。</p>
164	認定子ども園に関しては説明を省かれたが、これは意図的ですか。何の説明了解もなしに進められるのですか。
164	日本木管コンクールを今後もコスミックホールで続けて欲しい。
165	<p>小中一貫校教育について</p> <p>加東市は、「公共施設の適正化」の取り組みの中で、全市的に学校の統廃合と小中一貫校教育の実施の方針を打ち出しました。「公共施設の適正化」はある程度効率的な利用を中心と考えなければなりませんが、そのことと、学校の統廃合を短絡的に結びつけることは、間違いであると言わざるを得ません。なぜならば、学校は児童・生徒の「学びの場」だけではなく、地域における「ミニティ」の核としての役割を持ち、何よりも地域住民の「歴史」や「思い出」を有しているからです。したがって、この度の加東市の「小学校の統廃合と小中一貫校の創設計画」は、多くの地域住民の思いを無視する乱暴なやり方だと思われます。</p> <p>文科省の「統廃合の手続き」にもあるように、統廃合については、「十分住民の意見を聞く」姿勢が大切であり、また、一貫校教育については、「手引き」の中では統廃合の方法の中での一例として紹介しているに過ぎません。確かに、一貫校教育は全国的には実施しているところはありますが、いろいろと問題を抱えております。まして、加東市のように全市的に全市的に実施しようとするところは、きわめてまれです。とくに、滝野地区は児童の数は増えており、小学校を統廃合する理由は全くありません。</p> <p>加東市的小中一貫校教育の実施計画は、住民の意見を踏まえたものとは言えず、問題点も多く、撤回を求めます。</p> <p>以下、小中一貫校教育の問題点を列挙します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) そもそも、発達段階の違う小学生(児童期)と中学生(青年期)を結びつけて一括して教育を行うなどは、教育学的のも確立されておらず、小1～中3までの児童・生徒を集めて、全体が理解できるような話や指導が出来るはずがありません。</li> <li>(2) したがって、ひとつ行事(例えば運動会)をやるにしても、中学生は単に動かされるだけになり、小学生は仕切ることになります。また、各自の出場機会が少なくなり、児童・生徒にとっては、運動会が中途半端なものになる恐れがあります。</li> <li>(3) グランド使用については、昼休みや放課後に小学生と中学生が同時に使うのは、危険が伴います。とくに放課後の中学生の部活動時に低学年の児童がそこにいることは、きわめて危険です。教師は、仕事の上で、いつもグランドにいるとは限りません。</li> <li>(4) 通学範囲が広くなると、スクールバスで対応するとされていますが、そうなると、教育活動はスクールバスの時間帯に制約され、指導も中途半端なものになるのではないか。</li> <li>(5) 加東市の教育フォーラムで配布された兵庫教育大の学長のレジュメや、同学長の「広報かとう2月号」の小中一貫校教育に関する寄稿文の内容は一貫校の利点について、いろいろと述べられていますが、根拠が乏しいと言うのが実感です。</li> </ol> <p>朝日新聞の2月5日号の「小中一貫校 子どもの現状は?」の特集記事の中で、普通校・小中一貫校のそれぞれの子どもたち(全体で約8,700人)か</p>

	<p>らのアンケートにもとづく和光大の研究グループによる、9年目を通過したカリキュラムで小中一貫校の子どもは、「普通校の子より満足感や自信は低く、イライラや疲れやすい」という研究結果が発表されています。そして、記事は「一貫校は問題が多いことを指摘しています。</p> <p>(6) 子どもの数が減ったということだけで、小学校を統廃合すれば、その学校が地域住民の協力の下に行ってきた地域の文化財や史跡を取り上げた郷土学習(例えば鴨川小の住吉神社や清水寺などの学習)の火を消すことになります。鴨川地区では、今でも人口流出を食い止めるために、住民の努力が続いていることを評価すべきはないでしょうか。</p> <p>(7) 小中一貫校教育を推進する理由の一つとして、「中一ギャップ」を取り上げておられますが、これはそんなに大きさに言う問題ではなく、人生の各段階において、新しいステージに入るのは、不安やとまどい、混乱はある程度起きるものであり、それは自ら乗り越えなければならないと思います。「18歳選挙権」の実施が叫ばれている今、子ども達はもつと精神的にたくましく育たなければならぬと思います。</p> <p>(8) 小中一貫校創設計画は書き改めてズサンなところがあり、およそ教育の実態を知らない人が作ったとしか思えないところがあります。例えば、東条地区のコスミックホールをつぶして、その跡地に小中一貫校を作り、グランドは地滑りの危険性がある現東条中のグランドに、一貫校から道の上に橋を架けて歩いて使用するというのですが、小学生は校舎のそばにグランドがなければ使えません。また、現東条中は地滑りの危険性があると言つておきながら、グランドはそのまま使用することは到底理解不能です。</p> <p>(9) 教職員は今でも多忙を極めおり、その上に一貫校教育となれば、大幅な定員増や部活動指導の大胆な軽減などが行われない限り、打ち合わせなどに忙殺され、その忙しさは限界を超えることも予想されます。現に一部において小中一貫校教育を実施している姫路市においては、モデル校で2年間で2人の現職死(教頭と一般教員)が出ています。</p>
166	<p>小中一貫教育及び、学校施設配置について</p> <p>小中一貫校については、加東市内でも人口の分布や、各学校、地域の問題意識、課題に違いが大きい為、効果が期待される場所と、そうでない場所の差が大きいように思う。教育行政の仕組みは分からぬが、市内全域で小中一貫校を同時に推進する今回の計画の進め方は拙速であるようを感じる。</p> <p>又、生徒の学力、教員の教える立場からどのようなようなメリットが考えられるのか、もう少し地域別に細かく意見を伺いたいし、意見の交換をすべきだと考えます。12月発表の3月決定では考える間もないというのが(特に東条地域)率直な感想です。</p> <p>総じて小中一貫教育に対する私見を述べると、中学校へ上がるという眼に見えないメリットは過小評価されるべきではないと思います。教育環境の効率化、財政的なメリットも十分検討されるべきですが、唯でさえ生徒数が減ってきて、環境の変化が少なくなっている現状だからこそ、残されるべきハードルだと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社地域の小中一貫計画は、生徒の地域的な分布が分からぬのが、相当遠距離からの通学が小学校1年から求められる。低学年時に必要と思う学校終了後の遊びの時間や、勉強の時間の確保が出来るのか課題は多いように感じる。又、地域から学校が完全に離れてしまう。</li> <li>■ 滝野地域は、生徒数も現状十分にあり小中一貫校による生徒数の確保と言う面からはメリットは少ないと感じる。授業の効率化、中一ギャップ問題などは教育的な見地からメリットはあるのだろうと思う。</li> <li>■ 東条地域は、西小学校区の生徒数現象が著しく早晚小学校の統合が検討される必要がある。</li> <li>■ 小学校の統合が行われた場合は、事実上小中一貫状態になり、特に人間関係の固定化、環境の固定化が懸念される。むしろ、現東条中学校のみを別の場所に移転し、小学校、中学校の2段階制を維持し、子供達の成長には有益と考えます。</li> </ul>

す。

東条中学校の建替えは、市内の施設の中でも特に早急に検討する必要があることは認識していますが、小中一貫校舎を前提に検討される方が4ヘクタールと言う広大な土地が必要になります。一方、中学校のみの建替えであれば2ヘクタールと半減するため、より柔軟に土地の選定ができると考えます。又、現案のコスミックホール跡地に校舎を建てる案は、子供達の安全確保の困難さから、まずは別の土地が検討されるべきと考えます。

以上、の様な観点から今回の小中一貫校建設、教育改革案には否定的な立場ですが、市の財政的な観点からは詳しく数字も理解できない為議論の余地はあるように思います。

加東市として、これだけの学校数、教育予算を負担していく事は出来ないと言うことであれば、もう少し細かな議論を行い私達も真摯に受け止めて、学校の統合、類似施設の活用も含めて解決策を探る必要があると考えます。

#### 体育館施設について

最も特に東条地域の問題ですが、体育館施設の統合は必要であると考えます。しかし、市の案では現東西小学校の利用停止が前提となっている為、小中一貫校が実現しなかつた場合の議論の落としどころが見えません。そもそも、小学校の体育館では余にも市民が利用するには小さすぎ維持費を考えると非効率です。逆に考えると、市としての体育館はスカイピアだけにするのも一案です。

#### 文化施設について

小中一貫校計画に対する見地から、特に東条地域の東条コスマックホール存続の問題は別に扱われるべきと考えます。借地の解消等課題はありますか、過去の建設費用の償却、耐用年数を考えると、修繕をしながら活用し、耐用年数に至つてから取り壊しする方が、加東市民の文化活動の向上に資すると言えます。

#### どろき荘について

今回の案の中ではどろき荘2階部分に公民館機能を移転し、宿泊機能等は停止とあります。今までの運営方法を鑑みると、収支の向上は考えにくく、市としても先行投資をする気概もない様に感じます。一方でまかほへの投資は既になされました。どろき荘部分の廃業が決まった後の人口のない公民館が目に浮かぶようで、萎えてしまします。営業時間の見直しや、宿泊機能を活かして大学、高校等の合宿活動への利用を促す、湯治客を呼び込む等、未だ営業努力の余地は残っているように考えます。案の再検討を希望致します。

#### 幼稚園、保育園の統合について

専門的には分かりませんが、率直に考えて幼稚園の定員割れが続いているという事は、幼稚園機能より、保育園機能の方が市民に求められており、単純に保育園機能だけを残し、一部統廃合という方向にはならないのでしょうか。新たな建設も必要なく、無駄な予算を使う事もない様に思います。遠くの大きな保育園幼稚園より、小さくても近くの園の方が便利なように思います。

	<p>最後に、今回の計画案は施設の廃止、継続の可否を主に検討されたことと思いますが、市内の公園施設の充実、統廃合についても見当ただきましたかつたです。子供のある世帯にとって実は大きな公民館、文化ホール等より、ちょっと歩いて又は車で直ぐいける範囲に安心して遊べる公園が充実する事は、身近に生活の質の向上を実感できる施設であると思います。是非今後の検討課題として含めて頂きたいと思います。</p>
167	<p>小元団地の残存価格分は誰が支払うのでしょうか？</p>
168	<p>東条文化会館は、平成2年、日本でも有数の音響を誇るホールとして整備され、その愛称をコスマックホールとして市民の方々に親しまれている会館であると、加東文化振興財団のWebサイトにありました。</p> <p>竣工時期からみても、新耐震設計基準が適用されており、震度6程度の地震でも倒壊せらず圧死者を出さないよう作られているわけです。</p> <p>そのようなホールを税金を使って建てて、更には税金を使つて壊すのですから、納得性がある合理的な理由が必要です。</p> <p>加東市はハードとしてのホール建設に留まらず、ソフトとしての演奏家育成にも努力されて来られた事は、真に素晴らしい。それが証拠に四半世紀にもわたつて日本木管シンクホールがここで開催されてきましたわけです。多くの自治体がホールという箱だけを作り、演奏家育成に一顧だにしなかつたことは大違いです。</p> <p>苦しい合所事情があるのでしょうが、種まきをしてようやく芽が出かかってきたこの時期だけに、実に惜しい。建物の破壊だけでなく、育んできた文化までも破壊してしまうからです。</p> <p>壊すのは簡単ですが、失うものは大きいと思います。ここは、今までお世話になってきた演奏家、市民、行政が一体となって知恵を出し合い、今一度、ホール存続のための、解決策を徹底的に検討してみてはいかがでしょう。私の見る限り、徹底的な検討がなされないとは思えません。</p> <p>音楽ホールが無くなり、建つのはセレモニーホールばかり。これではこの国の未来はありません。我々音楽関係者も当事者意識を持つて解決策を模索しますので、是非、再検討頂ければ幸甚です。</p>
169	<p>第2章 2学校施設 (1)小中学校 について</p> <p>「社地域の小中学校について…最終的に小中一貫教育を目指した併設校を開設」</p> <p>児童・生徒数の減少にともない、統廃合はやむを得ない選択なのは理解できます。中一ギヤップやチームスポーツが実施できない部活動、また幅広い人間関係を育むためにも適正数を確保した学校を運営するが必然的な流れだということとも分かります。</p> <p>しかし、現在、市内の学校行事に、地域の皆さんが参加しているものがあり、子ども・先生・保護者だけではなく、地域の皆さんのパックアップがあるからこそ、運動会や茶摘みなどのイベントが充実したものになつていいのも確かなことです。そういうものは学校が大規模になれば排除されるのが常かと思います。直接学校には関係のない人たちにも見守られての学校生活の方が、子どもたちに至っても高齢者社会にもメリットがあると考えております。</p> <p>また、廃校になつた地域から通学する際は、スクールバスを運行する計画とありますが、登下校時は1便だと思いますが、下校の際は部活に参加する生徒としない生徒用に複数回バスを配車されるのでしょうか？公民館等での集合解散を予定されている場合、見守り隊等の手配と配置はどのようにお考えなのでしょうか？</p> <p>廃校になつた後は、コミュニティ施設として活用される予定ですが、その前に大規模改修を予定されているものもあります。投資額に見合った効果がその後に見込めるからでしょうか、その施設をどれくらいの頻度で活用されるのかというシミュレーションはどういった感じですか？その地域に魅力があれば別ですが、学校が近くにない地域に住みたいといふ若い世代の人ほどいるのでしょうか？地域の年齢構成を把握した上で、公民館ではないコミセン施設の必要性はどうお考えなのでしょうか？</p>

	<p>市としては、将来的に、公共施設をできるだけ一か所にまとめ、コンパクトシティのような街づくりを目指す予定なのでしょうか？市の中心部から離れている地域の存続はどうにお考えですか？</p> <p>小規模校ならではの、きめ細かい教育の実践や地域との繋がりといったメリットもあります。一貫校にすれば、同年代との幅広い人間関係の確立や、人件費の縮小といった財政上の問題も解消することができると思います。でも、まずは、子どものことを第一に考えて、実施していただきたいと思います。子どもは地域の宝であり、この国の将来を担う大切な存在です。</p> <p>いろいろと疑問等を述べさせていただきましたが、一貫教育に全面的に反対している訳ではありません。個人的にはどうすれば一番良いのか分からぬのが現状です。</p> <p>今後の加東市のありかたのことを考えて最前の選択をしてください。よろしくお願ひします。</p>
170	<p>コスミックホールの取り壊しを聞いて、とても残念に思っています。</p> <p>音響のよい地方のホールを何とか残して頂けませんでしょうか。</p> <p>そして、木管コンクールをまたコスミックホールで開催してください。</p> <p>東京や大阪などの大都市ではなく、身近な場所にホールがあり音楽がきける…そんな素晴らしい環境を是非残してください。</p>
171	<p>加東市営住宅長寿命化計画のアンケートの結果67パーセントの小元団地の住民がこのままで良いと答えていたのになぜ建て替えるのか修繕でよいので</p> <p>は。車も13台しかないです。</p>
172	<p>現在は、岡山県津山市在住ですが、兵庫教育大学にて、大学、大学院生活を送りました。■先生の研究室に在籍し、音楽を学んでいました。コスミックホールでの演奏会を聴かせていただいたり、練習に使わせていただいたりと、コスミックホールに関する思い出は多々あります。</p> <p>小さいホールですが大変音響が良く、演奏させていただいたても気持ちのいいホールであり、大学の近くにこんないいホールができてよかったです。</p> <p>昨日のように思い出します。</p> <p>この不景気なご時世、地方都市で音楽ホールを維持していくことは難しいことであろうと、素人ながら思います。ですが、もう少し取り壊し検討までに時間を取り、本当に存続が不可能なのか、今一度考えることはできないでしょうか。</p> <p>コスミックホールは不便な場所にありますが、しかし、高速バスの停留所から歩いてアクセスできる場所にあります。いいプログラムを組むことで、阪神間からの音楽ファンを取り込むことは十分可能なのではないでしょうか。</p> <p>一素人の案ですが、最終バスに充分間に合う時間帯で、コンサート終了後に出演者との茶話会、出演者によるトークイベント、出演者によるクリニックなども含めたコンサートを企画する。</p> <p>今までの木管コンクール入賞者による定期的な演奏会を、演奏会を終了後に出演者によるクリニックを行う。</p> <p>など、演奏会だけでなく、出演者によるクリニック、トークイベントなどをプラスし、小さいホールだからこそ演奏者と聴衆の距離感が小さいことを利用し発信していくことで、都市部の大きなホールとは違った、アットホームな演奏会を企画していくことが可能なのではないかと思います。</p> <p>また、コンクール入賞者や、■先生の人脈によりレベルの高い演奏者を迎えて定期的に演奏会を行い、定期会員を募集することで、ホールの運営も安定するのではないかと思います。定期会員には金銭的なメリットではなく、音楽面でのメリット(定期会員だけ参加できる出演者とのお茶会がある、リハーサル</p>

		<p>を優先的に見学することができる、など)があるということが、音楽ファンには嬉しいのではないかと思います。もちろん、地元の学生などがお小遣いで演奏会を聴きに来れたり、定期会員になれるよう、補助をすることがあります。一時的にそのようなお金はかかるかも知れませんが、長い目で見て、そのような学生の中から全国飛び立つような音楽家が育つ日が来れば、加東市が非常に文化的な都市であるという、いいアピールができます。</p> <p>加東市には他にもホールがありますが、音楽ホールとしての音響、設備の良さとしてはコスミックホールが抜け出ています。他のホールで木管コンクールを統けたとしても、コンクールの維持は困難だと思っています(音響のいいホールで演奏することは、演奏者として非常に喜びを感じることができます。コスミックホールの音響の良さは、コンクールのレベルを上げることに大きな意味を持つていると思います。演奏する喜びを感じることのできるコスミックホールだからこそ、多くのコンクール出場者が集まつたのではないかと思います)。</p>
		<p>ぜひ、コスミックホールで演奏したことがある方、演奏を聴いたことがある方、多くの意見を聞いていただき、コスミックホールの音響の良さ、ホールとしてのレベルの高さを、再確認していただきたいと思います。本当に取り壊すには惜しいホールです。</p>
		<p>ぜひ、コスミックホールを維持できるよう、前向きに検討していただければと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
173		<p>コスミックホールは良い響きを持つ、素晴らしいホールだと思います。</p> <p>ぜひ、取り壊さず存続をお願いしたいです。</p> <p>そして、若手音楽家のためにも、日本の音楽文化発展のためにも、日本木管コンクールは、東条コスミックホールで開催し続けていただきたいと願っています。</p>
		<p>参考のほど、お願ひいたします。</p>
174	要望	<p>・日本木管コンクールは、東条コスミックホールで続けてほしい        ・東条コスミックホールを取り壊さないでほしい        私は、████████大学で非常勤講師をしてています。学生の多くが、この日本木管コンクールを目標にしています。そのようなこともあります。これまで続けてきたコンクールを、このまま続けてほしい。また、文化の中核としてホールでの音楽の場を広げてほしい。        なんなら、地元の音楽家とともに、企画に携わることとも考へている。</p>
175		<p>コスミックホールは木管コンクールで何度も吹かせていただきました。        とても響の素晴らしい数少ない貴重なホールです。        ホールが存続する事を強く願っています。</p>
176	要望	<p>東条コスミックホールを取り壊さず、日本木管コンクールは東条コスミックホールで続けて欲しい。        日本木管コンクールに、主に公式伴奏者として関わって参りました。コンクールに関係したコスミックホールでの演奏会に出演させて頂いたこともあります。        コンクール参加者はもちろん、私達ピアニスト、そして聴きに来て下さった方々もが、コンクールを通して成長している実感があります。        そこには、日本木管コンクールが東条コスミックホールで開催されているという事実が、とても大きな意味を持つているのです。        他のホールで単にコンクールを開催しても、果たして同じ効果を得られたかどうか…        東条コスミックホールは他には替えられない、かけがえのない財産です。</p>

	どうか存続へのご尽力を頂けますよう、よろしくお願ひ申し上げます。
177	日本木管コンクールへの出場者や、コスミックホールでコンサートを開催されている演奏家の方々と繋がりがあり、ホールの存続が危ぶまれていることを知りました。 音楽ホールとして、国際的なコンクールが毎年開催され、プロ・アマ問わざず多くの演奏会が催されているホールは全国的に見ても大変貴重なものであると考えます。 そのようなホールを取り壊すことは容易ですが、同じようなホールは二度と造れません。 採算などでは語れない「文化・芸術」の価値を次世代へ受け継ぐためにも、コスミックホールの存続を強く希望すると共に、計画の再考を願います。
178	要望 □日本木管コンクールは、東条コスミックホールで続けてほしい □東条コスミックホールを取り壊さないでほしい
179	日本木管コンクールは、音響が良くアクセスの良い東条コスミックホールでの開催を継続してください。
180	小中一貫校については概ね賛成です。 システムがどうであれ学校は中身(保護者、地域も含め)が大切だと思います。 他にない物を一番に導入するのは別に悪いことではないと思います。 ただ、東条地区の一貫校をコスミックホールの跡地に作る事については賛成しかねます。 裏山もグランドも崩れる可能性があるのにそこに作ることはないかがなんのかと思いません。 学校はこの先何十年、いえ百年先もそこにあり続けるといけないといけませんので子供たちのためににもより安全な場所を希望します。 存続される施設については設備を充実して頂きたいです。 少年サッカーチームの指導をしている立場から社第三グランドサッカー場の人工芝化とナイター設備を熱望いたします。 加東市には少年チームが4チームあります約300名ぐらいの小学生がサッカーをしています。 周辺地区には中学生のクラブチームが複数あり社会人も含め盛んに活動しています。 現在、三木の防災公園にナイター設備がある人工芝グランドがありますが土日は抽選、平日の夜もほぼ予約が埋まっている状態です。 当たり前ですが設備が充実すれば施設の利用率は格段に上がります。(値段が高くてもです) 日本サッカー協会の助成制度もありますので、白書に「より良い利用活用に向けた検討を行う」と書いてありますので是非ともお願ひいたします。 あと少年用のサッカーゴールなので、鉄製でかなり重いです。子供が持ち運ぶのが危険なぐらい重いです。 小野や三木では小学校のサッカーゴールがアルミ製だったりしますので第3グランドのサッカーゴールもアルミ製を希望します。 未来ある子供たちのためにご検討頂きますようお願い致します。
181	昨年の秋、木管コンクールの際にコスミックホールで演奏させていただきました。 豊かな自然に囲まれ、みんなに素晴らしい響きを持つホールが無くなってしまうのはとても寂しく思います。 また、ロビーに飾ってあった過去の演奏会のポスターを拝見させていただき、歴史ある素晴らしいホールなんだということを改めて実感いたしました。 コスミックホールの存続を希望いたします。どうか、どうかよろしくお願ひいたします。

加東市公共施設適正配置計画(案)(以下、計画と記す)内で東条文化会館について示される内容は、取壊しとされていますが、以下の理由で反対いたします。

1 計画では、廃止の理由として、『利用者数は減少している(以下、Aと記す)』、『簡易な修繕では対応できない大規模な雨漏り、外壁の剥離などが発生している(B)』とされています。A、Bについて次のように思います。

(1) Aについては、(公益財団法人)加東文化振興財団(以下、財団と記す)が運営しており、私も会員になつてますが、東条文化会館で集客率の高い自主事業は開催されているのでしょうか。

財団発足から数年は、やしろ文化会館や滝野文化会館ばかり集客率の高い事業が開催され、東条文化会館で開催されないのか不思議に思っていました。特にやしろ国際学習塾のL.O.Cホールは、音響効果が悪く客席も両サイドに回り込み見えにくにもかかわらず、歌手や音楽家のコンサートが開催されるのは、来られるアーティストの方々と観客にとってマイナスです。

また、駐車場が少なく到着するのが遅くなると徒步数分の駐車場を利用しなければならず、それが雨天や夏冬の時期なら辛いものです。その点、東条文化会館は音響と席の配列が整つているのではないか。

計画では、「やしろ国際学習塾を加東市の文化会館として存続し」となっていますが、やしろ国際学習塾こそ取壊すか転用し、東条文化会館を加東市の文化会館とすれば、開催される事業が集約され、おのずと東条文化会館の利用率は上がります。さらに、中国自動車道の東条バス停が近くにあり、観客が大阪や神戸から高速バスで来れるという利便性もあります。市内3つの会館はそれぞれが旧町の時代に作られており、周辺の市の文化会館に比べて客席が少なく、有名な歌手等を招いても採算が取れないとよく聞きます。

改めて700～800席の文化会館を建設するまで、東条文化会館を使い続けてはいかがでしょうか。(2) Bについては、経費はどの程度必要なのでしょうか。簡易ではないのだから高額になると思われますが、具体的な費用を記していただきたいと思います。すでに、滝野文化会館は一部を改修しているし、やしろ国際学習塾も北側駐車場の拡張がされています。その間に東条文化会館は改修されていたのでしょうか。

この計画が発表されるまでに2館はなんらかの手が加えられ、東条文化会館は改修されないまま計画が発表されたのなら、取壊すための理由として改修されなかつたとも思えます。

聞くところによると、東条文化会館は売却の対象になつたが買い手がなかつたとの噂もあります。売却する施設を改修するのは経費の無駄ですね。「小中一貫校にするため借地の解消を図る」とのことなら、東条文化会館を存続させるためでも、借地解消を図つていただきたいと思います。東条文化会館は事務所スペースが狭く、やしろ国際学習塾は広いため残すとも聞いたことがあります。それなら東条文化会館の事務所東側会議室を事務所スペースに改装することも可能です。また、現事務所と図書館の間の空間をトイレの通路を残して打ち合わせ室にすることもできるはずです。そんなにお金をかけなくても空いているスペースを使い利便性を良くできます。

### 3 その他

(1) 東条地域小中一貫校の建設場所について

東条文化会館を存続させる場合、東条地域の小中一貫校建設の場所がなくなることになりますが、代案として南山の小学校建設予定地はいかがでしょうか。

南山を除く東条地域(以下、旧地域と記す)の児童数は年々減っています。反対に南山の宅地が売れ続ける限り児童数は年々増加してゆきます。東

	<p>京の多摩ニュータウンや近くでは三木市の縁が丘町のように児童数が頭打ちとなり減少していく事は必然ですが、その時は旧地域もさらに減少していることでしょう。</p> <p>現在増加している地区を中心に学校建設をすることは、理に適かなっています。</p>
(2)	<p>今後の街づくりについて</p> <p>2でも少ししかましたが、利用者数が減少しているということですが、根本的に東条地域の人口をもつと増やすことも考えていいかがでしようか。</p> <p>蛇足ですが、社・滝野地域にない可能性が東条地域にはあります。</p> <p>まず、3地域の中で大阪方面に一番近いこと。</p> <p>高速バスを利用しても滝野社インターから11分早く到着し、東条バス停周辺には区画整理をして間がない宅地が豊富にあります。今でも高速バスを通勤学に使用している人が沢山いると思われます。</p> <p>また、天神地区からJR新三田駅に車で30分で行けます。加東市の最も西側にある永福黒石地区ならさらに5分以上は短縮できます。今でも東条地域から新三田駅の駐車場に車を置いて通勤する人が沢山います。</p> <p>この地の利を生かすのに、例えば、新三田駅に東条駅から直通バスを通す、南山地区に高速バスの停留所を設置する等の方法で、東条地域を活性化させるのはいかがでしょうか。</p>
183	<p>私は音楽を愛する一加東市民です。</p> <p>何度もコスミックホールで演奏会をさせていただいた一人です。</p> <p>この素晴らしいホールで演奏できる幸せを奪わないでください。この片田舎でこれだけの音響設備を持つたホールを有することは私たちの誇りでもあります。</p> <p>いちど取り壊すと二度と元にもどすことはできません。自然破壊と同じです。</p> <p>どうか取り壊しが撤回されますことを切に祈ります。</p>
184	<p>これまで、コスミックホールを自分たちの主催するコンサートで、三度ほど使ったことがあります。</p> <p>ホールの音響がとても良く、オーケストラの響きが素晴らしいです。少人数のオーケストラでしたが、聴衆の隅々まで届いていたのがよく分かりました。さらに、反響音がこちらにも返ってき、その響きに感動したものです。</p> <p>ロックホールでも行いましたが、その差は歴然です。</p> <p>日本木管コンクールも聞きに行きました。回数も重ね、若手演奏家の登竜門と銘打つことが出来るのも、このホールあつてのことでしょう。ロックホールでは代用にならないと思います。</p> <p>どのような討議がされているのか、あまり伝わってきません。大袈裟にしたくないのかかもしれませんが…。</p> <p>もう少し、時間をかけて討議されることを望みます。</p>
185	<p>■ 団員です。</p> <p>コスミックホールはとても響きの良いホールです。</p> <p>取り壊さないで下さい。</p>
186	今から10年よりも前、私も木管コンクールを受験した1人です。

	あのコンクールを受けたことで、同世代の皆さんと技術向上のため切磋琢磨したこと、自分の将来を模索したこと、大変感謝しております。 コンクールは他にもあります、審査員の先生方との距離が近く、また運営にかかわるスタッフの皆さんのが、演奏する私達が良いコンティジョンであるために気遣つてくださったのは、東条の木管コンクールだけでした。
	あの場所、そこの人々だからこそだと思っております。 もしも、まだ存続の可能性があるのでしたら、ぜひ参考をお願いし、存続をお願いいたします。
187	東条コスミックホールの取り壊し反対、並びに日本木管コンクールの存続を希望します。

## 加東市公共施設適正配置計画（案）に対する意見書

【氏名】 [REDACTED]

【住所】 [REDACTED]

【電話番号】 [REDACTED]

### P21~31 2 学校施設について

小中一貫校の設置を前提に時間をかけて再編を行っていく方針には賛成ですが、3中学校区に基づく再編は児童生徒数の偏りが大きく賛成できません。

特に、社中学校区については規模が大きくなり学校運営の負担が大きくなりすぎることが予想されます。折角の機会ですので旧町の枠組みにとらわれることなく、小中一貫校4校への再編を前提に計画を変更してもらえるように要望します。

現在の市内各小中学校の児童生徒数は、【表1】の通りです。

【表1】平成26年5月時点の児童生徒数】兵庫県教育委員会ホームページより

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
社	91	104	95	93	93	117	593
福田	20	22	12	18	16	21	109
米田	4	10	6	9	10	7	46
三草	11	9	20	20	17	26	103
鴨川	4	3	0	6	1	7	21
東条東	50	28	44	32	46	38	238
東条西	14	13	18	16	19	27	107
滝野東	90	86	87	93	82	77	515
滝野南	25	29	34	26	35	39	188
兵教大附属小（参考）	96	69	98	102	100	95	560
中学校名	1年	2年	3年	合計			
社	147	158	169	474			
東条	55	59	44	158			
滝野	140	137	136	413			
兵教大附属中（参考）	118	114	105	337			

(単位：人)

【表1】をそれぞれの中学校区ごとに集約したものが【表2】です。現在の計画のまま小中一貫校を設置した場合、この数が全校児童生徒数となります。

【表2 中学校区毎の児童生徒数】

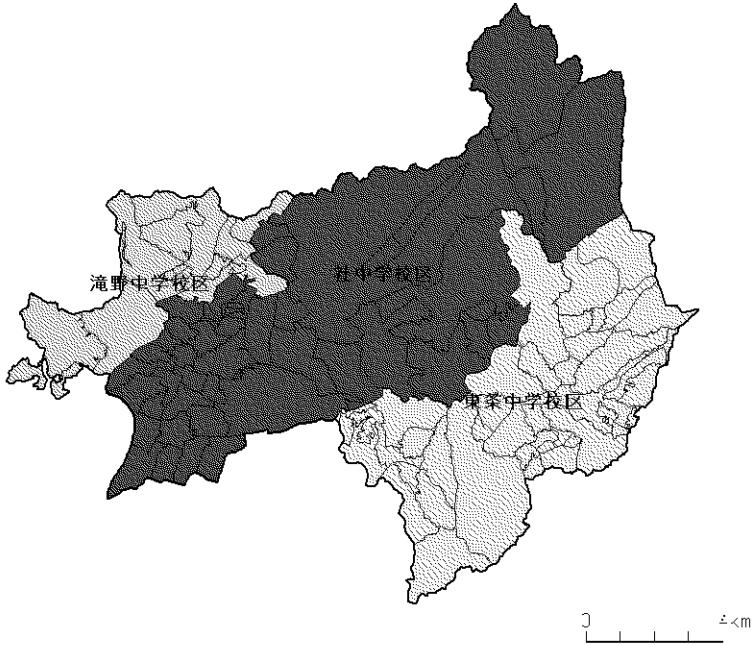
地区	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	合計
社	130	148	133	146	137	178	147	158	169	1,346
東条	64	41	62	48	65	65	55	59	44	503
滝野	115	115	121	119	117	116	140	137	136	1,116

(単位：人)

見ての通り、社地区の児童生徒数が突出しています。また、滝野地区と東条地区にも倍以上の開きがあります。

校区についても、下の【図1】を見ればわかる通り、社地区が広すぎて学校運営の効率に大きな差が生じます。

【図1 現在の中学校区】



この状態は、市全体としてみた時には決していい状態であるとは考えられず、合併前の枠組みに固執して、この非効率を将来に残すことは望ましいことではないと考えます。

もちろん、計画は10年の期間を見据えたものであり、少子化のさらなる進展により児童生徒数はこの数よりも減少すると想定されますが、学校間の差が劇的に縮まるることは想定しにくいでしょう。

折角の機会ですので、この不均衡な状態を改善し、効率的かつ充実した教育を実施できるように校区の抜本的な見直しの検討を切に願います。

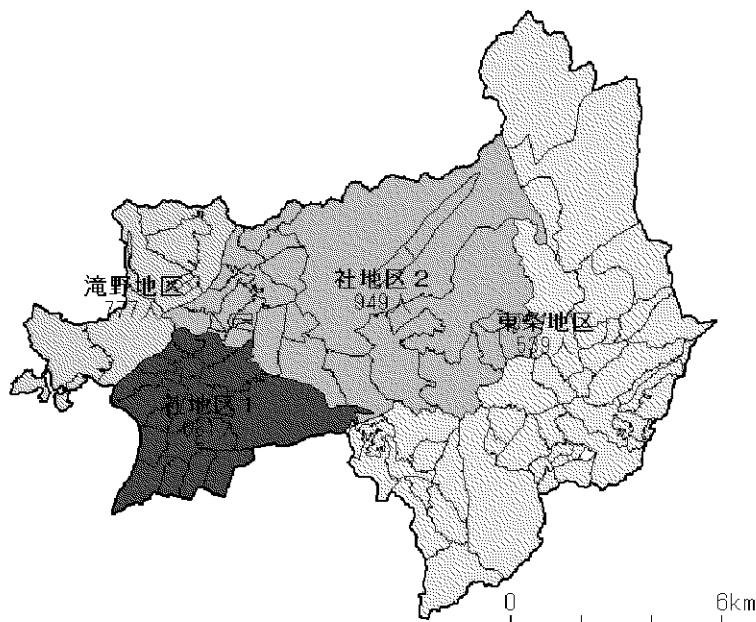
以下は4校に再編する場合の校区の見直しについての私案です。

3校に再編する場合と比べてコスト増が想定されますが、現状の小学校9校+中学校3校よりは効率化でき、また、3校に再編する場合よりも1校あたりの規模は小さくできます。

この案での校区割は、下の【図2】の通りです。

社地区を南北二つに分け、北側に滝野地区の加古川東岸の地域を加えています。

【図2 校区再編案】



この案で再編した場合の児童生徒数を試算したものが【表3】です。

正確な数字ではないですが、かなり各校の規模はバランスが取れています。この程度の規模の差に収まるならば、効率的な教育行政が可能だと考えられます。

校区については検討の余地がありますが、4校への再編を軸に計画の見直しをお願いします。

【表3 小中一貫校4校に再編した場合の児童生徒数】

地区	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	合計
社1	68	78	70	77	72	94	77	83	89	708
社2	95	104	98	104	99	118	111	115	120	964
東条	64	41	62	48	65	65	55	59	44	503
滝野	80	80	84	83	81	81	98	95	95	777

(単位：人)

※ 直近の国勢調査（平成22年度）の15歳未満人口から、それぞれの地区の人口比に基づいて想定児童生徒数を算出

※ 社1=社地域全体の53%

※ 社2=社地域全体の47%+滝野地域の30%

※ 滝野=滝野地域の70%

平成27年2月6日

## 加東市公共施設適正配置計画（案）における、東条文化会館取り壊し計画について



私は、加東市内に32年間居住しております音楽家（作曲家、指揮者）です。定年前までは、[REDACTED]で教鞭をとらせていただいておりました。

この加東市で生活し、地元の皆様と交流しながら音楽活動を続けてまいりました人間の一人として、加東市公共施設適正配置計画（案）内の、東条文化会館の取り壊し議論に大変憂慮しております。

以下の通り、この件についての私の意見を述べさせていただきます。

なにとぞ、皆様の慎重な議論をお願い致します。

### 1) 周辺地域も含め未来を見据えた、より深い議論を提案します。

私は、東条文化会館とやしろ国際学習塾の両方に、当時の東条町、社町から要請を受け、企画段階から関わりました（瀧野文化会館の建設には関わっておりませんので、ここで意見を述べることは控えさせて頂きます）。

ホールというのは、いくら企画時に設計を重ねても、出来てみなければ分からない部分もあります。しかし、結果として、東条文化会館は大変すばらしい音響という特徴が生まれ、やしろ国際学習塾には舞台と客席の距離が近く、アットホームで、市民の皆様に親しみやすいホールという特徴が生まれました。

やしろ国際学習塾は、観客との距離感が大事なトークイベントや演劇、参加者体験型イベントなど、市民の皆様が気軽に使い、交流できるホールとして最適ですし、東条文化会館は、音響を重視する音楽イベントや、大掛かりな舞台背景を使う演劇、バレエなどの演目にも最適です。

この二つが両輪としてどちらも十分に機能することで、地域の皆様の文化に触れる機会は豊かになります。  
しかし、これらのうちどちらか1館を廃館にすれば、どちらを残しても車輪の片方が足りないことになり、市民の皆様に提供できる文化的体験やその満足度は偏るでしょう。

文化施設が片輪を欠き、文化的体験や満足度が偏った結果、「どうせなら少し足を伸ばして都会まで出て、○○市の○○ホールで観賞した方が…」という意見が主流になってしまえば、もはや残したホールの維持も難しくなり、結果的に文化活動が衰退してしまうのではないか、と私は危惧します。

たとえそうなっても、若い方々は都会へ足を運び、自分からそのような文化活動に触れる機会を求めることが出来るかもしれません。

しかし、自力ではなかなか都会へゆけない子供達や、遠方への外出が難しいご年配の皆様にとっては、地域での文化活動の衰退は、そのまま文化的な体験の減少に繋がってしまいます。

私が文化施設を守りたいと思う理由は、やはり地元で豊かな文化的体験に触れることができる、という環境が、結果的に地域の皆様の満足度につながり、更に地域の発展につながると信じるからです。

現在取り壊しが検討されている東条文化会館は、世界の演奏家の厳しい要求に十分に応えることができる、地方自治体のホールとしては非常に恵まれたホールです。

コスミック・ホールは、どんな自治体でも簡単に手に入れることができるホールではなく、すくなくとも音響効果の面では、既に近隣自治体から一歩も二歩も抜きん出た存在であり、25年かけてそれを支える人々の層が熟成されてきた、という視点も、現在の議論には欠けているように思います。

この問題は、今後、加東市がどのような文化活動を行っていくのか、という方針にも直結します。それによって、この先加東市にどのようなホールが必要になるかも変わるでしょう。

その将来の展望も含め、是非総合的な議論がなされるよう、希望します。

## 2) 日本木管コンクールの開催ホールに関する意見

日本木管コンクールは、東条文化会館の「コスミック・ホール」で毎年行われ、2014年には25周年を数えました。私は、このホールの設計思想に関わりましたが、その際數十年にわたって地元の皆様に愛されるホールでありつづけることを願い、以下のような提言を致しました。

「地方のホールは、作るのはまだ簡単だが、維持していくことは大変難しい。周辺地域にもアピールし、市内だけでなく市外からも広くお客様を呼べるようなホールにするための一案として、

- 1) コスミック・ホールを響きの良い、音楽用コンサートホールとして設計し、
- 2) そこで国際木管（フルート、クラリネット）コンクールを毎年行ってはどうか？」

そして、これらを成功させるため、当時の日本フルート協会会长吉田雅夫氏、日本クラリネット協会会长大橋幸夫氏など、日本のトップレベルの演奏家の方々に審査をお願いしました。

審査員の方々、そして地元の皆様の熱い応援が奏功し、やがてコスミック・ホールの舞台で演奏されたコンテスト（コンクール応募者）や、演奏家の皆様の、「コスミック・ホールは音響が素晴らしい」という評判に支えられ、

- 3) 通常地方では招聘が難しい国際レベルの演奏家がコスミック・ホールに来演して下さるようになり、
- 4) その結果地域や近隣の市民の皆様が、都会まで足を運ばなくとも世界レベルの素晴らしい音楽に接することが出来る

という成果を上げて参りました。そしてついには、日本木管コンクールは、若手演奏家の登竜門として国内外に知られるコンクールに成長致しました。

私は、コスミック・ホールがなくなってしまった場合、他のホールでは、現在のようなコンクールの開催効果は見込めないのではないか、という危惧を感じております。

たとえば、フルートでいえば、びわ湖国際フルートコンクール（ガリバーホール）、神戸国際フルートコンクール（神戸文化ホール）、三田ユネスコ・フルートコンクール（郷の音ホール）と、近畿圏内に他に3つのフルートコンクールが存在します。いずれも大変音響の良いホールを使っており、ホールの音響について、コンテストの皆様にこれらのホールと同等の印象を与えようとすれば、コスミック・ホールに匹敵する音響が要求されると思います。

クラリネットコンクールについては、昨年第2回を横須賀芸術劇場で開催したジャック・ランスロ国際クラリネットコンクールがあります。まだ2回目、更に1回ごとにフランスと日本で行う、ということで、次回も横須賀芸術劇場で行われるものか分かりませんが、入賞者披露コンサートをサントリー・ホール（ブルーローズ）で行うなど、コンテストにとって魅力的な環境を整えている模様です。

以上に挙げたコンクールは、いずれもこれまでに20回、8回、4回、2回のコンクールを行っています。音楽コンクールの世界では、「コンクールの歴史がある」ということも、コンテストが参加を決める要因となり得ますので、その意味では（1985年に第1回が開催された神戸国際フルートコンクールを除き）日本木管コンクールに一日の長があります。

しかし、コンテストの時間は有限ですから、これほど競合コンクールが増えて参りますと、僅かな要因でコンテストが他のコンクールに流れる可能性も出てきます。

コンクール主宰側から、コンテストに対してアピール出来るポイントは、ホールの音響の他にも、聴衆賞などがあります。

聴衆賞は、たとえミスなどで上位入賞を逃しても、表現力などで突出した才能を持つ演奏家が広く認められるための賞です。このため、聴衆賞を獲得した奏者がその後プロとして活躍出来ているか否かが、コンテストにとって、そのコンクールに参加するか否かの判断のひとつになります。

日本木管コンクールで言えば、聴衆の皆様も一流の音楽に長年親しみ続けた結果、聴衆賞である「コスマス賞」の受賞者が、たとえ1位を受賞できなくともプロの演奏家としてはたくことが出来る、という事例を作っていました。

これは、ホールを支えて来た聴衆の皆様の耳が「肥えて」いなければ難しいことです。  
つまりこれは、コスミック・ホールとその開催イベントは、地域の文化レベルの向上に貢献してきたことの証と言えるのではないでしょか。

しかし、聴衆賞は、音楽の専門家ではない人々が選ぶという性質上、客席によって聞こえ方にばらつきの大きいホールでは、うまく機能しないという一面があります。  
また、技術力よりも表現力を重視しますから、奏者の表現する細かなニュアンスが、繊細に、くっきりと、ホールの隅々まで伝わる必要があります。  
その意味で、ホールの音響に助けられるところがかなり大きい賞であると言えます。

コスミック・ホールという音響の素晴らしい会場が失われた結果、コンテストが以前ほど日本木管コンクールに魅力を感じなくなり、有能なコンテストが他のコンクールに流出する、という未来は十分にあり得る、と私は考えています。もしもそうなった場合、日本木管コンクールは、現在の評価「若手の登竜門」という大切なセールスポイントを失い、結果、コンクールを続けていくことも難しくなるかも知れません。

以上はあくまで私の意見にすぎません。しかし、日本木管コンクールの今後については、安易にホールを移せばよい、という議論に留まらず、より広く有識者の意見を募り、多角的に検討することを提案します。

### 3) 文化事業に対する私達の意見

私は、将来を担う子供達のために、出来るだけ良質な音楽体験を提供したい、という思いから、これまで4年の間、加東市の「音楽の日」というイベントに参加させていただいて参りました。

戦後の長い平和も、昨今の世界情勢の不安定化や経済不調を受け、世の中は年々殺伐とした空気の度合いが増しています。

そんな時代だからこそ、時代を担う子供達には、美しいもの、豊かなものを沢山体験してもらって、この先に訪れるかもしれない混沌の時代にも光を見失わないで欲しい、と切に願います。

それゆえ、私は、「効率の悪い文化施設は廃止しよう」という方針そのものに、賛同することが出来ません。美しいもの、感動、豊かなものとは、しばしば「採算」や「効率」とは対極にあります。一見無駄とみえた文化の種が、数年後、数十年後に花開くこともあります。何が無駄で、何が効率良いのか、答えは「採算」や「効率」で計れる時間には、容易に明らかにはならない、と信じるからです。

現実問題としては、採算や効率を度外視は出来ないかもしれません。しかし、それよりまず先に「未来をどのようにしたいのか」という視点があり、その未来図に共感した人々からのサポートを得て文化施設が運営される、という形にならなければ、いずれにしても文化施設を運営していくことは困難になる、と私は考えています。

しかし、そうはいっても、加東市の予算状況が大変苦しいことも分かっております。「文化が大切だというのなら、まずは自分でなんとかしてみる」という市民の皆様の声ももっともなことです。

そこで、市民の皆様に「やはり音楽は素晴らしい」と思っていただけるよう、そしてこの議論が現在の資金難の解消という視点にとどまらず、未来の発展をも見据えた議論となるように願いを込めて、今後は音楽の日も含め、可能な限りボランティアの形で加東市の文化活動に参加させて頂きたいと思います。

本来、プロとしては、自分の仕事を極度にディスカウントするようなことがあってはなりません（それは、その分野で活動しようとする若い方々の生活を妨害することになりますから……）。

しかし、今は敢えて、私の決意をこのような行動として、皆様にお伝えしたいと思います。

どうか、市議、市職員、市民の皆様には、ホールの統廃合につきましては慎重に議論を尽くし、有識者の意見も広く募って総合的な判断をしてくださるよう、お願ひ致します。



## 加東市公共施設適正配置計画(案)へのパブリックコメント

私は、旧社町で10才から18才まで過ごしました。兵庫教育大学附属小学校第■期生、附属中学校第■期生です。その後は小野高校、東京学芸大学、東京農工大学大学院を経て、現在は東京大学地震研究所、及びアメリカ・ウィスコンシン大学マディソン校で国際ニュートリノ実験に参加しております。社で過ごしたのはたった8年でしたが、一番多感な時期に、大変恵まれた教育環境や豊かな自然、文化、素晴らしい友人達に恵まれました。

ひとところに留まることがなかった私にとって、加東市は唯一私の故郷と言える、大切な場所です。

現在、住民票は加東市にはありませんが、両親の運営する [REDACTED] の広報として地元の音楽イベント等に関わっております。

今回の公共施設適正配置計画(案)について、大切な私の故郷の未来を思い、次ページ以降に示す通り、パブリックコメントを提案します。

それぞれ、各項目ごとに、

- 1) 問題提起（または提案）
- 2) 簡単なまとめ
- 3) 説明

という順番で記述しています。どうぞ、ご検討宜しくお願いします。

※なお、大変蛇足ですが、[REDACTED] は別にパブリックコメントを提出しております。このパブリックコメントは、あくまで社で育った、私個人の意見として、ご高覧頂ければ幸いです。

住所 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

加東市との関係 :

事務所所在地 :

### 参考資料一覧

- 1) 加東市公共施設適正配置計画(案)

<https://www.city.kato.lg.jp/admin/publiccomment-koukyoshisetsuplan.html>

- 2) 地方自治法

<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S22/S22HO067.html>

- 3) 平成9年度「学校施設整備に係る都市化に伴う諸課題に関する調査研究」報告書

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shisetu/002/toushin/011001.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/002/toushin/011001.htm)

### 3 公共施設適正配置の基本方針

#### (1) 地域バランス重視からの転換

##### (問題提起1)

「旧町の行政区域や学校区等、全ての地域にバランスよく配置するといった考え方ではなく、利用状況、維持管理経費、安全上の問題、借地の状況等を勘案し、行政経営上設置効果の低い施設は統合、廃止の対象とします。」という箇所について。

##### (まとめ)

地方公共団体は、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的取扱いをしてはならない。この観点に立ち、統廃合に伴う不便は、税金を払っている市民が、可能な限り等しく分担すべき。

地域バランスを大きく崩せば、いずれ人口密集地は更に過密になり、過疎地は更に過疎化し、密集地では家賃上昇などで住民の満足度が下がり、過疎地ではサービス不足で住民の満足度が下がる。

都市部では既にこの現象が起きており、幸福度が下がったことによる犯罪も増加している。これらは、富裕層の市外への流出を招く要因でもあり、将来の税収面を考えても、決して良い影響は及ぼさない。

##### (説明)

これは、要するに『現状の「利用状況、経費」を勘案し、採算のよい場所に施設を集中する』ということであり、つまりところ、商業主義的な方針となんら変わらないものかと存じます。

企業は施設から収益を得て運営しますからそれでも良いのですが、公共施設は市内に住む全ての方々から税金をいただいて運営している、という観点が大事なのではないでしょうか。

今回の案では、廃止・統合される施設は、東条地区に大幅に偏っており、これでは人口密度の高い地域の市民を満足させるために、人口密度の低い地域の人間は黙って不便や不利益を受け入れろ、という主張に見えてしまって仕方がないかと思います。その結果、東条の方々は大変立腹しており、もはや冷静な議論にならない状態となってしまっているように見えます。

地方自治法 第244条(公の施設)の条項によれば、「普通地方公共団体は、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的取扱いをしてはならない。」とあります。この条項が示す通り、公の施設とは可能な限りの公平を目指さねばなりませんが、この「地域バランス重視からの転換」の方針とは、結局のところ地理的な不便というハンディキャップを人口密度の低い地域に押し付けるものにほかなりません。

多すぎる施設を減らす議論はあっても良いですが、「公共施設」であるならば、それに起因する不便は、税金を払っている市民が、可能な限り等しく分担すべきであると私は思います。

そう目標を掲げても、現実は難しいものです。市民に対し、どうしても施設数を減らさなくてはならないから、皆等しく不便を我慢してくれ、皆で市をもり立てて行こう、という啓蒙も必要になります。しかし、その困難から逃げれば、やがて人口密度の高い地域は更に人が集まり、低い地域は更に過疎化します。その結果、人口密度の高い地域では家賃上昇などで住人の幸福度が下がり、過疎地では不便のためやはり幸福度が下がります。

多くの都市地域の自治体が、資金難を理由に既にその失敗を犯し、住民の幸福度が下がっています。

住民の幸福度の低下は、治安の悪化を招きます。そしてそれは、裕福な層、すなわち税金を多く払ってくれる市民層の、市外への流出に繋がります。

国が失策を犯しても、日本国から逃亡する国民は少ないでしょうが、自治体には近隣自治体という競争相手がおります。国外の都市例を見ても、住民の幸福度が下がれば、比較的資産に余裕のある富裕層から、より条件のよい近隣自治体への流出が起きております。それは、税収の面から考えても、決して加東市の未来に良い影響を及ぼさないと、私は考えます。

### (問題提起2)

「利用状況」について。

#### (まとめ)

統廃合後は利用状況が変わるので、現在の利用状況を第一の条件としてはならない。将来の「利用状況や収益を改善できるか、数年後の市民からの支持を十分に得られる目算は立っているか、といった視点が必要。

#### (説明)

統廃合施設の選定について、「利用状況」を先頭に表記していますが、統廃合後には当然この「利用状況」も変わると予測すべきで、現時点での利用状況のみを判断材料にしても意味がないと思います。

施設の価値（ポテンシャル）が高ければ、統廃合後に競合施設が減ることで、利用状況が大幅に変わる事もあり得ます。

どれかしか残せない、という痛みを伴う議論をしなければならないのなら、どちらを残した方がより「将来の」利用状況や収益を改善できるか、数年後の市民からの支持を十分に得られる目算は立っているか、といった視点が必要です。

そうでなければ、たとえ施設数を減らしても、周囲市町村のより魅力的な施設への利用流出が起り、結局残した施設すら有効に活用できない、といった事態も招きかねません。

#### (具体的な要望)

以上から、この項目は一度削除し、次のような提言に変更することを提案します。

##### (1) 統廃合の基本方針

現在過剰な施設の統廃合については、1) 安全上の問題 2) 維持管理経費 3) 利用状況 を勘案しつつ、かつ一部の住民に極端に不利益・不便が重ならないよう、市民全体の中での負担バランスを考慮しながら、統廃合対象施設を検討する。なお、3) 利用状況 については、各施設の現状をそのまま判断材料にするのではなく、統廃合後の人の流れや、積極的な利用促進の可能性も検討する。

## 2 学校施設

### (1) 小中学校について

#### (問題提起1)

「現在東条地域にある東条東小学校と東条西小学校、そして東条中学校を統合した「東条地域小中一貫校」を新設することとします。

新たな用地としたのが「東条文化会館」の用地です。この用地は約18,000m<sup>2</sup>でかなり狭小となり、災害発生の懸念がある現東条中学校の用地からあまり離れておらず、当該用地の南には東条川が流れていますが、都市計画法上、校舎等の高層化が可能であることや、現東条中学校用地の一部をグラウンドや駐車場など災害の発生リスクを念頭に施設配置を行うこと、また、必要時には近隣地の買収等により、面積を確保するとともに、降雨時等の適切な運用により当該用地での設置は可能であると考えます。」 という箇所について。

#### (まとめ)

提示された中学校移設候補地には、以前リスクが存在するため、候補地の再検討を強く要請する。  
一案として、東条グラウンド、とどろき荘を含む地区を提案する。

#### (説明)

「現在の東条中学校は災害発生のリスクがある」という懸念が移設の最大理由であるにもかかわらず、

- 1) 災害発生の懸念のある場所からあまり離れておらず、
- 2) 更に「災害発生のリスクがある」現東条中学校用地を、グラウンドに転用する、

という点に疑問を感じます。

長雨が続ければ、グラウンドの使用はしない、というような制限を儲けるのでしょうか？

具体的に、どのくらいの長雨で危険なのかなどの判断は、誰が、どのように行うのでしょうか？

結果として、現場の先生方に、重すぎる責任が課せられる恐れはないのでしょうか？

そんな危険を侵さずとも、たとえば東条グラウンド、とどろき荘などの施設があつまる岡本周辺に学校を持って来れば、保育園から中学までを集約でき（小中一貫にするかどうかはともかく）、かつ温泉に近いため地元の大人やご老人と若い世代との交流も進み、東条らしい文化地域が形成出来るのではないか？ と私は考えます。

面積については、東条グラウンド、とどろき荘、東条公民館の敷地をあわせて開発すれば、このうちいくらかを温泉施設に残しても、東条文化会館跡地よりはずっと広くなるのではないでしょうか。  
東条グラウンドもとどろき荘も借地ですが、その条件は東条文化会館ともかわりません。  
とどろき荘には公民館機能を集約、とありますが、むしろ東条文化会館と図書館を改修し、公民館機能をそこに集約すれば、面積的には問題ないのではないでしょうか。  
東条文化会館の改修費用については、別項でコメントします。

#### (問題提起2)

校舎高層化について。

#### (まとめ)

校舎高層化は、東条のような建物の込み入っていない地区で、敷地に無理に押し込むための目的で検討して良い性質のものではない。完全に廃案にすべき。

## (説明)

敷地面積の減少は校舎の高層化で対応、とされていますが、校舎の高層化については、平成9年に文部科学省が提示した「平成9年度「学校施設整備に係る都市化に伴う諸課題に関する調査研究」報告書」第3節冒頭に明記されている通り、「**小学校校舎は3階以下とし、やむを得ない事情ある時は4階とすること、中学校では4階以下**」というのが基本指針です。

これは、報告書にある通り「屋外運動場や遊び庭への出入りのしやすさ、樹木や花壇など自然への近接感、日常及び非常時の安全性への配慮のしやすさ、さらには屋外からの親しみの持てる建物の形態や景観」といった教育上の配慮によってそのように提言されています。

従って、「**都市化の進展等の中で、やむを得ず**」学校施設を高層化する場合には仕方がないとしても、**東条のような建物の込み入っていない地区で、予定敷地内に無理矢理押し込むため、というような目的で検討して良いものではない**はずです。

特に、細長くビルのような建物は、なにか有事があったときには、逃げるのが大変難しくなります。細長い階段を何階も、大人数で逃げれば、将棋倒し等の危険が増します。

何階まで高層化するおつもりか存じませんが、はしご車も届かないような建物であれば、救助方法の幅が大変狭くなることはご存知かと思います。

私は、都市部で、敷地の問題から高層化された校舎をいくつも見ました。

自分が加東市で育った頃には、当然のように与えられていた広く快適な学びの空間が、猫の額のような場所に閉じ込められた都市部の子供達には与えられないのだ、ということに愕然と致しました。

都会の子供達は、色々なストレスに晒されています。私は、「地方で育って本当に良かった」と心から思ったのです。

これほど自然が豊かな東条地区に住みながら、高層ビルのような箱の学校に押し込められて、情操の豊かな小・中学校の9年間を過ごすことを、本当に地域の親御さん方が望むのでしょうか。

わざわざ巨額を投じて住民に負担を強いる施設を作るのは無意味です。

住民からのヒアリングを十分に行い、反対意見があれば真摯に受け止めることを強く提案します。

### 3-1 生涯学習施設(文化、学習系施設)

#### (1) 文化会館

##### (提案)

東条文化会館の修繕費用、その後について

##### (まとめ)

1) コスミック・ホールを愛する人は、日本全国にいる。木管コンクールの関係者だけでも、既に3千人を超える。

既に音楽家や音楽関連企業だけでも200名以上、市民も400名以上の多くの人が、このホールをなんとか残したいと考えてくれている。その人数は現在も急速に増えている。

これらの人々に資金協力をお願いして、一部修繕費用をまかなう、という方針にしてはどうか？

2) 修繕後のホールの活用について様々なアイデアがある。神戸などの都市地区の楽器店などの情報によれば、都市部の市民は「思い切り音が出せる練習場所がない」と嘆いており、そういう人たちが何人も、わざわざ小野のエクラホールや加古川、遠くは西脇まで練習に訪れている。

このことから、これらの近隣ホールよりはずばぬけて音が良く、高速道路に近いコスミック・ホールで、このような利用促進を促せば、ホールを練習に利用しようという都市部のプロ・アマチュア演奏家がいると見込まれる。

そしてそれは、都市に住む人に、加東市の良さをアピールする絶好の機会になる。

その他の案については説明欄を参照。

3) 現在、地域の音楽愛好家は、これまでの無関心を強く反省し、本気で地元のホールをもりたてていくアイデアを考えている。以前と決して同じではなく、今後は利用促進についても地元音楽愛好家の協力が得られる、という要素も、是非考慮に入れて欲しい。

4) 今回の修繕の後も、また20年後には大規模修繕が必要になる。その際、おそらくコスミック・ホールであれば、修繕の費用を募るために全国規模の募金活動が行えるかもしれない。コスミック・ホールは、それだけのポテンシャルのあるホールだということも、どうか勘案して欲しい。

##### (説明)

ホールの有効活用、利用促進について、かならずしも市の財政を使わなくとも、いくつか促進の案があります。

たとえばアマチュア市民吹奏楽団に声をかけ、ホール付きの吹奏楽団になってもらうよう呼びかけます。そのようにすれば、定期的に、練習用途のホール使用が入ります。

アマチュア音楽家の間では既にコスミックホールの評判は知れ渡っているので、きっと反応があると思います。（多少ホール賃料を優遇するなどすれば、更に効果的ですが。）

おそらく、そのような方々がこれまでコスミック・ホールにコンタクトしなかった理由は、「世界レベルの演奏家が演奏するようなホールが、自分達などに簡単に使えるはずがない！」という思い込みが先立ったのと、たまたまそこで音頭をとろうと考えた人がいなかつたからだと思います。

その件で音頭をとることについては、私達も何かしらの形で協力できると考えています。

そして、彼等の演奏会の日には、地元の人々に声をかけて、フリーマーケットやファーマーズマーケットの場所を提供し、地元のアピールを同時にすることもできます。最初は建物の中にブースを置く

程度で良いと思います。そこでもし売上げがあれば、市民が自分から参加するようになり、規模を広げることができるでしょう。そうなってから、市の財政出動をすれば良いと思います。

なお、修繕時にホールの横にもし保育園を設置できれば（民間でもよい）、コンサートは大抵保育園の休みの間に行われますから、コンサート時はその場所を借りて託児所を開くようにすると、遠方の客にも大変魅力的なイベントになると思います。育児のため、趣味の音楽観賞を諦めている主婦層は大変多く、そういう人は、たとえ有料でも子供さえ預かってもらえるなら、遠くの演奏会にも足を運びます。

特に、コスミック・ホールが呼べるような、世界レベルの演奏家のコンサートでは、都市部のホールはまず修学未満の子供の入場は出来ません。子供が就学年齢に達するまで、折角有名演奏家が来日したのに、コンサートに行きたくても行けないと泣く泣く諦めているのです。市が開催するそのような世界レベルのコンサートで、「隣に市営託児所があります」と宣伝すれば、これは周辺地域に対し、「なんと福祉の進んだ町だろう！」という印象を与えることは間違いありません。  
(日中のイベントなら、ついでに「帰りに温泉に寄りませんか？」キャンペーンも出来ますね)

その託児所の人員ですが、数名はプロの保育士を雇う必要がありますが、その他は、兵庫教育大学の幼年教育コースの学生や院生に、インターンという形で協力してもらうのが良いと思います。この御時世、学生は皆お金に困っていますので、自分の専門で収入が得られ、経験も積めるならば、参加する人はいると思います。

託児所は、最初は事前申込制（チケット購入時に保育料も先払する）として、必要な人数だけ保育士及びインターンを集めれば、市の負担はかなり抑えられるかと思います。

なお、以上の案は、残念ながら、他の2館ではうまく機能しないと思います（託児所はあってもよさそうですが、上三草のあの場所に保育園を持って来る事自体が難しそうですね）。

高速から近く、都市からアクセスしやすいという東条の立地と、あの素晴らしい音響があればこそその案です。

### (問題提起1)

廃止施設の選定方法について。

#### (まとめ)

- 1) 大事なのは、現在の利用者数ではなく、施設統廃合後の利用者数。
- 2) 市内の競合を解消しても、次は近隣市町村との競合が待っている。魅力的な施設を残せなければ、いずれ近隣市町村との競争に負ける。
- 3) 東条文化会館は、既に周辺自治体の施設よりも優れた音響というセールスポイントがあるが、残り2施設にそれに見合うボテンシャルがあるか否かを議論された形跡がなく、片手落ちである。
- 4) 慎重な議論を経た結果、どれかを廃止しなければならないのであれば、判断となり得る情報を全て開示した上で、実際に利用する市民に投票で問うべきである。
- 5) 「加東市のような地方自治体に、音響の良いホールなど分不相応、必要ない」という意見があるが、そういった考え方には、富裕層、知識層の乖離を招くものであり、将来の税収面を考えれば眞の側面しかない。  
また、そのように文化的に未熟な地に立つ大学には、優秀な大学教員は集まらず、従って優秀な学生も育たない。  
教育大学を擁する「学園都市」としては、現在の赤字を解消することに固執するあまり、将来を棒に

ふるような政策は極力避けるべき。

#### (説明)

現在の利用者数をもとに廃止を決めて、どれか1館が廃止された後は条件が変わるために、利用者数が大きく動く可能性があります。大事なのは未来の利用者数であって、現在の利用者数ではありません。

市内の競合を解消しても、次は近隣市町村との競合が待っています。

きちんとホールのポテンシャルを見定め、統廃合後も積極的に活用を促せること、そしてそれによって収益が改善する展望が見えなければ、いずれは近隣市町村との競争に負けてしまうでしょう。

ホールは市民の活動の場としての役目も必要ですが、市民に文化的な体験を提供する、という重要な使命もあります。

しかし、世界に名前を馳せるような演奏家を、地方に呼ぶことは決して簡単ではありません。

コスミック・ホールには、既に国内外の有名演奏家を呼んできた実績があります。つまり、何もしなくとも、既に周辺自治体のホールよりも抜きん出た存在なのです。

しかし、その他の2ホールについて、それだけのポテンシャルがあるか否かを検討した形跡がありません。

どうしても、どれかを廃止しなければならないのであれば、現在どれが一番簡単に廃止できるかではなく、将来どれが一番市の発展に役立つかを比較するべきです。

それは、市が決める事ではなく、使用する住民が決めるべき事柄だと思います。

大変残念なことに、既に開かれた説明会の加東市側の回答などから、「とにかく今一番維持費に金がかかる東条文化会館を潰す。ホール自体のポテンシャルは高いが、加東市のような地方市にはこのようなホールはそもそも分不相応であり、必要ない」といった思想が透けて見えます。

しかし、この計画案のお陰で、比較的裕福な知識層や文化人の方々が、加東市に対して「文化を大切にしない地域」という印象を持ってしまったのではないかと思います。私はその悪影響を懸念しております。

ホールを大事にする、文化施設を大事にする層というのは、生きるために絶対に必要というわけではないものためにお金を払える、つまり比較的経済的に裕福な層です。

そのような、市民になってもらえば、コンスタントにそれなりの税金を払ってくれる人々が、「加東市は文化的に後退している」と思えば、もはや加東市に住みたいとは思わず、近隣市へ逃げてしまうかもしれません。このような層の家庭は、往々にして大変教育熱心ですから、「子供の教育のため」文化レベルの高い町に引っ越す、といった事は十分に有り得ます。

そうなれば、加東市は、比較的多く税金を払ってくれる市民を逃すことになります。

それは本当に、加東市の未来にとってプラスになるのでしょうか？

更に、加東市には兵庫教育大学があります。

大学の質を決めるのは、大学教員の優秀さですが、行政が文化に理解のない地域にわざわざ赴任したい大学教員というのは、ほとんどいません。何か新しいことをやろうにも、地域の理解がなく、一々面倒でサポートを受けられない事も分かっているからです。

そうなれば、実力のある大学教員は、もはや公募にも応募してこないでしょう。

その結果、学生への教育の質も落ちます。

兵庫教育大学は教員養成大学ですから、それはすなわち、未来の教員の質の低下です。

そうなれば、なにひとつ「未来ある子供達のために」などならないのではないでしょうか？

このことを知っている欧米の「学園都市」は、決して文化面で手を抜くことはしません。  
加東市は、「学園都市」であることを内外に掲げています。  
学園都市に必要なものは、まず、教育、文化に関心の高い「人々」です。  
そのような人が愛想をつかしてしまうような政策を行うのは、加東市の掲げている看板に反するのではないかでしょうか。

### (問題提起2)

「現在3館にある3つのホールの総座席数は1,678席で、北播磨近隣3市の平均の約1.3倍、県内の人口3万人から5万人の市町の平均の約1.5倍となり、人口規模の割に大変多い状況です。」という箇所について。

#### (まとめ)

- 1) 県内平均と比べるのはまったく意味がないばかりか、危険である。
- 2) 今後加東市の人口が増えれば、北播磨と比べて「大変多い」とは言えなくなることも予想される。また、30%多いのは「大変多い」が、15%少ないのは構わない、とする根拠は。
- 3) イベントは3館同時に行われるわけではないので、合計席数を比較しても意味がない。
- 4) 「周辺より多いか少ないか」を統廃合の検討の理由から外し、加東市が今後人口増加や人の往来の増加を望むのか否かも含めた、一からの再検討を強く提案する。

#### (説明)

第1に、この場合、県内平均と比べるのはまったく意味がないどころか危険です。  
なぜなら、あまりに遠方の自治体は、（市に税金を払ってくれる）住民の取り合いの競争には関係ないからです。  
県内平均にこだわって、周辺地域とのバランスを崩せば、市民人口がより条件の良い周辺地域に流出する恐れもあります。このため、県内平均との比較は危険です。  
もっと言えば、兵庫県は都市地区、島、平地部、山間、と非常に様々な地方があり、それぞれがその地方の特色を出そうと努力しています。その中で、周囲にあわせておけば良い、という思想は、むしろ地域を後退させるものだと思います。

第2に、1.3倍はたかだか30%多いだけであり、今後加東市の人口が増えれば、北播磨と比べて「大変多い」状況とは言えなくなる可能性があります。  
10年後、もし人口が増えていた場合、加東市は北播磨地区と比べて「日本有数のホールも自分達で壊し、文化施設は少ないし、文化のすんでいない地域だ」というレッテルを貼られることになるのではないか？ というのを危惧しております。

また、仮にコスミックホールが取り壊されれば、座席数／市民数の近隣地区との割合は0.85倍に転落することになります。それについては構わない、という判断でしょうか？  
30%多いのは「大変多い」が、15%少ないのは構わない、とする根拠をお知らせ下さい。

第3に、ホールというのは、市民だけが使用するものではありません。  
魅力的な催し物があれば、近隣市外から人を集めることができる施設です。  
にもかかわらず、座席数を市民数のみで割ることに意味があるのでしょうか？  
やるならば、マクドナルド等がおこなっているように、市内への往来数で割るべきではないか、と私は思います。  
たしかに日本の人口は減少傾向にありますが、その中で、いかに人の往来を増やし、地域を活性化させていくか、というのが全ての自治体の課題であると私は考えております。

これまでの議論を見ると、どうも加東市はその点はあまり重要視していない、というように見えるのですが…その点は如何なのでしょうか？

第4に、これらを比較するのに、合算座席数を持ち出していますが、それが指標となる、という根拠を示して下さい。

イベントは3館同時に行われるわけではありませんので、合計席数を比較しても意味がないように思います。

市民の方々も、「ホールが多すぎる」と思っておられる方が多数であるのは知っていますが、こうして実際に数字を見ると、本当にそうなのか？と私は逆に疑問を抱きました。

座席数／市民数の数にしても、私などは、周辺自治体の2倍、3倍くらい多いのだと思っておりました。そうであれば、たしかに「多すぎる」かも知れません。

しかし、この提示された数字をみると、むしろ、印象で「1市3館は多すぎる」と先に思い込み、それにあとづけで理由をつけようとしたら、思ったほど「多すぎる」数字にならなかった、というように見えます。

以上の観点から、「他自治体と比べて多いか少ないか」の議論はあまり信憑性がないので、統廃合の検討内容から外すことを提案します。

文化施設は、うまく機能すれば、住民の満足度につながりむしろ人口増加の要因になります。

加東市がこれから人口や人の往来を増やしていきたいのか、それとも縮小していきたいのか？

その議論も含め、まず「壊せ」ありきの議論を一から見直すことを提案します。

#### (問題提起3)

「「2学校施設」において、東条文化会館用地は東条地域小中一貫校の用地とするため、「東条文化会館」は廃止となります。」という箇所について。

##### (まとめ)

この項目から小中学校に関する一切の記述を削除することを強く提案する。

##### (説明)

別の施設をこの場所に移築するために、現在ある施設を取り壊す、というのは、3つの施設の比較検討とは全く関係のない話です。

また、前項で提案したとおり、東条地域小中一貫校計画については、一度白紙に戻し、一から検討すべきですので、この項目から小中学校に関する一切の記述を削除することを強く提案します。

#### (問題提起4)

##### 「やしろ国際学習塾

市内3館のうちで、ホール、控室等の部屋数、その他の会議室等の数が一番多く、規模的には最大で、利用者数や利用料金収入についても一番多い館となります。しかし、L.O.Cホールは舞台構造上開催可能な催しは限定されます」という箇所について。

##### (まとめ)

1) 料金収入については、正しい数字をつけて開示すべき。なお、もし一部のホールに市の補助があれば、その補助金額は料金収入には含めないこと。

2) 減免規定が各ホールで異なるため、利用者数、利用料金については、ホールを存続させるか否かの判断に使用してはならない。

#### (説明)

まず質問ですが、料金収入は、減免規定により加東市が減免した金額を差し引いた金額で比較しているのでしょうか？

もし満額で計算しているのであれば、そのような計算は意味がないかと思います。

たとえ、差引額で計算していたとしても、市側の補助があるとなれば、そのホールの使用率が上がるのには当然のことです。東条文化会館は、まったく減免されないため、利用者数、利用料金収入が最も少くなるのは当然と言えます。

本当に合理化をしたいのであれば、このように不公平な比較基準を、「施設を残すか否か」の判断に用いるのは、大変危険なことです。これらの基準を取り壊しホール選択の基準から外すことを提案します。

#### (問題提起5)

##### 「東条文化会館

ホールや舞台の構造上は、3館の中では一番『ホールらしいホール』と位置付けられ、「日本木管コンクール」など特色ある催しを開催していますが、利用者数は減少しています。

また、簡易な修繕では対応できない大規模な雨漏り、外壁の剥離などが発生しています。」

#### (まとめ)

1) 利用者数の定義を明確に。各公演の参加者も含むのであれば、公演開催ホールを市が決めている以上、公正な比較とは言えない。

2) 舞台構造上、L.O.Cホールでは大きな背景装置を用いる公演は難しい。「一番ホールらしいホール」ではなく、敢えて制限のあるホールを残す根拠は「統廃合前の利用者数」と「資金」と、いずれも文化に関係のない要因であり、学園都市加東市が文化面をないがしろにしている、との非難を免れない。

#### (説明)

利用者とは、個人でホールを借りる人の数でしょうか？ それとも、催し物に足を運ぶ観客の数を含むのでしょうか？

もしも後者であれば、どのホールで公演や会合などを行うかは加東市が決定している以上、ホールの集客効果を見積もる指標には使うべきではないと思います。

それぞれのホールは、別々の自治体が所有していれば、どれかが廃止されるとなれば、存続のために催し物を開催したり、集客努力を高めて競うことが出来ますが、同じ自治体に管理されている場合、自治体の意向によって、どれかのホールのみを優先して催し物や説明会などを開催することは簡単です。

そのように自治体側のバイアスがかかった統計を用いて「利用者が減っている」との判断を下しても、競争力の公平な比較にはなりません。

また、舞台構造上、やしろ国際学習塾では「開催可能な催しは限定される」とあります、東条文化会館ではそのような制限はありません。「一番ホールらしいホール」がなくなることで、舞台演劇やバレエなど子供から大人まで楽しめる演目が打てなくなる懸念はないのでしょうか。具体的に東条文化会館でこれまでに行われた講演の中で、どのようなものが難しくなるのか、例を挙げて市民に説明するべきではないでしょうか。

さらに、その上で、それらの演目が打てなくなつたとしても、敢えて東条文化会館を取り壊すとした根拠をご説明下さい。

加東市は「学園都市」であることを内外に示しています。欧米各国の例を見ても、「学園都市」を宣言する自治体が、文化事業を疎かにしている例などありません。

どのような「文化的理由」で、敢えて制限の多いホールを残すのか、明確に説明して下さい。

以上をふまえ、利用者数については、何を「利用者」と定義するのかを明確にした上で、注意深い、公正な調査を強く提案します。

#### (問題提起6)

「また、簡易な修繕では対応できない大規模な雨漏り、外壁の剥離などが発生しています。」という部分について。

##### (まとめ)

もし東条文化会館を修繕するとしたら、総額いくらかかるのか？ やしろ国際学習塾の修繕費と並べて、内訳と共に示して欲しい。

大規模な修繕が必要になってしまったのは、加東市管轄になって以来、市がただの一度もメンテナンスを行わなかったからである。

したがって、修繕費用の高さを廃止の理由にしてはならない。

##### (説明)

もし東条文化会館を修繕したら、総額いくらになるのでしょうか？

東条文化会館を取り壊す理由が、傷みがひどいから、ということであるようですが、計画書をみれば、やしろ国際学習塾も10年間で8億円の予算が組まれています。

これに比べて、いくら多くかかるのでしょうか？（借地代は別として）

どのような修理にいくらかかるのか、内訳とともに、それぞれ東条文化会館とやしろ国際学習塾の場合を併記した表を発表して下さい。

東条町管轄であった頃には周期的な修繕を行っていたのに、加東市になった途端にメンテナンスが止まっている、という報告があります。他の2つの館がコスミック・ホールほど傷んでいない理由は、加東市になってからもメンテナンスが行われていたから、というだけに過ぎません。

これは行政が最初からコスミック・ホールのみを見捨てていた、という事実を語っているにすぎず、これを理由にされでは、これまで大事にコスミック・ホールを育ててきた東条地区住民が納得できないのも当然かと思います。

また、あまりにも急な話であり、コスミック・ホールを守りたいと願う人たちが、修繕費用の募金などの活動を行う時間的余地も与えられていません。このこともまた、市民の怒りを誘発する原因になっています。

そもそもこれほど話が急になってしまったのは、コスミック・ホールを壊し、その跡地に一刻も早く中学校を移転しよう、という計画のとばっちりを受けてしまったからです。

中学校移転地により最適な場所が見つかるのであれば、取り壊すか否かについては、もっと時間をかけて議論できるはずです。

したがって、修繕費用については、現時点での統廃合の条件から外し、時間かけて多角的に議論することを強く提案します。

#### (問題提起7)

「一方、用地の大半が借地であることなどから、「東条地域小中一貫校」が東条文化会館 用地以外になった場合でも、廃止として取り壊し、借地の解消を図ることを優先します。」

#### (まとめ)

借地の解消が必要であるならば、何故もっと早くに動かなかったのか？

その問題について市民に知らせず、市民側が解決にむけて何らかの行動を起こす時間も与えずに廃止取り壊しの議論に持ち込むのは、これまでコスミック・ホールを支えてきた人々の努力と信頼に対する重大な裏切りである。

したがって、提案されたスケジュールで廃止を行うのは議論不足のため不可能であり、計画の見直しを強く提案する。

#### (説明)

東条文化会館は、借地であることが特に問題視されていますが、東条小中学校の移設で借地解消の交渉ができると考えているのであれば、何故これまで借地のままで放っておいたのでしょうか？

借地解消の必要があるのであれば、住民に予めそのことを知らせ、住民がホール存続の道がないか模索する機会を与えるなど、もっと時間をかけた議論が必要だったはずです。

「借地で維持費用がかかるから」というのは、廃止の理由ではなく、加東市が東条文化会館廃止の選択を何年も前からしていたことの結果にすぎませんが、その選択を住民に知らせずに行うのは住民への裏切りです。

従って、提案されたスケジュールで廃止を行うのは議論不足のため不可能であり、計画の見直しを強く提案します。

以上

加東市 [REDACTED] 在住の [REDACTED] です 電話番号は [REDACTED] です。

パブリックコメント (NO1)

加東市の広報 (p 3, 4)、適正配置計画 (案) を読んで、企画政策課へ

「公共施設適正配置計画 (案)」について。

広報には『「未来ある子どもたちのために」新しい学校のかたち 小中一貫教育を推進します』

『10年、15年先の加東の子どもたちが、大きな夢を持ちながら自らの学びや他者との学びあいによって心身とも、たくましく成長できるように』と計画する、あらたな教育のかたちです。とあります、

小中一貫校でなくても、現状でも、小・中学校の教師は上記の波線部については熱心に取り組んでいます。  
(思ってない教師はいない)

『小中一貫校の利点』として7項目を挙げているが根拠が不明瞭です。正しいかどうかは不明です。

根拠の無い推測？ そう判断した根拠が分かりません。根拠・データ・論文・研究結果を示してありませんね。

① 「児童生徒の成長を見通した義務教育が行ないやすい。」とあるが・・・

すでに小中学校の先生は「児童・生徒の成長を見通した義務教育を行なっていると思います。」

② 「小・中学校の教職員が互いに認め合い、学びあうことで『義務教育 9 年間で児童生徒を育てる。』という意識が共有できる。」とあるが・・・

加東市では、すでに、小中連携を進めており、各教科での小中合同の授業研究会、小中合同の「学力向上プロジェクト」、小中連携担当者会等を年に何回も実施しています。小中の職員は、一貫校でなくても、すでに認め合い、学びあっています。生活指導担当者会や随時、細やかな情報交換をしています。人事異動で対応できると思います。

③ 義務教育 9 年間の系統性・連続性のある教育課程を編成することで、学習意欲の向上が期待できる。とあるが・・・

「9年間の系統性・連続性のある教育課程を編成する。」ことは、当然、全教職員が行なっているはずです。これを守っていかなければ、文科省の「学習指導要領」を守っていないことになり、教職員としては失格です。  
(教科書の内容を教えない教師はいないと思います。)

④ 小中学校に配置された教職員が、互いに免許を有する教科において乗り入れ授業を行なうなど、専門的な指導を充実拡大できる。」とあるが・・・

中学校教師が小学校へ行けば、「免許を有する教科においては、専門的な指導を充実拡大できる。」例はあったと思う。しかし、中学校の教師と比較して、8教科を満遍なく研究し、指導してきた小学校の教師が、中学校へ行って「専門的な指導を充実拡大できる」とはいえないと思う。その前例もほとんど無いと思う。特に英語や数学、理科は非常に困難でしょう。

⑤ 「人間関係の固定化等単学級の課題解決を図り、児童間の多様な学びや活動を図ることで、豊かな人間性や社会性を育むことが出来る。」とあるが・・・

単学級が原因となり、人間関係が固定化等の課題は本当にあるのか？ 現場の教職員や保護者はそう感じているのか？ましてそのような、研究や、調査や、研究論文はあるのですか？あれば教えてほしいです。むしろ1クラスが39人とかのクラスよりも、20人や25人くらいのクラス（適正規模）のほうが、一人ひとりにきめ細やかな指導ができる、多様な学びや活動、人間性や社会性を育むことができると思います。諸外国では1クラスが小学校が22人、中学校で23人レベルです。（文科省HPより。）

きめ細かな行き届いた教育には1学級の人数はある程度少ないほうが良いと思う。多くて30人だと思いま

す。小規模校で育つ方が幸せと思う。複式学級が確定になった時点を考えればよいと思う。

⑥「小学校から中学校進学に対する生徒指導上の諸問題」「中1ギャップ」等の軽減が期待できる。」とあるが・・・  
「期待できる」だけで、ものごとを変えてはいけません。甘い幻想かも知れません。

現在でも、市内の小中学校では、小学校6年生の旧担任と、新中学校1年生担当者は綿密な情報交換を行なっています。乳児、幼児、児童、中学生、高校生と、発達段階を登るし従って次々と問題は出てきて当たり前です。家庭と連携して、発達段階に応じた経験豊富な専門的な教師が指導・相談するのがベストでしょう。

⑦「中学生が下級生である小学生との日常のふれあいを通じ、様々なことを教えることで自尊感情を高めることができる。」とあるが・・・

「～できる。」とあるが、これも甘い幻想・期待のみかも知れません。中学生が小学生と日常触れ合るのは、兄弟や限られた地域くらいではないですか？地域や町内会、社会教育にお願いし期待するほうが「地域で地域の子どもを育てる」と言う意味でもいいと思います。

卷末の「小中学校を取り巻く課題を解決できる点も・・・」とあるが・・・

これは小中一貫校推進ありきで、無理やりこじつけた詭弁ではないのでしょうか？

ところで、長年単学級で育ってきた方々、鴨川、三草、米田、福田地区の中学生、高校生、20代、30代、・・・の人たちは「単学級による人間関係の固定化等」で困られたり、人間性が悪くなったりしているのでしょうか？むしろ、1クラスの人数が少ないおかげで、先生との人間的なふれあいの時間が多くとれ、困ったときにはよりきめ細やかな指導を受けてきたのではないでしょうか。私は1学級の児童数の少ない学校で育った人は幸せだと常々思っています。広報の4ページにある、「円滑なレベルアップ、きめ細やかな指導、最適な学び」は少人数学級の方が、より実施しやすい環境だと思います。「最適な学び」を目指して、日々現場で教育している教職員の意見が反映されていない案だと感じました。実際に現場の職員は新聞発表前日にはじめて聞きました。小中学校の校長に知らされたのも新聞発表の直前とも聞いています。従って現場の教職員・校長の意見は全く反映されていない案であるのが残念です。現場の意見を参考にして下さい。

さらに、小中一貫教育にするに当たってのデメリットについては「通学手段の確保」以外にはほとんど触れていないのが気になります。例えば、バス通学では、不登校や遅刻をしがちな生徒への対応が困難などの問題が残るでしょう。学校規模が大きくなれば1クラスの児童数が増え、それに伴い発達障害など、個別の支援を必要とする児童も増えます。きめ細やかな指導をするには、1クラスの人数の理想は20人前後と思っています。

兵教大付属小学校でも児童生徒数は23人から最大で34人です。(付属小HPより) 原案通りの小中一貫になると、39人40人のすし詰め状態のクラスが増える可能性から逃げることができなくなります。自分が保護者なら、クラス10人や20数人の学校と40人の学校と、どちらを選ぶでしょうか？小規模クラスのありがたい特質を残し、教育環境を充実させるためにも、教育委員会教育総務課と市の企画政策課の再考をお願い申し上げます。

蛇足ですが、加東市立の学校の管理職や教諭の人事費は、加東市でなく、兵庫県が出していますよね。だから、加東市の小中学校の教職員数の増減は、加東市の財政には大きく影響しないと思いますが？？

「未來ある子どもたちのため」に拙い意見ではありますが、参考にしていただければ幸いです。

私は、加東市 [REDACTED] です。電話番号は [REDACTED] です。

パブリックコメント (NO 2)

- ①「小中一貫教育推進案」に反対します。
- ②香美町の例（下記資料）にもあるように、案の作成に至る会議録を公表してください。
- ③加東市教育委員会会議録には、小中一貫推進に関する記述がほとんど無いように思います。会議録にも記載されてない内容を、いきなり市の案として提案するのは無謀だと思います。取り下げてください。

反対理由

- ①地域、保護者、PTA、現場の教職員、校長会、市会議員等に対する意向調査（アンケート等）を実施せずに作成した案であるから反対します。
- ②廃校と統合を伴う小中一貫校推進と、現在の小規模校の良さ・強みを活かした、きめ細やかな教育の現状を継続することの比較がなされていない。理想・希望を述べたばかりの案と思う。校長ですら、案を知ったのは新聞報道直前であり、不自然すぎるため反対します。
- ③小中一貫教育を推進するにあたっての克服すべき項目の検討がなされてなく、見切り発車であるので反対します。
- ④廃校と統合を伴う小中一貫校推進を何時からどのような人々が話し合ったのかが不明である。公表願います。
- ⑤教育委員会の議事録にも一貫校推進について検討したような記録がほとんど無い。どうしてですか？こんな大事なことを教育委員さんで検討していないのですか？もっと長所・短所を検討してから案を出すべきと思うので反対します。
- ⑥国も一貫校を強制はしていない。小規模校の利点を活かした教育を続けていくことも可能としているのに、どうして比較検討していないのですか？従って案に反対します。
- ⑦不登校児童の割合、問題行動を起こす児童の割合、全国学力テストの結果を複数クラスの学校と単クラスの学校とを比較して、どちらがきめ細かな教育ができるか、未来の子どもたちのためにどちらがふさわしいかを、教育委員さん、地域、保護者、PTA、現場の教職員、校長会、市会議員さんなどで検討してください。現段階では時期尚早であり原案に反対します。
- ⑧香美町では、2年半の審議を行い、「教育環境についてのアンケート」（意向調査）も2回行ない、現在の学校を存続させと結論を出しています。加東市も香美町を参考にしてください。
- ⑨小中一貫化によって市の財政面でどれだけのメリットがあるのか試算はされているのか不明です。従って反対します。

以下は参考資料です。（香美町のホームページより）

\*大字、下線部、網掛け部だけでも読んでください。

少子化の進行を背景とした  
香美町の教育環境のあり方について  
答申書  
平成26年11月10日  
香美町教育委員会

1 はじめに

平成23年5月、次世代を担う子どもたちにとって望ましい学校運営や学習集団のあるべき姿が問われている中にあって、本町の学校教育を取り巻く環境や地理的条件及び歴史等も踏まえ、小・中学校の適正配置や再編を含めた統廃合を検討するため、香美町長から「少子化の進行を背景とした教育環境の

## あり方」についての諮問を受けました。

### 1 中間答申の要旨

(1) **中間（第一次）答申の要旨（平成23年12月22日）** 中間（第一次）答申では、「小・中学校の適正配置や再編を含めた統廃合のあり方」を審議する上で、保護者の意思を十分尊重し、地域の実情や住民の意見を反映するため意向調査を実施し、調査結果を分析する。その上で教育環境会議を開催し住民説明を行い、保護者、地域住民の意見を十分聞き答申する必要があるため、相当の期間にわたり継続審議し、合議の得られた内容を数次に分けて答申することとし、子どもや地域住民の生命を預かる場所として、「学校施設の耐震化」について、整備の推進を求める内容を答申しました。

### (2) **中間（第二次）答申の要旨（平成25年10月25日）**

複式学級を有し、校舎の耐震化が終わっていない長井、余部小学校の2校について、平成25年度に前倒しで教育環境会議を開催し、保護者と地域住民の意向を確認したところ、当日のアンケート結果で「小規模校の良さを活かす取組を見ていきたい」が、余部地区72.2%、長井地区75%でした。学校耐震化については、平成25年8月に町長が、「学校施設は、子どもたちにとって一日の多くの部分を過ごす学習や生活の場でもあるため、児童の安全、安心の確保を第一に考え、長井小学校、余部小学校についても学校の統廃合の検討とは区分して耐震化を進める。また、体育館についても財政を考慮しながら耐震化について順次進めていく」という英断を下しました。これを受け、教育委員会としても、この方向で速やかにかつ確実に実現することを望むと答申しました。

中間（第二次）答申では、子どもたちの生きる力を育成するため、平成25年度から始めた「香美町学校間スーパー連携チャレンジプラン・学力向上ステップアップ授業」等による子ども、学校、地域の変化。年間約1,000時間の残りの970時間の授業への波及効果。教師の意識改革。各学校で精一杯取り組む、個に応じたきめ細かな指導や魅力ある教育に対する保護者や地域住民の評価を受けるための取組。これらの取組を推進した上で教育環境会議を開催し、保護者、地域の皆さんとの意見を踏まえて判断する中で「小学校の再編を含めた統廃合のあり方」について、答申をまとめていきたい。学校には、それぞれ長い歴史があり、地域のシンボルとして住民から親しまれ愛されていること等も踏まえ、多くのご意見をいただきながら適切な答申を尊き出すことができるよう精力的に審議を進めていきたいと答申しました。

### 2 答申

#### (1) 答申に向けて

香美町長から受けた「少子化の進行を背景とした教育環境のあり方」についての諮問に関して、相当の期間にわたり継続審議し、上記のように2回にわたり中間答申を行いました。さらに「小・中学校の適正配置や再編を含めた統廃合のあり方」を審議する上で、保護者の意思を十分尊重し、地域の実情や住民の意見を反映するため意向調査を実施し、調査結果の分析を行いました。その上で教育環境会議を開催し、保護者や地域住民の意見把握を行ってきました。

#### (2) 意向調査で明らかになった課題と対策

一回目の意向調査結果や教育環境会議を通じてわかったことは、香美町の小・中学校は、地域に根ざした特色ある教育活動を行い、保護者、地域住民からの信頼も高く、学校への関わりの意識も高く持つていただいているということです。小規模校では、少人数指導が成立しており、学力の定着もよく、学校経営も安定しております。ほとんどの保護者は、子どもたちの教育環境について、各学校は学習・生活の場としてふさわしい環境を整えており、子どもたちは明るく元気に育っていると感じています。しかし、学齢が高くなるにつれて成長に伴う課題が生じることもあり、学校生活について悩みや不安を多々とも感

じている保護者も比較的多くおられることがわかりました。悩みや不安の主な内容としては、「友だちとの関係」や「学習や成績」があげられていました。

各学校については、教育活動として決定的なマイナス要因はあげられていませんが、特に少人数で小規模の学校について子どもたちの将来を見据えたとき、保護者や町民の中には、将来的には学校再編（統廃合）もやむを得ないと感じている人もおられます。そのように判断する理由としては、「切磋琢磨の機会の不足」「社会性や生活力の不足」「人間関係の固定化、序列化によるいじめの心配」「集団学習の不足」「部活動の選択肢が少ない」など、将来の子どもに対する社会性などの不安面があげられていました。複式学級を有する小学校の保護者は、実施していない小学校の保護者に比べて複式学級や少人数学級・指導の良さを理解していますが、学級の人数が少ないとことにより一般的にいわれている小規模校の上記のようなマイナス面の懸念、不安をもっていることもわかりました。これらのことから分析すると、今学校に求められているのは、学級の人数が少ないとから学校の再編・統廃合という単純な選択肢ではなく、現在の学校の良さを生かしながら保護者や町民が抱いている現状に対する不安を取り除く対策を講じることが早急な課題であると判断しました。その対策とは、複式学級や少人数学級・指導の良さを生かしながら、「子どもたちの生きる力の育成」に向けた授業の工夫・改善、不足する多人数授業や集団学習の実施です。学校間スーパー連携チャレンジプランはこのような課題認識の上に実施しました。

### （3）教育環境会議で確認できたこと

平成26年2月に実施した「教育環境についてのアンケート」（意向調査）では、チャレンジプランについて、実施する学校園の保護者の8割以上が「意義ある取組と思う」と高く評価し、継続実施を希望しています。学校の維持意向については、複式学級を有する校区でも「学校を維持してほしい」「現在の取組を見て判断したい」が3分の2以上を占めており、現在の取組を注視していることがうかがえます。小・中学校に対する期待も、「安定的な人間関係による温かい雰囲気」を大事にしながら、「何ごとにも主体的、積極的に取り組む姿勢の育成」「きめ細かい個別指導による学力向上」が多くあげられています。平成26年8月に小規模小・中学校を対象に開催した教育環境会議では、意向調査の結果を踏まえ、学校のあり方についての教育委員会の方針、各小・中学校の教育ビジョンや取組内容について説明した上で意見交換を行い、会議終了時にアンケートを実施しました。その結果については、香住第二中学校区72%、小代中学校区93%、柴山小学校区100%、村岡中学校区93%が「存続希望」としており、意見の中からも、今の学校に対する決定的なマイナス要因はなく、子どもたちの学び舎、地域の拠り所として学校に対する信頼と期待がうかがえました。

しかし、学校の取組内容や活動について、保護者や町民にしっかりと伝わり、じゅうぶん理解されているとはいえない学校もあることがわかりました。情報発信において、校区で大きな違いがあるため、今後いつそう地域に向けて開かれた学校づくりが求められていることも、意向調査等から明らかになりました。保護者や町民は、学校を信頼し、その取組を高く評価していますが、一方で、保護者が気軽に相談できる体制づくりやきめ細かな個別応じた指導による学力向上を期待しています。

### （4）学校統廃合のあり方について（結論）

これらを踏まえる中で、現在の学校を存続し、しっかりと子どもたちの教育を行っていくことと同時に、より積極的な情報提供による学校理解が求められていると確認しました。したがって、少人数、小規模校であっても、将来の地域の担い手づくりを視野に入れて、たくましい人間づくりを目指し、小・中学校の再編を含めた統廃合については、児童生徒数の将来予測のできる今後5年間を見通して、現在の学校を存続させ、学校への理解や信頼を受けながら魅力ある学校づくりを進めていくことが望ましいと判断します。

### （5）学校運営のあり方と教育の方向性について

これから時代に求められるのは、さまざまな課題を受け止め、自分で考え行動できる、たくましい

人づくりです。小規模校では、人数が少ないので競争相手がないくて、社会性やたくましさが育たないのではないかと一般的に不安に思われていますが、子どもたちに必要なのは自分に打ち勝つ力です。子どもたち一人一人に丁寧に、個々に応じた目標をあげさせて、挑戦させ、最後までしっかりとやりとげさせる。個に焦点をあて、個を大事にして個を磨く、そういうきめ細かい教育が求められており、そのような教育を行なやすいのは、少人数、小規模校であるといえます。香美町の学校は、ほとんどが小規模校ですが、少人数のよさを生かした教育、地域の実情に応じて、小規模校の特色・よさを生かした香美町ならではの魅力あるすばらしい学校園づくりを、学校関係者が一丸となり、保護者、地域住民とともに進めていける可能性を秘めていると判断しました。小規模校の強みをさらに發揮しながら、小規模校の弱み・短所と一般的にいわれている人間関係の固定化・序列化、社会性の不足などのマイナス面を克服するため、学校間連携による合同授業により集団学習や多人数教育の機会をつくる教育実践、公民館における体験交流学習、個人差に応じたきめ細かな教育を行うことにより、地域を成育基盤として、多様で変化の激しいこれからの中を生き抜く能力（自立・志・努力）をもち、地域を担う人づくりを目指していきます。

#### （6）今後の進め方について

**学校教育についての点検** 香美町の小・中学校については、児童生徒数の将来予測できる今後5年間を見通して、現在の学校の枠組みで魅力ある学校づくりを進めていくこととしますが、子どもたちの教育環境については、将来にわたり常に点検していくことが求められます。また、今後魅力ある学校づくりを進める中で、学校の教育内容や活動についての理解を得ていくことも必要です。これらをあわせて考えたとき、各学校は平成27年度から毎年、保護者や地域住民を対象に開催する「学校版教育環境会議（仮称）」（※注1）において、自校のビジョンや教育内容、活動などを示した上で、当該学校が魅力のある学校か、地域の特色ある教育を行っているか、また、子どもを預けて大丈夫か、信頼できるかなど、学校理解の評価を受け、学校存続についての判断を仰いでいくことが望ましいといえます。上記の会議において、保護者等が学校を高く評価し信頼関係が続いている場合は、学校を存続させていきます。しかし、保護者等の多数が他校との統合を望ましいとし、統合やむなしとの判断を下した場合は、保護者等の総意（※注2）をまとめた上で、町長に対して当該学校の廃止について、代表者からの書面による意思表示を行うことになります。このとき、町長はこれを受理し、今後設置される「総合教育会議」（※注3）に当該学校の廃止について諮り、廃止が望ましいと判断した場合は、廃止についての方針を決定することとします。廃止の方針が決まった場合には、教育委員会事務局が中心になり再編すべき相手校の検討に入ることとなります。このような手続きにより、学校を存続する場合にも、しない場合にも、学校は常に保護者等の理解を真摯に得ていくことが必要であると考えます。

（7）付記 最後に、学校の存続にあたっては、日本全体が人口減に転じていく中で、香美町における少子化、子どもの数の維持対策について、町の施策として積極的な展開がなされることを切望します。

**※注1 学校版教育環境会議（仮称）**：各学校が校区の保護者や地域住民を対象に主催する会議で、毎年一定の時期に開催し、当該学校の教育ビジョンや経営方針、教育内容、教育実践などについて説明した上で、当該学校に対する理解を得ているか確認する。

**※注2 保護者等の総意**：上記の学校版教育環境会議（仮称）に出席した保護者や地域住民の三分の二以上をもって総意とする。

**※注3 総合教育会議**：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）」（以下「改正法」という。）が、平成26年6月20日に公布され、平成27年4月1日から施行される。この改正法によりすべての地方公共団体に設置を義務づけられる会議で、首長及び教育委員会により構成し、教育に関する大綱の策定、教育を行うための諸条件の整備など、教育行政に関する重要事項を決定する。会議は、首長が招集する。

加東市 [REDACTED] 在住の [REDACTED] です 電話番号は [REDACTED] です。

#### パブリックコメント (NO 3)

小中一貫校の案に反対の立場で意見・質問を述べ質問させていただきます。従って、コスミックホール跡地に一貫校建設にも反対です。

①国際学習塾での児童生徒数の推移のグラフに疑問を感じます。社地区のグラフが他地区と違つて、縦軸が0から始まつていなかつた。棒グラフの面積では誤解勘違いを招きます。市全体で今から26年後で30%減る程度ですね？きめ細かな学習環境がより良くなると思います。

②小学校が統合される（1クラスの学級児童数が増える、10人・20人→39人の可能性あり）ことに対して

小中一貫の利点、可能性、夢は、たくさん挙げてあります、「方針であり、期待できる」でした。

学級児童数が増えると不利な点もあるでしょう。1人の教師で10数人見ると、1人の教師で39人見ると比べて、どちらがきめ細かく丁寧な指導ができる、学力向上、自尊感情の醸成、不登校対策に効果があるか比較してください。きめ細かく丁寧な指導には学級児童数を減らすのが第一だと思います。

先日、鴨川小学校児童が社小へ来ました。「鴨川小の良いところは？」と聞かれて答えたのは、まず「理科の実験が1人で1つできること。」と言いました。40人の学級でそれを試みると「どうしたらしいの？分かれへん、教えて～」と行列ができそうになります。話に割り込んででも、質問してくる児童も沢山出できます。少人数クラスは一人ひとりに、数倍の時間をかけた教育が可能な素晴らしい環境だと思います。

特別支援学級でも、定員いっぱいの7人8人を1人の教師で指導しないといけない可能性が出てきます。児童単独で交流授業に行かなければならぬ可能性が高くなるはずです。「きめ細かな」は困難度が増します。

③不登校の主要な第1の原因が中1ギャップなのでしょうか？不登校担当者会では各校の人数・理由を報告していますが、主要な原因が中1ギャップである児童は、市内で何人くらい報告されていますか？いないのではありませんか。

不登校の理由は、もっと他に原因があり、精神的・情緒的なものが多いのではないでしょうか？

④ 全国学力調査の結果で、1クラス40人近い大きな学校と1クラス十数人の学校を比較してありますか？公表は出来ないでしようが。本案の作成に関わった方は比較されましたでしょうか？？

（小規模校のほうが成績はいいのではないでしようか？社小学校や、滝野東小学校と他の7つの小規模校を比較して検討してください。）

⑤ 加東市と同じ過疎化問題を抱えた、香美町ホームページの教育方針と比較しましょう。

住民の意見を2回もアンケートで聞き、統合せず、少人数の利点を活かす教育をするそうです!!

加東市とは、似た状況ですが、反対の方針決定です。決定手順も違うのでしょうか？約2年半をかけて、保護者、地域住民への2度の意向調査や長期間にわたる審議、校区ごとの教育環境会議での意見交換を踏まえて結論を出しています。審議の内容も詳細にHPに記載されています。加東市とは違います。

⑥ 先日の国際学習塾でのフォーラムで、事例として紹介された県内2校についてですが、元から小中学校が隣りでくっついていた小野市の河合小・中とは条件が違います。

姫路中心部にあり、お城の前の、姫路駅の北の白鷺（はくろ）小学校中学校とも条件が全く違うと思います。2例とも、通学距離は遠くならない環境ではないでしょうか？バス通学はありえない校区です。この2校は、わざわざくっつけた小中一貫化ではありません。元々隣接していたのではないのでしょうか？

ちなみに、2013年度の白鷺小学校のクラス規模は、1～4年生は30人前後、5年生は36人、6年生は38人です。クラス替えのある大きな学校の現状です。（クラスの児童数が多い）

近隣の兵教大付属小学校でも児童生徒数は23人から最大で34人です。（HPより）原案通りの小中一貫になると、39人40人のすし詰め状態のクラスが増える可能性から逃げることができなくなります。（現在も39人はあります）自分が保護者なら、クラス10人や20数人の学校と40人の学校と、どちらを選ぶでしょうか？

加東市の東条の東・西、福田、米田、三草、鳴川、滝野南の6小学校は、統合し一貫化されると、今までどおりの、きめ細かく丁寧な指導をしてもらえるか不安です。中学校校区は、遠距離化と、クラス児童数が増え、一番不安です。それよりも小規模校の利点を活かして地域と密着して、特色ある指導を進めていくべきと考えます。

蛇足ですが、加東市立の学校の管理職や教諭の人事費は、加東市でなく、兵庫県が出していますよね。だから、加東市の小中学校の教職員数の増減は、加東市の財政には影響しないと思いますが??

未来ある子どもたちのため」に拘り意見ではありますが、参考にしていただければ幸いです。と言うことで、加東市での、現時点での、小中一貫には反対します。

意見、考えた結論は正反対ですが、未来の加東市の子どもたちのためにと言う思い気持ちは同じですのでお許し下さい。

## 参考資料

① 香美町ホームページより 抜粋

### 「香美町の教育環境のあり方」について答申

平成23年5月、香美町の学校教育を取り巻く環境や地理的条件及び歴史等も踏まえ、子どもたちが安心して楽しく学べる教育環境をめざして、小・中学校の適正配置や再編を含めた統廃合を検討するため、香美町長から「少子化の進行を背景とした教育環境のあり方」についての諮問を受けました。

香美町教育委員会では、保護者、地域住民への2度の意向調査や長期間にわたる審議、校区ごとの教育環境会議での意見交換を踏まえて、このたび最終答申をとりまとめ、町長に提出いたしました。

### 香美町の学校のあり方について

学校統廃合は子どもの数ではなく、魅力あるすばらしい学校だから残します！

小規模校の良さを生かし、子どもたち一人一人を輝かせる教育をさらに充実していきます。

不足する多人数授業や集団学習の課題を克服する『学校間スーパー連携チャレンジプラン』に取り組み、小

規模校の可能性に挑戦しています。

香美町内の小中学校の統廃合について、平成23年5月に香美町長から小中学校の適正配置や再編を含めた統廃合を検討するよう諮問を受けました。

香美町教育委員会では、地域住民や保護者から学校の運営に対する評価や統廃合に関する意見を十分聞くため、校区ごとに意向調査などを行い分析した上で、教育環境会議を開催して香美町ならではの魅力ある学校のあり方について検討を重ねてきました。

その結果、「今後5年間は現在の学校を存続させながら魅力ある学校づくりを進める」と明記した最終答申書を平成26年11月10日に提出しました。

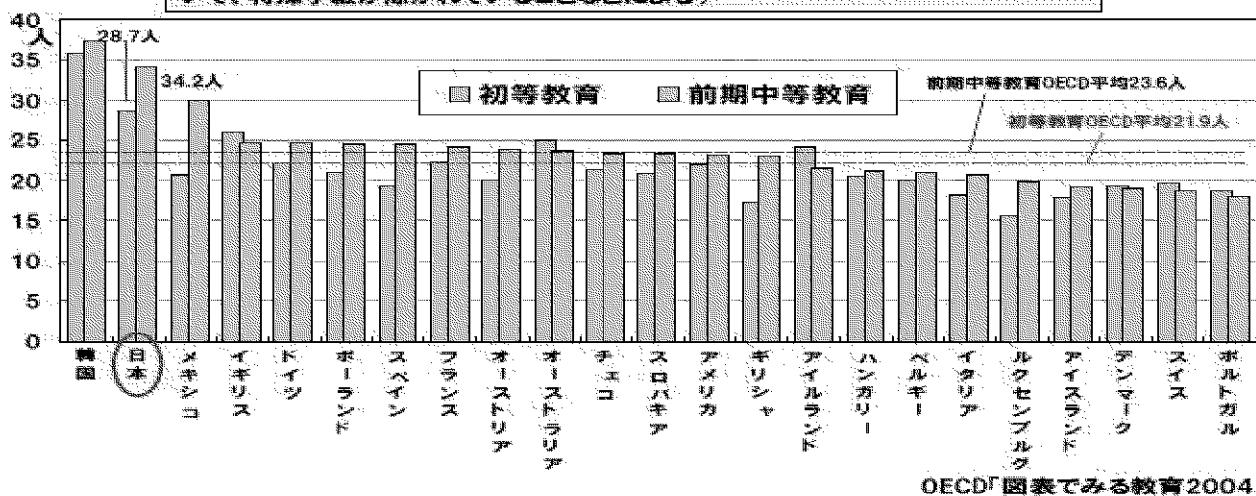
最終答申を受け浜上町長は答申を尊重し、学校統廃合せず、現在の学校を維持する大きな決断をしました。

これまで以上に学校の取組内容や活動を保護者や町民にしっかりと伝え、学校への理解や信頼を受けながら、魅力ある学校園づくりをさらに進めています。

② 文科省ホームページより 拠録

## 1 学級当たり児童生徒数 [国際比較]

国公立学校での平均学級規模(2002年)は、初等教育28.7人、前期中等教育34.2人であり、OECD平均を上回っており、OECD加盟国中もっとも高い国の一つ。(日本の数値が、学校基本調査と異なっているのが、これは各国間での比較において、特殊学級が除かれていることなどによる)



小規模クラスのありがたい特質を残し、教育環境を充実させるためにも、教育委員会教育総務課と市の企画政策課の再考をお願い申し上げます。

加東市長様

『加東市公共施設適正化計画』に対するパブリックコメント

このたび2月5日の市民説明会に出席させていただき、また広報加東や各資料を拝見して申し上げたいことがあり、コメントいたします。

思いついたまま書かせていただきますので、順序についてはご容赦ください。

『公共施設適正化計画(案) 第3章 4. 公共施設適正配置計画の推進』において、『施設の統廃合など公共施設の適正化の取組は、今まであったものを取り壊す…(中略)…『小中一貫教育』の推進を打ち出し、未来ある子どもたちの教育環境を充実するための取組を進めることとしていますので、…(後略)。』とあります  
が読解力の乏しい私には、小中一貫教育を錦の御旗に施設の廃止や統合を慎重に捕らえる意見を蔑ろにしようとしているとしか読み取れません。

そもそも『公共施設適正化計画(案) 第1章 3. 公共施設適正配置計画の基本方針』の中で『地域バランス重視からの転換』と題され言及されていることや記載箇所を特定できませんが過去の経緯や歴史にとらわれず人口の密集度合いに比例させた施設の配置を提言していることなどは無機質であまりにも机上での策定のように思えます。過去の経緯や歴史を顧みずなされるものが『行政』と呼べるのでしょ

うか？市長の冒頭の挨拶の中で中東での悲劇を嘆かれていきましたが、そもそもは地域性や民族・宗派、そして過去のいきさつを無視した欧米による国境線の策定・ご都合主義による政治的介入が今回の悲劇の根源にあることを鑑みれば、今 行政がなされようとしておられることは大きな過ちと言わざるをえません。

説明会の意見中で手続きについての言及がありました。特に「小中一貫教育」については特に議論のなされないまま、公共施設適正化計画の流れの中進められようとしているのではと危惧します。また「小中一貫教育」と「小中一貫校」の議論が途中で摩り替わり、子どもたちはもとより保護者やこれからの子どもたちとその保護者の持つ不安に対してのケアを如何にして行っていくのかの説明が無かったのが残念です。また、一貫校ありきの一貫教育論議には、到底賛同しかねます。

東条文化会館(コスマックホール)は、地元住民が全国に自慢できる施設です。H25 年まで千葉に住んでいた私が関東の知人に加東市を紹介する際「毎年、木管コンクールが開催される音響の素晴らしいホール」というのが自慢でした。また、元東条町民の顛履目かもしませんが加東市に全国に向けて紹介するようなものは他に「トータス松本やオリックスの森脇監督(当時は王監督入院中 SB の代理監督だった)の通った社高校(2人とも出身は西脇市)」くらいしかないと私は思います。そんな貴重な財産をコストや老朽化を口実に取壊すのは、身を切られる思いです。また日本木管コンクール等を開かれていることを考えるとコスマックホールは加東市の財産

というだけでなく兵庫県の中でも希有な施設であり、加東市から兵庫県やその他の都道府県に対してアピールできる発信基地であると思えます。

ライフサイクルコストの考え方も当然検討されるべき視点であるとは思います。しかしながら、

『山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく★元気なまち 加東』とは、ただの言葉の羅列なのでしょうか？

『～未来ある子どもたちのために～』と謳いながらもコストを重視するあまり、主軸であるべき

○どうやったら、これまで培われてきた文化を継承できるのか…

○新しい文化を育んでいくにはどうしたらいいのか…

○子どもたちのために、今何をすべきなのか…

といった、構想や方針がないまま私たちの世代の都合で次の加東市を担う子どもたちの世代やその次の世代に大きな影響を及ぼす教育や文化を軽んじているように思えます。

コスト管理はすべきことではあっても、「進むべき道」を示す道標にはならないのでは、と思うのです。

日本でも昔、「企業メセナ」という言葉が撮り立たされて後、バブル崩壊とともに企業が保有していた文化施設を一斉に売却していった中、ある企業のトップが「文化

に携わるのにコストなんかを考えても採算が合うわけがない。」と仰っていたのを思い出します。教育についても同様だと思います。

文化や教育には数字で計り知れないパワーがありそれをコストという単なる数字で割り算したとしても、無意味なものでしかないと思うのです。

説明会の資料の中に他市と公共施設ごとの数を比較されていましたが、そこで優位性を發揮されることこそが加東市のアピールポイントになりえるとは考えられないでしょうか？そしてその環境の中で育まれていく子どもたちこそが私たちが自慢すべきものになるのではないでしょうか？他市と同等であれば周辺他市に比べ交通の便が悪く、企業誘致の進んでいない加東市は何を持ってアピールしていくのでしょうか？

今、ここで下される決断は5年や10年ではなく50年、100年後の加東市を考える大きなビジョンの中で下されることを切にお願いいたします。

加東市企画部企画政策課 御中

平成27年2月9日

以下に、加東市公共施設適正配置計画案に対する私の意見を記しますので、ご査収下さい。

【提出者氏名等】

氏 名 [REDACTED]

住 所 [REDACTED]

電話番号 [REDACTED] / ファックス [REDACTED]

～以下パブリックコメント提出意見書～

---

**① 東条文化会館(コスミックホール)の廃止・取り壊しは許せません**

音響が抜群で、日本中にも数少ない音楽専用ホールである東条文化会館が取り壊され、跡地に東条地域の小中一貫校舎を建てるという方針が12月10日突然の新聞発表という形で行われました。あまりにも唐突で理不尽な内容にただただ驚愕するばかりです。

昭和30年代後半暮らしが安定し始めた頃、東条の町興しに体育の町づくりを目指し、全町バレー・ボール普及などが総理大臣賞に繋がり、次は文化で町興しをという長年に渡る多くの方々の並々ならぬ精魂込めた努力の中でこのホールは建設されてきました。

各層、年代を集結して議論し、文化の殿堂としての会館建設を目指し、全国各地の優れた文化ホール(東京のサントリーホール・大阪のシンフォニーホール等多数)を拝見する中で、設計・施工・音響など格段の鋭意と努力で工大され建設されています。そしてその気迫に圧され、あの著名な平山郁夫画伯のご納徳のもと、最高傑作であるシルクロードを綴帳に持たせていただくという有難いホールでもあります。竹下内閣の(ふるさと創生)政策時に作られました。

そのような努力と人気の中で、毎年若手芸術家の登竜門でもある「日本木管コンクール」会場として利用され、また各種有名アーティストに利用されているところです。有名指揮者、小林研一郎さん、佐渡 裕さんやバイオリニスト辻久子さんをはじめ、本年では歌手「川中美幸」さんや新聞発表の翌日には加東市高齢者大学で落語家「林家小染、染八師弟」に登場していただいたばかりです。NHKテレビの「俳句 王国がゆく」で清水寺や当地名産釣り針の紹介があり放送され、加東市から東条地区のお婆ちゃん・叔母ちゃん・東条中学校3年生が川演し、四国愛媛県から元ラグビー選手で有名な大八木さん他二名が川演されたのもほん少し前のことです。この放送も全国版で東京にも届いています。

岩手芸術家登竜門である「日本木管コンクール」の開催は、「コスマックホール」の名声が全国、そして フランスやドイツなど世界の音楽関係の学校にまで浸透し、海外からの参加者も出ています。コンクール会場としての審査員の評価も非常に高いものがあります。また、地元の人々の音楽(コーラスなど)を始めとする各種芸術発表の舞台として、特に小学校や中学校の先生方・子供達が日頃の芸術・文化鍛錬発表 の場として建設当初からみんなで喜んで利用させていただいてきた会館です。

平成18年3月の旧三町合併は、編入合併ではなく、新設の「対等合併」により誕生したものです。この合併の道のりと精神は「構成市町内の自然や歴史・文化・伝統など地域の特性を最大限に活かし、構成市町の均衡ある発展」を目指したものであり、今こそその精神がいるのではないでしょうか。

例えば、昭和30年頃に誕生した市や平成時吸収合併により誕生した市では、一つの文化会館だけが多いようです。従って多数ある小・中学校が文化会館を借用して文化・芸術鍛錬発表することは稀で難しいようです。加東市では三地区にホールがあり、生徒の移動にも距離的にそれほど難しくなく利用させられます。学校の体育館ではなく、文化ホールでの発表は、生徒や保護者にとって規模や冷暖房の完備など、そこでの発表が格別な感動を生んでいます。体育館とは違い、ホールの舞台は広く音響も格段に違います。そして、舞台上で発表している学年生徒以外の子ども達は、体育館の場合では保護者の皆さんを迎えると規模的に外で待機をしなければならなくなります。昨年秋には東条東小・東条中学校の生徒達がコスマックホールで素晴らしい文化祭典を催しました。舞台上の学年生徒以外は観覧席の前に居座り、その発表を鑑賞しながら自分達の出番を待っていました。会場には生徒・先生・保護者そしてお爺ちゃんお婆ちゃんを含め、多数立ち見物の溢れんばかりの盛況でした。子ども達は来年に向けててぐすねを引いて待っています。～未来ある子どもたちのために～こそ、一市に三会館という、稀でだからこそ価値ある三つのホールを絶対残すべきです。文化会館を巡る公共施設は、加東市はまさに適正に配置されているというべきです。このような感動の中から将来素晴らしい芸術家や人間が生まれてくることでしょう。

会館が借地であることや会館の雨漏り、外壁の剥離などを理由に会館の廃止を告げられていますが、市当局の努力で充分解決できることです。少子化や過疎傾向を下に国が小中一貫教育の方針を固め、一貫校舎建立を進めているとの触れ込みで、その建立用地に東条文化会館を壊す方針のようです。そしてその際には、借地ではなく市当局が購入する予定のようですが、ならば文化会館保存のために現状で買い上げ願うことは道理ある市当局への要求と考えられます。

また、小中一貫教育や一貫校舎の触れ込みなどは戦前教育の反省に起った戦後の憲法・教育基本法(6・3制)にも係る国の根幹的な問題で、教育制度は人間の成長に係る根本事です。それをその<先取り>などと称して教育行政を行うことなど到底許されることではありません。

東条中学校の老朽化や校舎用地が上砂災害警戒区域の中にあり、その危険回避を最優先課題と位置づけるのであれば、住民の安全を最優先に掲げる加東市行政は東条川付近の危険な文化会館用地などではなく、岡本や南山など安全地帯を考えるべきではないでしょうか。これらの土地にもし東条中学校が建立されれば、テニスコートや文化会館も今以上に利用しやすくなります。

小学校の問題は、東小学校は南山で子どもたちが増え、少子化の心配は当面ありません。西小地区で減

少しですが、東条地区全体で交流・調整を進めることで解決できることです。別紙にも触れていますが、加東市は中国自動車道が通り、インターチェンジや高速バス停もあり、市全体の人口が急激に減少している訳でもありません。南山付近では、賃貸住宅の家賃と家屋建立による売り渡し返済金の差が大きくなるとの理由で、家屋建立が進み、同時に子どもの数も増えています。

今加東市当局が本來なすべきことは、他市町も羨むこのような好条件を背景に、市内現存の数々の立派な企業や誘致企業などに非正規ではない安定した賃金の下の雇用を呼びかけ、人口を増やす努力をすることではないでしょうか。福井県の原発を再稼動する動きもあるようですが、地震多発傾向の中、この原発爆発が起きれば恐らく琵琶湖を抱えた滋賀・京都を中心に関西は全滅でしょう。原発を生活条件にする人々には厳しい話ですが、加東市などは近隣の市町村に呼びかけ、それの方々の就職や住居の確保などに努力すべきではないでしょうか。加東市には沢山の「空き家」があります。京都府の唯一村の南山城ではこの「空き家斡旋」が進み、テレビでも時々紹介されています。農業人口減少の対策にもなっているようです。

加東市には沢山の宝物があります。加東市の市議会議員選挙では争点になりませんでしたが、全国各地や兵庫の都市部では中学校の給食をどうするかが大きな争点になり、また働く母親のために待機児童のための保育園をどうするかなどが大問題になってきました。当市では社地区に早くから兵庫県給食センターがあることから加東郡(市)学校給食センターは学校給食では県内のモデルとなり、国の表彰も受けています。そして社町創立時から設立された現在では市立の保育園をはじめ、市内には保育園がある程度完備し、他市と較べ働く母親のための待機児童対策では県内でも優秀地区となっていました。播磨中央公園も誇れるもので、バラ園には沢山の方々が来られます。昨年秋には地元地区で、その努力で植えられたコスモスが鮮やかに咲き誇り感動を与えました。

以上のように会館建設には多くの方々の涙ぐましい努力があり、またホールを舞台に沢山の人々が感動を味わってきました。会館の廃止・取り壊しはこのような(心こころ)を踏み潰し壊すものです。

**何故コスミックホールを眼の敵にするのか、全く分からぬ !!**

**廃止・取り壊し絶対反対 !!**

## ② 小・中一貫教育、一貫統合校舎建築方針には大いに疑問があります

加東市の計画している小・中一貫教育、一貫統合校舎建築の方針は、下記の通り大きな問題を抱えています。

### 1、教育問題に無理が生じます。

子どもの全面的な発達を図ろうとする小学校と、受験を控える中学校とでは、教育の内容も方法も大きく異なっています。そのため、教員免許は小学校と中学高校とは別になっています。免許を持たない小学校教員が中学生に授業をしても、中学校教員が小学生に授業をしても、子どもの心に響かず、大きな成果が上がるとは思えません。

身体面、精神面での発達が大きく異なる小学校1年生と中学3年生が、規模の大きな一貫校で共に過ごし、時には行事と一緒にすることには大きな無理が生じます。例えば、放課後に部活をしている運動場では、小学生は遊べません。小学校は統廃合されるので、今より少ない教員で、35人から40人近い子どもたちを見ることがあるでしょう。そのため、子どもたち一人一人に行き届いた教育ができなくなります。

### 2、子どもたちの発達に問題が生じます。

一貫校では中学生がしきることになります。そのため、6年生が最上級生として活躍する場が無くなり、大きな成長の機会が失われることになります。遠距離通学の児童・生徒が激増します。バスの時刻に遅れると、保護者が送迎することになり、時間的・経済的なロスが増えてきます。また、学校が遠くなり、休日や放課後に遊びに行けなくなる子が増えます。

例え中一ギャップが解消されたとしても、小五ギャップの生まれる可能性があります。また、旧社地区では5つの小学校が統合されることになります。様々な保育園から児童が集まつてくるため、小学一年生が落ち着かなくなる可能性が高いと思えます。

### 3、地域の教育力が活かせなくなるでしょう。

各校では地域と一体となって運動会や様々な行事を行ってきました。それが無くなってしまうことになります。そして、地域の人達が地域の子どもの顔や名前を知らなくなり、地域で子どもを育てようという気持ちを無くしてしまう可能性が高いと思えます。

### 4、教員に無理がかかり、子どもたちの教育に影響するでしょう。

今でも長時間過密労働を強いられている教員が、小中打ち合わせに更に時間がとられ、今以上に教材研究の時間が無くなり、授業の質が落ちる可能性が極めて高いでしょう。

### 5、一貫校建設は、公教育充実のためではありません。

今回の提案は「公共施設適正配置計画」の一環として位置づけられています。施設配置の適否など本来的に

公教育の充実を目的としたものではありません。「教育は百年の大計」です。国の文部科学省に少子化を理由にした小中一貫教育そして一貫校を推進する動きがあるようです。この動きは戦前の教育の反省から生まれた戦後の憲法・教育基本法特に義務教育(小・中6・3制)子どもの発育・成長に国がどう係わるかという人間の根源的な問題です。子どもたち一人一人の一生がかかっていることで、(先取りを)歌い文句に軽々しく教育行政を進めることなど絶対に許されることではありません。このようなリスクの多い小中一貫校を作ることは許されません。

6、国が小・中一貫教育そして一貫校舎建設推進の理由にしている少子化、過疎化の流れは加東市ではどれ程進み、その流れは止めようがないのでしょうか。

旧社地区は？　　旧滝野地区は？　　旧東条地区は？

加東市には中国自動車道が通り、インターチェンジや高速バス停もあります。高速バスも増え、大阪方面のみであった行き先が神戸や京都にまで拡がっています。周りの市町からは羨む声も聞かれます。今は、少子化や農山村部の過疎化が何故生まれ進もうとしているのか、その理由などを根本的に考え、また南海トラフや地球温暖化から生じる地球規模の異変も真剣に考え、拙速を避け、正しいるべき姿をみんなで考え、行動すべき時ではないでしょうか。

---

以上